



令和7年度 文部科学省委託

外部講師を活用したがん教育等現代的な健康課題理解増進事業

# 令和7年度 埼玉県「がん教育等外部講師連携支援事業」 実施報告書



埼玉県マスコット「コバトン」  
「さいたまっち」

令和8年2月

埼玉県教育委員会

## はじめに

近年、社会環境や生活環境の急激な変化は、子供たちの心身の健康に大きな影響を与え、肥満・痩身、生活習慣の乱れ、メンタルヘルスの問題、アレルギー疾患の増加、性に関連する諸課題、目の健康問題、新たな感染症など、様々な健康課題が生じています。子供たちがこのような様々な課題の解決を図るためには、生涯を通じて健康な生活を送る基礎を培うことを目指した学校における健康教育を推進することが重要です。

特に、生涯のうち国民の二人に一人が罹患すると推計されているがんは、国民の生命と健康にとって重大な課題となっています。がんをめぐるこうした状況を踏まえると、学校における健康教育においてがんを取り上げた教育を推進することは、健康教育を推進する上で大変意義深いものです。

令和5年3月に閣議決定された「第4期がん対策推進基本計画」では、全体目標を「誰一人取り残さないがん対策を推進し、すべての国民とがんの克服を目指す。」としております。そして学習指導要領の改訂により、中学校及び高等学校においてがん教育を行っていく旨が明記されました。がん教育は、がんについての正しい理解と、がん患者や家族などのがんと向き合う人々に対する共感的な理解を深めることを通して、自他の健康と命の大切さについて学び、ともに生きる社会づくりに寄与する資質や能力の育成を図る教育です。また、学校教育を通じて、児童生徒が、がんについて学ぶことにより、健康について関心をもち、正しく理解し、適切な態度や行動をとることができるようにするとともに、がん専門医をはじめとする医療従事者やがん経験者等の外部講師と連携した取組を実施することで、学校におけるがん教育をさらに効果的に進めることができます。

このような中、埼玉県教育委員会では平成27年度から文部科学省の委託事業を受け続けており、令和7年度も埼玉県「がん教育等外部講師連携支援事業」を実施しました。

具体的な取組としては、学識経験者、がん専門医、がん経験者を含めた「がん教育推進連絡協議会」を立ち上げ、本県のがん教育の推進に向けた指導・助言をいただきながら、教職員や外部講師関係者を対象とした「がん教育指導者研修会」や小学校・中学校・高等学校のモデル校における「がん教育授業研究会」を開催しました。

本報告書は、これらの取組の概要や成果等についてまとめております。掲載している資料等をすべての学校において活用していただき、教職員の共通理解の下、家庭や地域の専門機関等と連携を図りながら、さらなるがん教育の充実が図られることを期待しております。

結びに、本事業の円滑な推進に御尽力いただきました、各関係機関、団体の皆様、さらには授業を御提供くださいました上尾市教育委員会、上尾市立尾山台小学校、越谷市教育委員会、越谷市立武蔵野中学校、県立浦和西高等学校の皆様に深く感謝申し上げます、御礼とさせていただきます。

令和8年2月

埼玉県教育局県立学校部保健体育課長  
荻原 篤大

# 目 次

## I 令和7年度 埼玉県「がん教育等外部講師連携支援事業」

1	趣旨	1
2	事業内容	1
3	実施内容	1
4	他部局との連携	3
5	医療機関との連携	3
6	事業の成果	4
7	課題（今後の方向性を含む）	5
8	令和8年度の事業予定について	6

## II 令和7年度 埼玉県がん教育指導者研修会

8

## III 令和7年度 埼玉県「がん教育」授業研究会

29

上尾市立尾山台小学校	30
越谷市立武蔵野中学校	51
県立浦和西高等学校	69

## IV 令和7年度 埼玉県がん教育推進連絡協議会

がん教育推進連絡協議会設置要綱	85
令和7年度埼玉県がん教育推進計画	87
がん教育推進連絡協議会名簿	88

# I 令和7年度 埼玉県「がん教育等外部講師連携支援事業」について

## 1 趣 旨

平成28年12月に改正されたがん対策基本法第23条では、「国及び地方公共団体は、国民が、がんに関する知識及びがん患者に関する理解を深めることができるよう、学校教育及び社会教育におけるがんに関する教育の推進のために必要な施策を講ずるものとする。」というがんに関する教育の推進についての文言が新たに記載された。また、政府が策定するがん対策推進基本計画では、「誰一人取り残さないがん対策を推進し、全ての国民とがんの克服を目指す」ことを目標としている。さらに、学習指導要領の改訂に伴い、中学校及び高等学校の保健体育科において、がんについても取り扱うこととされた。

このような状況を踏まえ、現行の学習指導要領に対応したがん教育の確実な実施に向けた取組の充実及び外部講師の活用を図るための体制を整備していく必要がある。

そこで、本県では、学校におけるがん教育の推進を図るため、文部科学省委託「外部講師を活用したがん教育等現代的な課題理解増進事業」を受け、「がん教育等外部講師連携支援事業」を実施する。

本事業の実施により、子供たちが健康と命の大切さについて学ぶことを通して、自らの健康を適切に管理し改善していく資質・能力を育成するとともに、がんに対する正しい知識とがん患者への正しい理解及び命の大切さに対する認識の深化を図る。

## 2 事業内容

- (1) がん教育推進連絡協議会の開催
- (2) がん教育指導者研修会の開催
- (3) がん教育授業研究会の開催

## 3 実施内容

- (1) がん教育推進連絡協議会について（年2回開催）

がん教育の推進を図るため、学識経験者や医療関係者等で構成される「がん教育推進連絡協議会」を設置し、「がん教育推進計画」の作成等に対し指導・助言を行うとともに、事業成果の検証を行う。

### ア 第1回協議会（がん教育推進計画の検討・決定）

日時 令和7年7月8日（火）午後2時～ オンライン（知事公館より配信）

- 「がん教育推進連絡協議会」について
- 「がん教育指導者研修会」について
- 「がん教育授業研究会」について
- 外部講師の活用について

### イ 第2回協議会（がん教育推進計画の事業報告・成果の検証）

日時 令和8年1月16日（金）午後2時～ オンライン（職員会館より配信）

- 「がん教育指導者研修会」について
- 「がん教育授業研究会」について
- 成果の検証

※ がん教育推進連絡協議会に報告された実施結果を冊子にまとめ、県内の市町村教育委員会、県立学校等へ配布

(2) がん教育指導者研修会について

教職員及び外部講師関係者等を対象に、がんの正しい知識や理解を図ること及び指導方法等を充実させることを目的として「がん教育指導者研修会」を開催する。

がん教育を実施する上での留意事項等の行政説明、前年度の授業研究実践者による発表、有識者による講演、質疑等を通して、教職員及び外部講師関係者等の資質向上を図る。

ア 日時 令和7年8月22日(金)～9月18日(木)

イ 方法 動画配信(限定公開)

ウ 対象 県内公立小・中学校、義務教育学校、高等学校、特別支援学校の教職員、市町村教育委員会指導主事、外部講師関係者

エ 内容

(ア) 行政説明 県教育局県立学校部保健体育課

(イ) 実践発表 令和6年度モデル校

小学校実践校	所沢市立椿峰小学校	池田 哲将 教諭
		上 美紗 養護教諭
中学校実践校	北本市立西中学校	富岡 亜祐美 教諭
高等学校実践校	県立杉戸高等学校	大塚 真澄 教諭

(ウ) 講演 「One and Only 大切な命

～学校と外部講師が連携したがん経験者によるがん教育～」

講師 リレー・フォー・ライフ・ジャパンさいたま実行委員会  
副実行委員長 藤野 信子 氏

(3) がん教育授業研究会について

小学校、中学校及び高等学校において、授業公開による授業モデルの普及及び研究協議における効果的な指導方法についての検討を目的とした「がん教育授業研究会」を開催する。

内容の取扱いについては、各学校種の発達に段階に応じたものとし、中学校及び高等学校においては、学習指導要領(保健体育科)に対応したものを基本とする。

※指導内容

- ア がんとは、がんの要因
- イ がんの種類とその経過
- ウ 我が国のがんの状況
- エ がんの予防
- オ がんの早期発見・がん検診
- カ がんの治療法
- キ がん治療における緩和ケア
- ク がん患者の生活の質
- ケ がん患者への理解と共生

※研究協議テーマ 「がん教育の充実を図るための工夫について」

ア 小学校授業研究会

(ア) 日時 令和7年11月6日(木)

(イ) 参加者 公立小学校、義務教育学校、特別支援学校(小学部設置)

の教職員、上尾市立中学校の教職員、市町村教育委員会の指導主事、埼玉県がん教育外部講師関係者等

- (ウ) 会場 上尾市立尾山台小学校  
(エ) 授業者 池澤 大樹 教諭 (T1)・嶋 春菜 養護教諭 (T2)  
(オ) 単元 総合的な学習の時間「ロングロングライフデザイン」

#### イ 中学校授業研究会

- (ア) 日時 令和7年11月12日(水)  
(イ) 参加者 公立中学校、義務教育学校、特別支援学校(中学部設置)の教職員、越谷市立小学校の教職員、市町村教育委員会の指導主事、埼玉県がん教育外部講師関係者  
(ウ) 会場 越谷市立武蔵野中学校  
(エ) 授業者 鈴木 美紀 教諭(T1)・田邊 伸二 教諭(T2)  
(オ) 単元 保健体育科(保健分野)  
(1) 健康な生活と疾病の予防  
(ウ) 生活習慣病などの予防

#### ウ 高等学校授業研究会

- (ア) 日時 令和7年11月25日(火)  
(イ) 参加者 県内公立高等学校・特別支援学校の教職員、埼玉県がん教育外部講師関係者  
(ウ) 会場 県立浦和西高等学校  
(エ) 授業者 瀬野 育美 教諭  
(オ) 単元 保健体育科(科目保健)  
(1) 現代社会と健康  
(ウ) 生活習慣病などの予防と回復

#### (4) 効果的な指導方法の実践研究

発達の段階に応じたがんに関する効果的な指導を行うための指導方法の実践研究。  
「がん教育」における小・中・高の系統的な保健教育の実践研究を行う。

##### 【構造化された授業の提案】

- ・学習内容の明確化(1時間に何を学ばせるのか、何を学んだのかが明らかな授業)
- ・基本的・基礎的な内容を理解させるための学習活動の工夫
- ・主体的に学習に取り組ませるための教材の工夫
- ・外部講師を活用した指導方法の工夫(事前・授業研究会当日・事後のいずれかまたは複数)

#### 4 他部局との連携

保健医療部疾病対策課と連携を図り、外部講師の積極的な活用へ向けた取組を行う。

#### 5 医療機関との連携

埼玉医科大学総合医療センター主催「SMCがん教育セミナー」の後援

## 6 事業の成果

学校におけるがん教育の推進を図るためには、学習指導要領に対応したがん教育の確実な実施に向けた取組の充実及び外部講師の活用を図るための体制の整備などが必要であることから、学識経験者や医療関係者等を含めた「がん教育推進連絡協議会」を設置し、「がん教育推進計画」の作成等に対し指導・助言をいただいた。策定した計画に基づく各種の取組を実施することにより、学校における効果的ながん教育の在り方などについて、県内への啓発を図ることができた。

### (1) 「がん教育」指導者研修会

ア がん教育に携わる教職員及び外部講師等を対象に、がんの正しい知識や理解を深めること、及び学校におけるがん教育の指導の充実を図るための研修会を実施したことにより、がん教育の必要性の理解が進むとともに、実践事例や指導教材等の普及啓発ができた。

イ 行政説明において、学校におけるがん教育の定義や目標、及び外部講師と連携したがん教育の在り方や、配慮事項等について改めて確認するなど、学校におけるがん教育の方向性を示すことができた。また、県立久喜図書館から、図書館を活用したがん情報の入手方法について案内するなど有意義な情報を提供した。

ウ 実践発表において、昨年度のモデル校の授業者から、がん教育を通じて目指す子供の姿、授業づくりに向けた思い、実践までに生じた葛藤など、具体的な話を通じて、効果的な指導について普及啓発ができた。また、発達段階に応じた系統的な指導についての理解が進んだ。

エ リレー・フォー・ライフ・ジャパンさいたま実行委員会 副実行委員長 藤野信子氏による講演「One and Only 大切な命～学校と外部講師が連携したがん経験者によるがん教育～」を行い、がんに対する基本的な知識に加え、がん経験者ならではの体験談や気持ちをお話しいただいた。事前に寄せてもらった参加者からの質問にも回答いただき、多くの参加者が外部講師の活用について前向きに捉えていただく講演となった。

### (2) 授業研究会について

ア 授業検討委員会では、発達の段階に応じた適切な指導、及び教科等横断的な取組、外部講師と連携した取組などについて検討を重ね、授業研究会では、主体的・対話的で深い学びの視点による効果的な指導方法（学習活動）について、提案することができた。また、充実した研究協議を行うことができた。

イ 小・中・高のモデル校全てにおいて、がん経験者やがん患者団体、がん専門医などの外部講師と連携した指導を実施することにより、効果的ながん教育を実施することができた。

ウ 文部科学省作成の指導教材参考資料を活用した授業展開を検討し、普及・推進を図ることができた。

エ 小学校のモデル校では、体育科・家庭科・道徳科・特別活動・総合的な学習の時間など、教科等横断的な取組を実施した。公開授業では、養護教諭、外部講師を活用し、総合的な学習の時間において、食生活を通じたがん予防について考えた。前時までに調べた情報について、外部講師との対話を通じた活動により、疑問の解決や考えをさらに深める活動となった。事前指導でNPO法人くまがやピンクリボンの会、上尾市健康増進課と連携し、当日の授業ではがん専門医である儀賀医師（埼玉

医科大学総合医療センター) と共に授業を行うなど、外部講師を積極的に活用した研究を推進することができた。

オ 中学校のモデル校では、保健体育科保健分野において学習した既習事項を活用し、がん患者と共に生きていくために大切なことを、グループワークを通して考えていく授業実践となった。教師が提示した事例に対して個人やグループで主体的に取り組む姿が見られ、教師の声掛けにより生徒から様々な意見が引き出されていた。事前に行った NPO 法人くまがやピンクリボンの会の講演で学んだことを生かした発言も見られた。また、授業研究会の実施後に、川口短期大学 こども学科選任講師 西内 俊朗 氏による事後指導を実施するなど、外部講師を積極的に活用した研究を推進することができた。

カ 高等学校のモデル校では、保健体育科科目保健の授業を実施した。既習事項を活用し、「日本のがん検診の受診率を上げるための解決方法を考える」をテーマにコンセプトマップの作成を行った。タブレットを活用し、グループ協議を通して考えた解決方法を発表する授業実践となった。がんを自分ごとと捉える授業計画の工夫が見られ、生徒たちが真剣に授業に取り組む姿が見られた。授業研究会の実施後に、がん専門医である儀賀医師(埼玉医科大学総合医療センター)による事後指導を実施したりするなど、外部講師を積極的に活用した研究を推進することができた。

### (3) 外部機関・外部講師との連携について

ア 授業研究会に関連した指導として、小・中・高の全てのモデル校で外部講師と連携した取組を実施することができ、児童生徒の心に響く効果的ながん教育を推進することができた。

イ 保健医療部疾病対策課に「がん教育推進連絡協議会」の委員として参加してもらい、効果的な外部講師活用に向けた協議を行った。また授業研究会にも参加していただき、生徒対象の授業について御意見をいただいた。

ウ 医療機関との連携で、埼玉医科大学総合医療センター 教授 儀賀 理暁 氏が実施する「SMCがん教育セミナー」について、埼玉県教育委員会が後援し、開催できるよう調整を図っていく。

## 7 課題(今後の方向性を含む)

### (1) 各学校の教育課程への位置付けの明確化

ア がん教育について明記された学習指導要領は、令和3年度に中学校で全面実施、令和4年度から高等学校で年次進行実施されたことから、各学校種における学習指導要領に対応したがん教育の効果的な実施について引き続き周知していく。また、学習指導要領に位置付けのない小学校についても、がんを題材とした保健教育を実施するよう周知していく。

イ がん教育の目標を達成するためには、保健の授業でがんに対する正しい知識を身に付け、関連教科等を通じて、健康と命の大切さ、がん患者への正しい理解について学習していくことが必要である。体育・保健体育の授業を中核に他の教育活動と連携した指導について、モデルとなる取組を継続して提案していくことが課題である。

ウ 小・中・高の系統性を踏まえた指導計画の作成を研究していく。

(2) 外部講師の活用について

- ア 各学校に周知した「埼玉県がん教育外部講師リスト」に講師が対応可能な指導内容等、学校が外部講師を選定する際に知りたい情報を追記するなど、リストを更新していく。また外部講師派遣事業を引き続き実施するとともに、学校に活用していただくための周知の時期を検討していく。
- イ 外部講師の育成や資質向上のため、学校教職員が多く参加する「がん教育指導者研修会」に外部講師関係者の参加も促していく。
- ウ がん教育授業研究会のモデル校に、外部講師を積極的に活用した授業研究を促していく。また、授業研究会当日に、外部講師関係者の参加を促し、研究協議において、一般参加の教職員と意見交換することにより、外部講師関係者と学校とが直接つながることができるようにしていく。

(3) 研修会等の充実と普及・推進

- ア 児童生徒にがんについての正しい知識を習得させるためにも、教職員ががん教育についての理解を深める必要がある。そのためにも指導者研修会を充実させ、養護教諭のみならず、保健体育科教諭や保健主事等への研修会への積極的参加を呼びかけていく必要がある。また、参考となる学習指導案や指導教材などを情報提供し、どの学校でもがん教育を推進できる環境を整える必要がある。
- イ 効果的ながん教育の手立ての一つとして、外部講師と連携した取組についての普及啓発も一層推進していく。
- ウ 県内各学校でがん教育の取組を実践していくために、地区のバランスを考慮したモデル校の選定を行い、がん教育指導者研修会や授業研究会の場を活用し、普及・推進していく。

8 令和8年度の事業予定について

(1) がん教育推進連絡協議会の実施 (継続)

- ア 日時
  - (ア) 第1回 協議会 令和8年7月 7日 (火) オンライン会議 ※予定
  - (イ) 第2回 協議会 令和9年1月15日 (金) オンライン会議 ※予定
- イ 内容
  - (ア) 本県のがん教育推進に向けた計画の検討
  - (イ) 本県のがん教育に関する計画の検証・成果報告

(2) がん教育指導者研修会の実施 (継続)

がんに関する指導を行う教職員の資質向上を図るため、研修会を実施していく。

- ア 日時 令和8年8月21日 (金)～9月17日 (木) 動画配信 ※予定
- イ 内容
  - (ア) 行政説明
  - (イ) 実践事例発表 (小学校) 上尾市立尾山台小学校  
(中学校) 越谷市立武蔵野中学校  
(高等学校) 県立浦和西高等学校
  - (ウ) 講演 「学校と外部講師が連携したがん教育について」(仮)  
講師 未定

(3) がん教育授業研究会の実施 (継続)

- ア 指導内容について

- (ア) がんについて正しく理解することができるようにする。
  - ・保健体育（保健教育）の充実を図る。
  - ・主体的・対話的で深い学びの実現に向けた保健教育の授業改善を図る。
- (イ) 健康と命の大切さについて主体的に考えることができるようにする。
  - ・特別活動・道徳・総合的な学習の時間等、学校教育全体を通じて指導を行う。
- (ウ) 授業検討委員会を設置し、発達の段階を踏まえた指導すべき内容について、さらに検討を重ねるとともに、系統性を踏まえた指導計画を作成する。

イ モデル校について

モデル校の選定については、東西南北の地域のバランスを考慮していく。

【小学校】	八潮市立大曾根小学校
【中学校】	熊谷市立荒川中学校
【高等学校】	県立三郷高等学校

(4) 外部講師を活用したがん教育の推進

- ア 外部講師を活用したがん教育を実施する学校の割合が増えるよう、「埼玉県がん教育外部講師リスト」や国の委託事業を効果的に活用していく。
- イ がん教育授業研究会において、小・中・高等学校の全ての校種で、公開授業を実施する。その際、外部講師による指導（事前・公開授業当日・事後のいずれか、または複数）を取り入れたモデル授業を実施する。
- ウ 外部講師を活用したがん教育の質の向上を目的として、外部講師を活用した授業を見学してもらう取組を実施する。

(5) 関係機関との連携

- 県教育委員会と医療機関が連携した研修会を次年度も計画していく。
- ア 文部科学省委託事業を受託し、引き続きがん教育の推進を図っていく。
- イ がん教育推進連絡協議会は、今年度と同様2回開催し、本県のがん教育推進のための計画、方向性、普及の仕方を検討し、各委員から指導・助言をいただくことで推進を図っていく。なお、委員の人選については、各関係団体に依頼する。

## II 令和7年度 埼玉県がん教育指導者研修会

文部科学省委託事業「外部講師を活用したがん教育等現代的な健康課題理解増進事業」  
令和7年度埼玉県がん教育指導者研修会開催要項（動画配信による開催）

### 1 趣 旨

日本人の死因の第1位であり国民の生命と健康にとって重大な問題であるがんについて、がんについての正しい知識やがん患者に対する理解が不十分であり課題であると指摘されている。

この課題の解決のためには、学校におけるがん教育により、子供たちが健康と命の大切さについて学ぶことを通して、自らの健康を適切に管理し改善していく資質・能力を育成するとともに、がんに対する正しい知識とがん患者への正しい理解及び命の大切さに対する認識の深化を図ることが必要である。

学校におけるがん教育の充実を図るため、その必要性を十分理解し、学習指導の実践研究、普及啓発が行われるよう研修会を開催する。

### 2 主 催 埼玉県教育委員会

### 3 開催方法 埼玉県限定公開セミナー動画チャンネルによる配信

（配信動画の限定公開URLは参加申込者のメールアドレス宛に8月18日（月）までに別途通知）

### 4 動画配信期間 令和7年8月22日（金）から9月18日（木）まで

### 5 参加対象者

- (1) 公立の小・中学校、義務教育学校、高等学校、特別支援学校において、がん教育を行う教職員（体育科・保健体育科及び特別活動、道徳科等を担当する教職員）
- (2) 公立の小・中学校、義務教育学校、高等学校、特別支援学校に勤務する管理職及び教職員（養護教諭、保健主事等）
- (3) 市町村教育委員会の指導主事等
- (4) 学校医等及び外部講師関係者（医療従事者、がん経験者等）

### 6 内 容

- (1) 行政説明 教育局県立学校部保健体育課 指導主事 佐野 秀行
- (2) 実践事例発表
  - ・ 小学校指導事例 第6学年 特別活動「健康な生活とかけがえのない命」  
学級活動 (2) 日常の生活や学習への適応と自己の成長及び健康安全  
ウ 心身ともに健康で安全な生活態度の育成  
所沢市立荒幡小学校 教諭 池田 哲将  
所沢市立椿峰小学校 養護教諭 上 美紗
  - ・ 中学校指導事例 第2学年 保健体育（保健分野）  
「健康な生活と疾病の予防」 (ウ) 生活習慣病などの予防  
北本市立西中学校 教諭 富岡 亜祐美
  - ・ 高等学校指導事例 第1学年 保健体育（科目保健）  
「現代社会と健康」 (ウ) 生活習慣病などの予防と回復  
県立杉戸高等学校 教諭 大塚 真澄

- (3) 講演 「One and Only 大切な命  
～学校と外部講師が連携したがん経験者によるがん教育～」  
講師 リレー・フォー・ライフ・ジャパンさいたま実行委員会  
副実行委員長 藤野 信子 氏  
※参加申込時に受け付ける質問に回答いただくQ&A方式も取り入れた内容を予定

- 7 受講確認 すべての動画視聴後、別途案内するFormsの受講確認票兼アンケートに回答する。  
(回答期日：受講終了後から令和7年9月25日(木)まで)

## 8 その他

### (1) 研修当日用意するもの

- ア 動画視聴することができる端末等
- イ 研修会配付資料及び筆記用具

※埼玉県HPから資料をダウンロードする。資料は令和7年8月18日(月)頃までに掲載予定。

トップページ > 健康・福祉 > 健康 > 学校保健に関すること > 各種研修会の配布資料  
掲載HP <https://www.pref.saitama.lg.jp/f2211/kenshushiryoku.html>

【二次元コード】



現在は、資料掲載終了済です。

- ウ 保健教育指導参考資料 なるほど！保健の授業づくりー令和4年度発行ー  
(令和5年3月 埼玉県教育委員会・埼玉県学校保健会)  
※各校に1冊配付済みの他、埼玉県HPからもダウンロードできます。印刷する場合は、74～76ページ(VI領域ごとの指導内容 2がん教育)を用意してください。

トップページ > 健康・福祉 > 健康 > 健康教育

掲載HP <https://www.pref.saitama.lg.jp/f2211/hokenkyouiku.html>

【二次元コード】



### (2) 申込から研修当日までの流れ

別紙「令和7年度埼玉県がん教育指導者研修会申込マニュアル」を参照

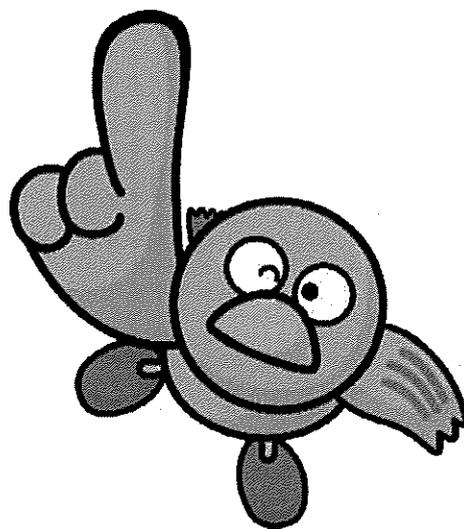
<講演資料>

「One and Only 大切な命

～学校と外部講師が連携したがん経験者によるがん教育～」

講 師 リレー・フォー・ライフ・ジャパンさいたま実行委員会

副実行委員長 藤野 信子 氏



埼玉県マスコット「コバトン」

自己紹介

藤野 信子 主婦 上尾市在住  
 乳がんサバイバー 13年目  
 リレー・フォー・ライフ・ジャパン  
 さいたま実行委員会

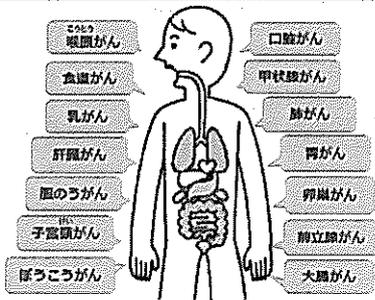


Save Lives  
 迷わせない  
 困らせない  
 ひとりにさせない

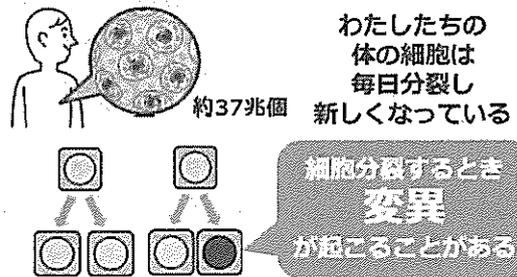
伝えたいこと

One and Only  
 唯一無二  
 大切な命

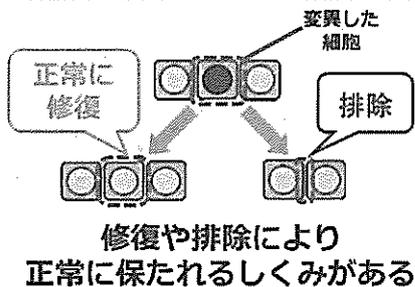
がんはどこにできるか



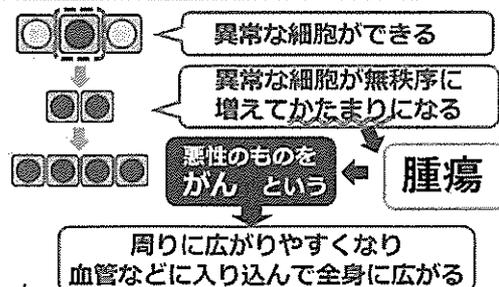
がんのしくみ



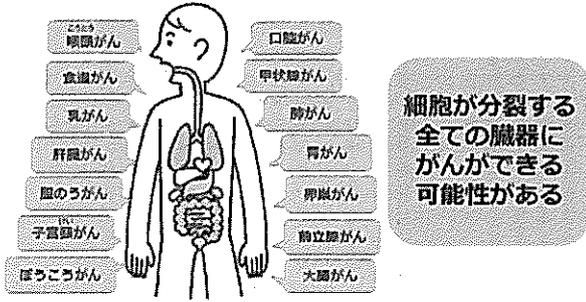
変異した細胞はどうなるの？



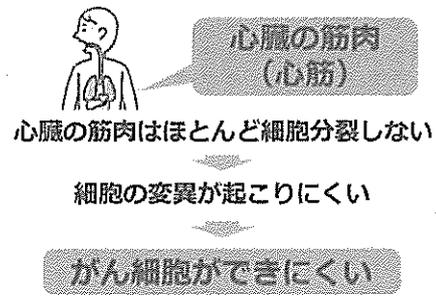
修復のしくみが働かないとどうなるの？



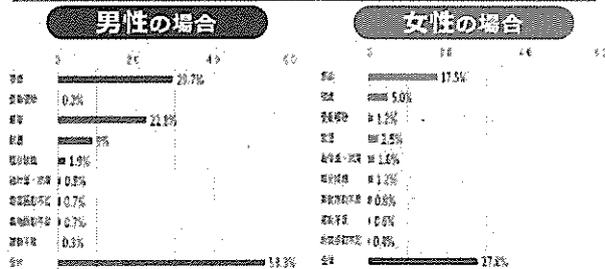
## がんはどこにできるか -2-



## がんのできにくいところがある



## がんの原因は？



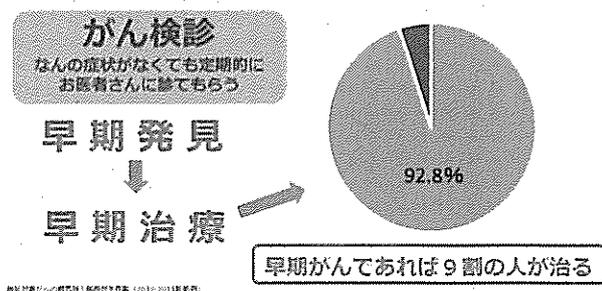
## がんの原因はほかにあるの？

細菌・ウイルス 生活習慣 **不明**

遺伝的原因 加齢 小児がん

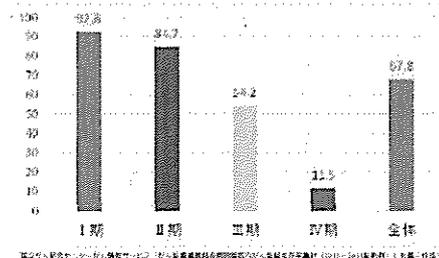
どれだけ予防を心がけていても、がんになってしまうことがあります。完璧で、完全ながんの予防策はありません。そこで「がん検診」を受けることが大切です。

## どうやってがんを見つけたらいいの？

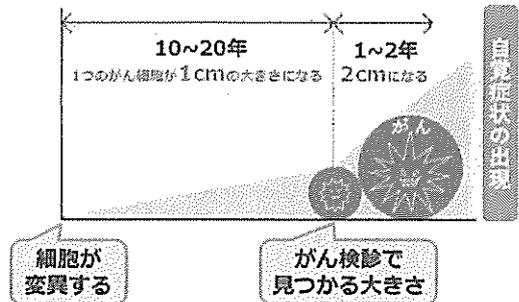


## がんの進行度と5年生存率の関係

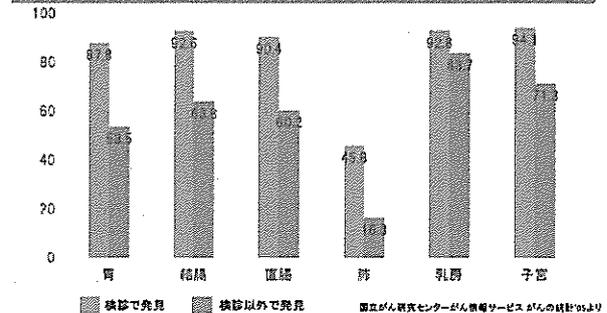
がんと診断された人のうち5年後に生存している人の割合が、日本人全体で5年後に生存している人の割合に比べてどのくらい低いのか



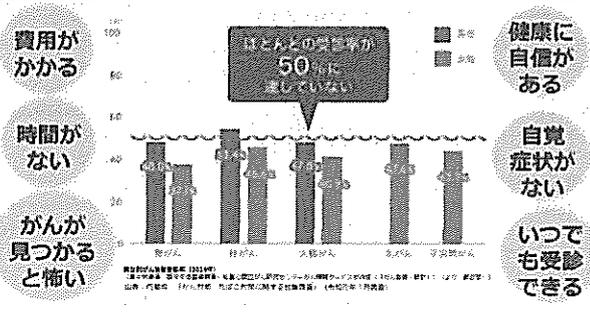
## がんはどのように進行していくのだろうか？



## 部位・発見経緯別5年生存率



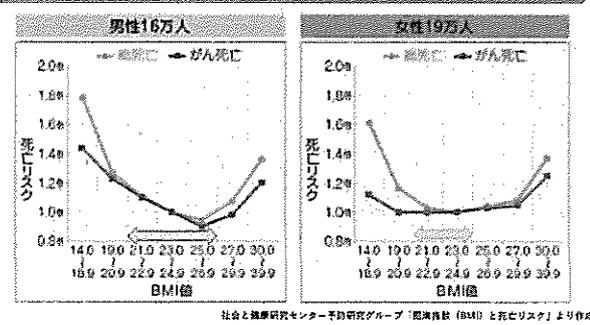
## がん検診受診の現状



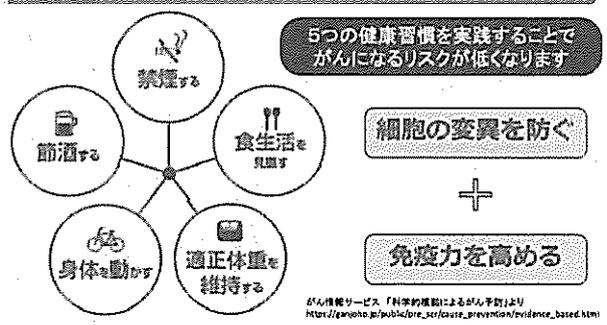
## がんを防ぐための新12か条

1. たばこは吸わない
2. 他人のたばこの煙を避ける
3. お酒はほどほどに
4. バランスのとれた食生活を
5. 塩辛い食品は控えめに
6. 野菜や果物は不足にならないように
7. 適度に運動
8. 適切な体重維持
9. ウイルスや細菌の感染予防と治療
10. 定期的ながん検診を
11. 身体の異常に気がついたら、すぐに受診を
12. 正しいがん情報でがんを知ることから

## BMI(体格指数)と死亡リスクの関係



## がんリスクを減らす健康習慣



## 小児・AYA世代のがん

AYA世代とは

Adolescent and Young Adult  
思春期 若年成人

主に、思春期（15歳～）から30歳代までの世代を指しています  
日本では、毎年約2万人のAYA世代が、がんを発症すると推定されています

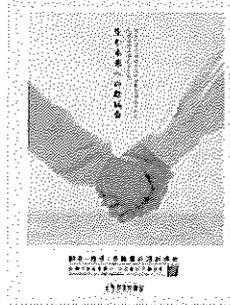
	1位	2位	3位	4位	5位
0～14歳 (小児)	白血病 [28%]	脳腫瘍 [16%]	リンパ腫 [7%]	骨肉腫・骨髄性肉腫 [6%]	神経芽腫 [7%]
15～19歳	白血病 [28%]	脳腫瘍・神経鞘腫・神経鞘肉腫 [17%]	リンパ腫 [13%]	脳腫瘍 [10%]	骨髄腫 [9%]
20～29歳	脳腫瘍・神経鞘腫 [16%]	甲状腺がん [12%]	肺癌 [11%]	リンパ腫 [10%]	子宮頸がん [9%]
30～39歳	女性乳がん [22%]	子宮頸がん [13%]	脳腫瘍・神経鞘腫・神経鞘肉腫 [8%]	甲状腺がん [6%]	大腸がん [6%]

罹患率が高いがん種は図に【ながみにさめる割合】

元データ 国立がん研究センター がん登録・統計部

※2013年10月現在、がん登録率：肺癌（97.9%）、胃癌（97.7%）、大腸がん（97.6%）、乳がん（97.5%）、子宮頸がん（97.4%）

## 小児・AYA世代のがん患者支援



## がんの治療と仕事の両立

Q あなたの職場は、がんの治療や検査のために2週間に一度病院に通う必要がある場合、働き続けられる環境だと思いますか。

そう思う

37.1%

Q がんの治療中に、治療と仕事を両方続けられるような支援または配慮を、職場や仕事上の関係者から受けたと思うか

そう思う  
ややそう思う

65%

## がん患者が暮らしやすい社会とは

がんについて  
周囲の  
理解がある



がんの治療に  
周囲の協力が  
得られる

がんへの正しい理解が  
誰もが暮らしやすい社会につながる

## 埼玉県の取り組み



## 家族のこと・病気のこと

2013年3月16日 乳がん告知

2013年5月2日 右乳房全摘出+同時(一次)再建手術

6月26日 化学療法(抗がん剤治療)スタート

2014年1月21日 放射線治療スタート

9月10日 最終検査

2015年5月22日 右乳房二次再建手術

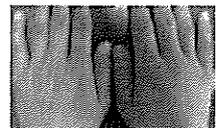
56歳

56歳

社会人1年目

大学2年

高校1年





さいごに

**One and Only**  
**大切な命**

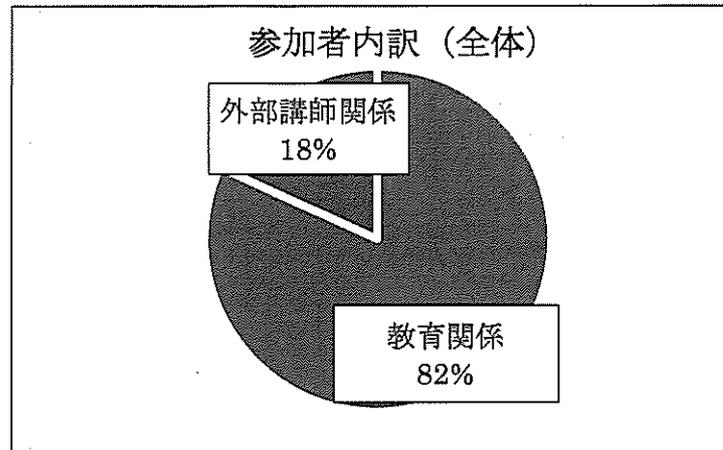
# 令和7年度がん教育指導者研修会アンケート結果

※受講者121名

## <参加者について>

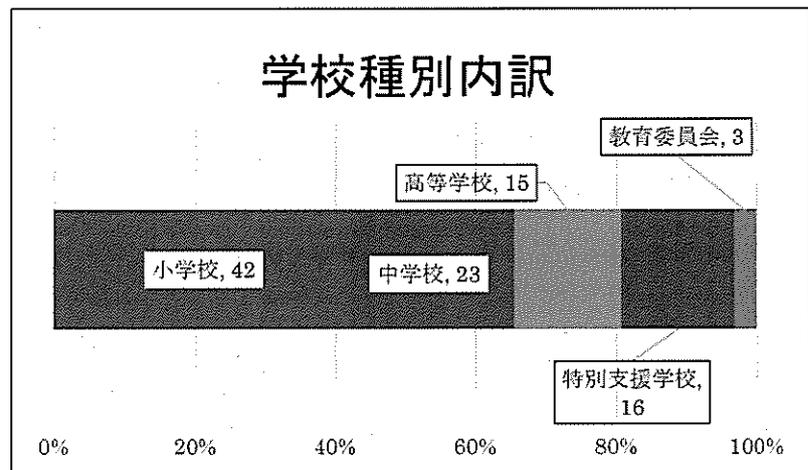
### ◎参加者内訳（全体）

分類	人数（人）
教育関係	99
外部講師関係等	22



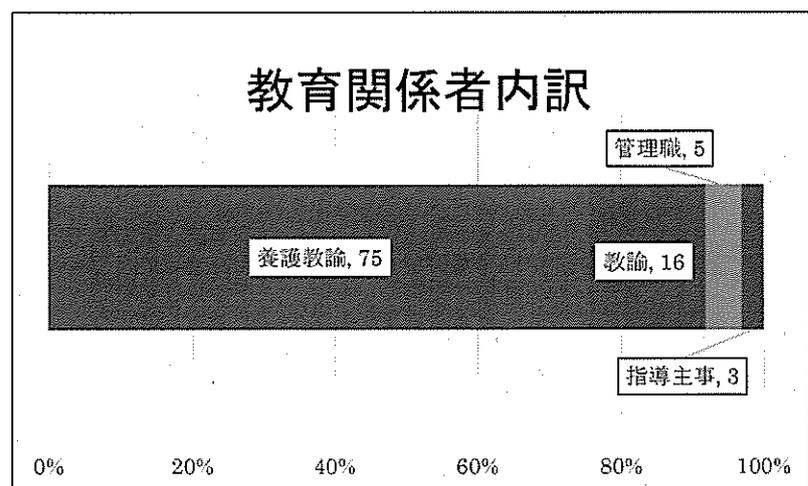
### ○学校種別内訳

分類	人数（人）
小学校	42
中学校	23
高等学校	15
特別支援学校	16
教育委員会	3



### ○教育関係者内訳

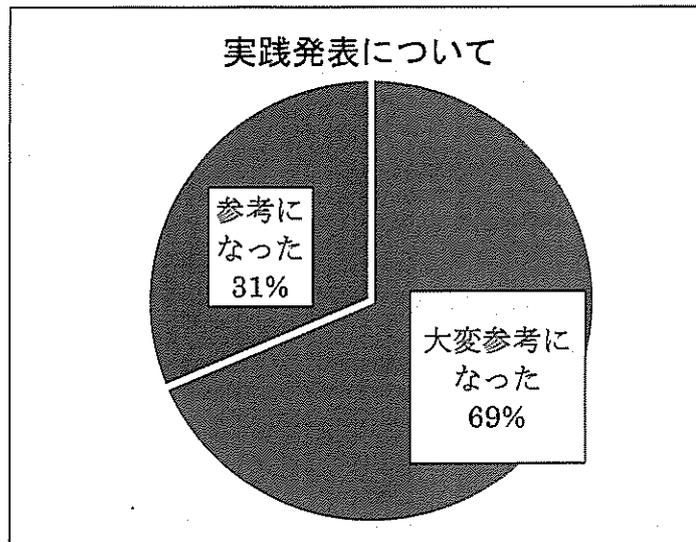
分類	人数（人）
養護教諭	75
教諭	16
管理職	5
指導主事	3



## <実践発表について>

### ◎内訳

分類	人数 (人)
大変参考になった	83
参考になった	38
どちらでもない	0
参考にならなかった	0



### ○教育関係者 ※一部抜粋

- ・外部講師との打ち合わせ方法やどんな方に来ていただいでどう介入していただくかが分かりました。また、学校での健康診断に触れることで将来の健康診断受診に繋がる事、家庭科等と関連付けることでより効果的に指導できると学びました。中学校や高校ではジグソー法やCM作成等知識のインプット・アウトプット方法は様々であると学びました。(小学校・養護教諭)
- ・外部講師との連携について具体的に紹介があり、実施する際の参考になりそうだった。また、養護教諭とのTTの授業実践があり、専門性を活かした授業展開を学ぶことができた。(小学校・養護教諭)
- ・小学校においては授業計画等、授業実施までにどんなことを行ってきたかをわかりやすく示してくださったのが非常にわかりやすく、参考になりました。中・高校では発達段階に応じた授業展開、生徒の学びの様子を知ることができたのがとても良かったです。小学校しか勤務したことがないので、生徒たちの発表の様子がとても興味深かったです。(小学校・養護教諭)
- ・事前学習から教科横断的に行っていることが分かりました。当日の授業の様子や中学校、高校では生徒の発表スライドや動画の説明があり、生徒さんの学びが大変よく分かりました。(小学校・養護教諭)
- ・小学校の実践事例が大変参考になりました。児童に、日常の学校生活が基本的な生活習慣となっていると捉え直しをさせることで、より自分事として考える事ができると感じました。また、担任、養護教諭、外部講師の役割分担が明確になっていると感じました。授業を実践していくにあたり、ねらいや学ばせたいこと、伝えたいことをはっきりさせることが重要であると改めて感じました。(小学校・教諭)
- ・小中学校では外部講師との連携や配慮事項などよくわかりました。高校は身近な先生が実例で出ていてより自分事のように捉えていくことのできたのではないかと感じました。(小学校・養護教諭)
- ・「児童、教師、家庭、指導者を繋ぐワークシート」が、ひと目見てわかるようになっていると使用しやすいと思った。(小学校・養護教諭)
- ・小学校では身近な生活習慣を整えることで、がん予防を中心として将来の健康につながる

という学習内容が参考になりました。また、学校生活が健康的な生活習慣のモデルケースとなっていることや、定期健康診断と同じようにがん検診を定期的に受けることが大切であることなど、児童が自分事としてとらえられる工夫を学ぶことができました。(小学校・養護教諭)

- ・子どもたちが自分事としてとらえられるような工夫や、外部講師を活用した効果的な指導について知ることができてよかった。(小学校・養護教諭)
- ・具体的な指導の展開について、スライド等が大変わかりやすくまとめられており、また、自分の所属校(小学校)だけでなく中学校や高校での取組が見られたことで、発達段階の特性などにも気づくことができたことが有意義だった。(小学校・養護教諭)
- ・がん教育を進めていくのは、難しいなという思いから、なかなか積極的に行動にうつせていなかった。事前の計画や小児がんにかかったことがある児童への配慮、保護者への説明等、詳しく知ることができた。また、授業内容や外部講師との連携についてもわかりやすくまとめていたので、参考にしたい。小学生には、まだ早いかな、理解することができるのかな、という思いがあったが、感想をみると、規則正しい生活をするをあげていたり、がんについてもただこわいもの、というのではなく理解が深まっているように感じた。(小学校・養護教諭)
- ・外部指導者を呼ぶ場合のスケジュール、養護教諭として、定期健康診断を受けることの意義を伝え、生涯健康でいるための早期受診早期治療の重要性につなげているところ。(小学校・養護教諭)
- ・養護教諭の専門性を生かした指導を担当と連携して行っており、具体的な指導内容を知ることができ、とても勉強になったからです。また、外部講師の方に講演していただくことで、児童のがんに対する考え方が、悲観的なイメージから前向きで希望的なイメージへと変化したという点についてもとても印象的でした。(小学校・養護教諭)
- ・小学校の教科横断的な取組、ワークシートが非常に参考になった。既存の授業をがん教育に結びつけていくことが普及のカギだと思う。また高校の事例で示された流行を取り入れたショート動画はがん教育普及のための教材としての可能性を感じた作品であった。(小学校・養護教諭)
- ・がん教育の進め方について大変参考になった。外部指導者との連携や家族にがん患者がいる児童・生徒への配慮など聞くことができてよかった。(小学校・養護教諭)
- ・各校種ごとに、発達段階に応じた実践を発表していただき大変勉強になりました。がん教育は、「がんに関する正しい知識」や「自他の健康や命の大切さ」「生きることや生き方」なども考え、学ぶことができ、たくさんのエッセンスが含まれていて、とても大切な教育であると改めて痛感しました。本日、学ばせていただいたことを本校でも生かして取り組んでいきたいです。まず、がん教育に挑戦してみたいと思いました。(小学校・養護教諭)
- ・ゲストティーチャーを呼んでのがん教育はなかなか取り組むことが難しく感じていましたが、実践を聞くことができ参考になりました。(小学校・養護教諭)
- ・本校ではがん教育を行えておらず、小学校での教育は難しいと考えていたが、今回の実践を聞いて、決して難しいものではなく、早いうちからの命の教育の重要性を実感した。(小学校・養護教諭)
- ・小学校でがん教育を扱うことに対して、小学生に医学的な病気の内容が入るのか、意味はあるのかという気持ちはあったが、健康診断から入る内容がとても参考になりました。(小

学校・養護教諭)

- ・小中高の全ての実践を聞くことで先に聞いた行政説明の流れ・感覚が掴みやすかった。特に高校生になるとさらに発展していてプレゼンテーションも様々な選択肢がある中で自分たちで学びを深めていることがすごいと思った。現場では、4時間も時間が取れていない様に感じることも、養護教諭だけでなく体育科の先生達に試聴機会があると良いと思いました。養護教諭・保健体育科の協働が体育科からある方が養護教諭はしやすいです。(中学校・養護教諭)
- ・がん教育の具体的な方法を知り、実際のイメージを描くことができました。子ども自身やその家族に配慮しつつ、自分のこととして捉えられるように指導する技法を学ぶことができ、大変勉強になりました。また、ロールプレイやプレゼンテーションを通して主体的に取り組める具体例を知ることができ、とても有意義でした。(中学校・養護教諭)
- ・3校とも、昨年度の授業研究会を参観させていただいています。授業当日の様子だけでなく、事後の学習の様子をみることも出来、勉強になりました。(中学校・養護教諭)
- ・授業の中で調べたことをジグソー法で共有したり、調べたことからCMを作成したり、知識理解から表現することのアイデア。(中学校・養護教諭)
- ・小学校、中学校、高等学校ともに自分の生活から振り返り生活習慣を見直すきっかけになっていて自分ごとと捉えやすかったです。知識を習得しそれを広げ、活用していく活動がたくさんありよかったです。教諭だけでなく養護教諭などと連携し、さまざまな視点から学ぶこともよかったです。中学→高校に進むにつれて、身近な人への対応や考え方など学ぶ場面が印象的です。高校では、いかに早期発見が大事で死亡率、生存率が力強く伝えられていて、命にかかわることだからこそ訴える必要があると感じました。(中学校・教諭)
- ・がん教育については、特に小学校では扱うのが難しい内容であると思いますが、子どもたちに身近な学校生活や定期健康診断を用いてイメージのしやすい内容にされていたところが、大変参考になりました。中学校でのロールプレイについても、誘う相手の例を具体的に示すことで事前に習った内容をうまく引き出す内容になっていたと思います。高校の内容については、1時間の作成時間でプレゼンテーションの完成度の高さに驚きました。3校すべてとても参考になる内容でした。(中学校・養護教諭)
- ・校種や発達段階に応じて、子どもに身近に思ってもらえるような内容になっていたことが印象に残りました。(中学校・養護教諭)
- ・がんを扱うことを通じて、他の様々な疾病予防や望ましい生活習慣の確立等も含めた健康教育そのものの充実を図ることの大切さが発表を通して詳しく理解できたから。(中学校・養護教諭)
- ・保健の授業公開が少なく、具体的な実践内容を把握できたこと。また、小中の実践を経て、高校に繋がっている系統性を感じることができたこと。小中の内容を発展させた上で、高校で展開すべきだということを実感できたこと。(高等学校・教諭)
- ・小・中・高の実践事例発表を通じて、発達段階に応じたがん教育の工夫や、子どもが自分事として健康や命を捉えるきっかけづくりが重要であると感じました。特に外部講師やロールプレイ、触診モデルなどの体験を取り入れることで、知識を生活に結びつけている点が印象に残りました。(高等学校・養護教諭)
- ・校種ごとでの実践の工夫、また基本的に変わらない教員の思いなど、指導者としての立場から共感を得ることができ大変参考になりました。(高等学校・校長)

- ・小・中の実践事例について学ぶ機会が少ないため、義務教育でどのように学んできているかを知ることが必要だと思います。(高等学校・養護教諭)
- ・年齢段階に応じた具体的指導方法について知ることができ、とてもよかったです。児童生徒は年齢的にがんを自分事に捉えることは非常に難しいと思いますが、身近な生活につなげたり、また親世代や担任へのプレゼンテーション等の方法で学びを深めることができるのだと感じました。(高等学校・養護教諭)
- ・私は養護教諭の立場から、実践発表のような連携の仕方ができればいいなと参考になりました。特に高等学校の発表では、緩和ケアについてしっかりと触れ、より実生活に寄り添った指導になっていると思いました。たくさんの情報量があるなかで、生徒自身が考える時間がしっかりとれた授業になっていて勉強になりました。(高等学校・養護教諭)
- ・がん教育は、子供たちにとっても教師にとっても自分事として捉えることがなかなか難しいと思うので、わかりやすく自分たちの生活に結び付けた実践を行っていて参考になった。(特別支援学校・養護教諭)
- ・生徒の実態によって、活用方法を選択して授業を展開することができると思った。今回の実践事例を参考に子どもたちに伝えていきたいと思います。(特別支援学校・教諭)
- ・様々な取組があり、特別支援学校だったらどんな風にできるかな、と、チャレンジしてみたいと思う内容でした。(特別支援学校・養護教諭)
- ・高校の実践発表が非常に印象に残りました。知識を教えるところから、自分で探究し、他者に伝える活動を行うことで、生徒自身もより学びが深まったと思います。実際に作成した動画は非常に興味を持てる内容でした。私自身は特別支援学校で勤務をしておりますが、今回伺った実践をどのように自校に落とし込めるかを考えていきたいと思います。(特別支援学校・養護教諭)
- ・それぞれ発達段階に合った、子どもたちの理解の深まる授業をされていると感じ、感動しました。高校生になると、自分でプレゼンできるのですね。誰かに『教える、伝える』には、自分自身理解を深めないといけないことですので、大変良い学習になったのではないかと思います。(特別支援学校・養護教諭)
- ・個別的な配慮をしながら、児童生徒が自分ごととして身近な病気、課題として捉えられるような、そして自分の生活や将来、身近な家族、周りの人たちの健康や命を考えていけるような授業を考え工夫をされており、どの実践発表も大変参考になりました。(特別支援学校・養護教諭)
- ・どの実践においても、児童生徒の「必要感」を大切にし、学びの推進力を継続する素晴らしい取組を学ぶことが出来ました。また、やはり外部講師等の専門家の活用は、制度も整ってきていることもあり、積極的に活用していく必要があると感じました。(市町村教育委員会・指導主事)
- ・各校種の発達段階に応じた学習計画や工夫を拝見することができ、大変参考になった。専門講師の活用については、児童生徒に何を伝えたいか、それによって講師の活用時期や内容、またどの講師に依頼するかを工夫することで効果的な実践が行えることを発表をとおして感じることができた。(市町村委員会・指導主事)

○外部講師関係者 ※一部抜粋

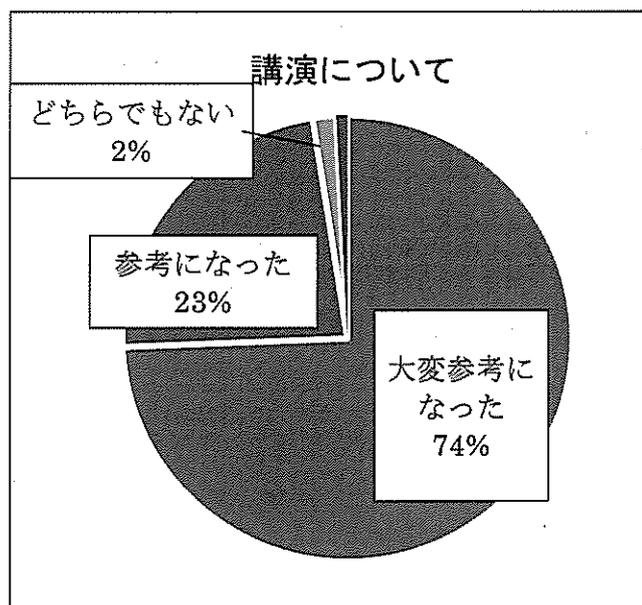
- ・学年ごとに癌教育をどのように行っているのかよく理解できた。(学校医)

- ・問題点もわかり講義する時の参考になった（薬剤師）
- ・高校事例：がんという病気を自分事として考え、各グループで話し合って他者にプレゼンテーションすることはとても良かったです。（外部講師関係者）
- ・体系的に説明をしていただき、全体像がわかり大変参考になりました。（外部講師関係者）
- ・実際に小学校や中学校での体験発表を作るうえで、参考にしたい事がいくつもあった。特に子供たちの生活ルーティンについて。（外部講師関係者）
- ・高校の実践発表の中で、生徒自身が PowerPoint 資料を作成して発表するプロセスはとても有意義であると思った。（外部講師関係者）
- ・小・中・高と生徒の発達に合わせた授業が効果的に行われていることが理解できた。（薬剤師）
- ・高校の部は超力作でした。小中は理解させることを前提に良く作り込まれていました。科学的理屈も必要だが人間関係など社会的効果が盛り込まれていた。（外部講師関係者）
- ・基本的内容は一緒でも小・中・高と発達段階によってかなり違って来ると感じました。（外部講師関係者）

## <講演について>

### ◎内訳

分類	人数（人）
大変参考になった	90
参考になった	28
どちらでもない	2
参考にならなかった	1



### ○教育関係者 ※一部抜粋

- ・「治療法は医師任せではだめだ。自分で選ぶんだ。」という言葉が印象に残りました。がんを予防することはもちろんですが、がんに罹患した際に自分で未来を選ぶためにも正しい知識や健診受診が大切であると学びました。また、妊孕性について失念していたので、がんと共に生きていく生活についても考えることが必要だと思いました。がんがで始める20歳頃までに規則正しい生活を確立できるよう小学校段階から指導していきたいと思いました。（小学校・養護教諭）
- ・専門的な知識だけでなく、当事者しかわからないことや、当事者にしか話せないことを交えながらの講演は、とても説得力のあるものだった。（小学校・校長）
- ・実際のがん経験者からの貴重な体験の話を知ることができたから。また、がんにならない生活習慣や、がん患者の周りの支援者や家族のケアについても、具体的に学ぶことができたため。（小学校・養護教諭）
- ・実際に癌を経験した方の話を聞くことは、とても貴重な時間でした。癌についての基礎知

識はもちろんですが、5年生存率のグラフや癌の治療と仕事の両立のお話や患者さんへの接し方等も教えていただいたので、今後の参考になりました。(小学校・養護教諭)

- ・がんについての知識はもちろんのこと、先生ご自身のご体験を踏まえた、家族のこと、病気のこと、そして、がんと知った周りの人たちの反応や言葉で感じたことなどを知ることができたのが、個人的に、とても心に残りました。(小学校・養護教諭)
- ・外部講師として、児童生徒にどのような話をしてくださるのか、具体的に説明していただき大変分かりやすかったです。がん教育を進めていくに当たって、児童への配慮を忘れずに命の大切さについて伝えていけるようにしたいと思いました。(小学校・養護教諭)
- ・藤野様の講演は、大変わかりやすく参考になりました。がんの知識となる部分は、図などを用いられ分かりやすかったです。また、経験者としての苦労や周囲の人たちへの願いを率直に述べられていてご本人の思いがとても伝わってきました。今後も、外部講師を活用するにあたり、がん経験者の方の話は取り入れていきたいと感じました。このような方の話を聞くことで、がんへの正しい理解と予防への知識が身に付くと考えます。(小学校・教諭)
- ・がん罹患者の先生のお話は、気持ちがこもっていて心に響きました。患者の心情が良く伝わり、話がまとまっていて聞きやすかったです。(小学校・養護教諭)
- ・がん経験者の方のお話を聞くことのできる貴重な機会でした。がん検診の重要性や家族とのかかわり方に重点を置いてお話をされていることから、がんは治る病気であるとともに、患者本人や支える家族の支援が重要であることを学ぶことができました。(小学校・養護教諭)
- ・治療方法や、がんになったときの気持ち、周りのサポートなど、実際に経験した方のお話は重みが違いました。子どもたちもこのようなお話を聞くことでより命の大切さを実感できると思います。また家族にがんの患者さんがいる子供への配慮についても勉強になりました。(小学校・養護教諭)
- ・がんについて、自分でも全くわかっていなかった。実際のがんサバイバーの方のお話を聞いて、がんのしくみ、がん検診や早期発見の重要性について詳しく知ることができた。がん細胞は、10年～20年かけて1cmの大きさになる、ということを知り、中学生、高校生の若いうちから、がんについての理解が重要なんだと改めて感じた。がんの知識はもちろん、がんを防ぐために今からの生活でやれることはたくさんあるので、それをもっと伝えていきたい。一つしかない命、自分や友達、家族など周りの命を大切にしてほしい。(小学校・養護教諭)
- ・発達段階による内容の違いが示され外部講師へ依頼する際のイメージができた。また実体験に基づく生活の変化や家族への配慮など教職員が知っておくべき内容も多かった。(小学校・養護教諭)
- ・がんというと小学生にはまだ自分のこととしてとらえることが難しいように感じますが、がん経験者の方からお話を聞くことで子どもたち、我々大人の意識も変わるように思います。早期発見、早期治療の大切さも身近なものとしてとらえられると思いました。(小学校・養護教諭)
- ・がんについての基礎知識から、患者さん自身の変化、気持ちについて具体的に学ぶことができました。がん検診の受診率は大きな課題であり、小学校からの保健教育の必要性を改めて感じることができました。(小学校・養護教諭)

- ・私自身、身近にがん罹患者がおらず、実感として遠い気がしていたが、今回の講演を聴いて、とても分かりやすく、身近な病気として捉えることができた。(小学校・養護教諭)
- ・がんのしくみや原因、患者支援について大変分かりやすかったです。ご自身のこともお話いただき、がん患者の家族への声かけにも配慮する必要があると思いました。(中学校・養護教諭)
- ・がんの概要とご自身の経験談を交えたお話はとてもわかりやすく、今の生活が将来の健康につながることを子どもたちにも理解できる、貴重な講演でした。(中学校・養護教諭)
- ・授業をする上で参考になることが多かったです。実際の体験談を交えながら治療法やご家族のことや気持ちなどをお話しして下さり、分かりやすかったです。(中学校・教諭)
- ・がんサバイバーの方から大変貴重なお話をきくことができました。全ては命の大切さにつながっていて、緩和ケアは治療のスタートから始まっているというお話が印象的でした。(中学校・養護教諭)
- ・がんとは何か？がんの原因、早期発見・早期治療によってがんが完治することについてわかりやすく説明いただきました。また、がんを防ぐための新12か条を通してがんを身近に捉え、どのように対処すればよいのかの知識を習得することができました。(中学校・教頭)
- ・がんサバイバーの方が講演をされると、死も生もどちらも言葉以上に説得力がありました。きっと確かな情報や治療法などを知っておくことは、豊かな人生を歩むため必要不可欠だと思います。12年間で大変な思いは多々あったと思いますが、このように講演して下さって感謝です。(中学校・教諭)
- ・がん経験者の方の、外部講師の授業を具体的に学ぶことができました。特に、「かわいそう」という言葉だけでなく、がん家族に対してがん患者の病状を尋ねたり、「支えてあげて」という言葉がけがプレッシャーになるというお話を聞き、つい「元気？」と尋ねてしまいそうですが、ケアギバーが自分らしくいられる場所として学校もあると思うので、当事者の気持ちに立った声掛けをしていきたいと思いました。(中学校・養護教諭)
- ・経験者ならではの思いや願いがあふれていて、外部指導者との連携の大切さを感じた。(中学校・養護教諭)
- ・やはりがん経験者の方のお話は、健康や命の大切さを考える上で非常に貴重な機会になると感じました。(高等学校・養護教諭)
- ・外部講師の方の思いや、実体験は、説得力が違うこと。特に、命と引き換えに失ったものは後悔がない、という言葉は、非常に響きました。事前授業と、外部講師の方との打ち合わせで、展開して欲しい内容をきちんと打ち合わせ、単元のねらいを共有することで子どもたちの心に響く授業が展開できると思いました。(高等学校・教諭)
- ・がんの基礎知識が保健だより等でも載せられるような量でまとめられており、わかりやすかった。(高等学校・養護教諭)
- ・講演から、検診の大切さや、治療と生活の両立、そして周囲の理解と支えが患者にとって大きな力になることを学びました。教育現場でも「命の大切さ」を実感できる授業を積み重ね、がんに対する正しい理解を広げる必要性を改めて強く感じました。(高等学校・養護教諭)
- ・講師の藤野さんには、昨年度本校でも生徒対象に講演をしていただきました。対象が大人になることで話しされる内容や伝え方をどう変えているか、参考にさせていただきました。

た。(高等学校・養護教諭)

- ・指導者としてだけでなく、自身や周囲ががんになったらという視点で話を聞くことができ、指導方法だけでなくがんに対する知見を深められたと感じております。妊孕性温存療法という方法も初めて耳にしたので、今後の将来を考えるうえで知っておくべき選択肢であると感じました。(高等学校・養護教諭)
- ・がん細胞ができる仕組みやがんになる臓器などイラストでわかりやすく、自分が授業を行う際には参考にしたいと感じた。また、当事者としての気持ちや児童生徒に伝えたい内容について知るきっかけになったため、児童生徒が当事者や関係者になった際の対応について助言できると感じた。がんについて理解することも大切だが、自分らしい時間を過ごすことの大切さを強く伝えていきたいと思った。(特別支援学校・養護教諭)
- ・AYA 世代という言葉や、妊孕性温存療法ということ等、初めて知ることが多く大変学びになりました。(特別支援学校・養護教諭)
- ・実際のがん患者の方からお話を伺える貴重な機会をありがとうございました。具体的に実際の講演で伝えていただいていることをうかがうことができ、私自身ももっとがんについての知識を持たなければいけないと思いました。また、児童生徒やそのご家族ががんになったなどの際には、本人やご家族に寄り添うことができるような働きかけをしていきたいです。(特別支援学校・養護教諭)
- ・がんを経験された方からの直接の言葉というのは、生徒の心に響くと思った。がん患者とどのように接すれば良いかや、嬉しかったことや辛かったことなど、当事者でないと話せないことや思いを感じた。(特別支援学校・養護教諭)
- ・お子さんに対し、いわゆるヤングケアラーとして頑張っているプレッシャーをかけるような言葉がけをしている場面が一番つらかったとおっしゃっていました。私もしていたかもしれませんが、私にとっては親御さんの気持ちを思って言った言葉だったのですが、良くなかったのだと反省しました。(特別支援学校・養護教諭)
- ・AYA 世代や、がんと仕事の両立 体のつらさや心のつらさについて理解し、迷わせない、困らせない、ひとりにさせないためのがん教育を行い、唯一無二の大切な命を守っていくためにがん教育が必要な理由を知った。(特別支援学校・養護教諭)
- ・がんという病気の知識をわかりやすく説明してくださり、質問に対するお答えもとても参考になりました。また、子どもたちに最後にお話しされていることも説得力があり、子どもたちは改めて自分の生活習慣や、がん、命に対して考えさせられると思いました。がんに対する知識はもちろん、がん患者の方のそれぞれのニーズに応じた環境づくり、社会づくりを進めていくことも大切であると感じました。(特別支援学校・養護教諭)
- ・がんの当事者が近くにいない限り、身近に感じにくいテーマであるが、その予防やなった後のサポートなどについてサバイバーの方から話を聞く機会はとても重要であると感じました。特に小学生にとって少しでも身近になると意識が変わるのではないかと考えます。(特別支援学校・養護教諭)
- ・スライド資料がとても分かりやすく、「がんへの正しい理解が誰もが暮らしやすい社会につながる」の部分に共感しました。ありがとうございました。(市町村委員会・指導主事)
- ・実際に罹患されていた方の見え方、感じ方は、何物にも代え難い、価値ある「教材」となると感じました。子供たちの「未来」に繋がる教材づくりを目指し、各校へ働きかけていきたいと感じました。(市町村委員会・指導主事)

○外部講師関係者 ※一部抜粋

- ・実際の癌サバイバーの意見はとても参考になりますし説得力があります。(学校医)
- ・がん経験者の講話でがんという病気をどのように向き合い、治療されたかをとても分かりやすく説明されて良かったです。(外部講師関係者)
- ・同じがん体験者として話す内容に対象者に沿った形式を常に学習し、最新の情報にしていること。(外部講師関係者)
- ・同じサバイバーとして、とても勉強になりました。藤野さんの話し方、授業の構成、出典など、どれも良かったです。また、県立図書館司書の福土さんの情報収集の数、司書のお手伝いサービスは初めて知り、参考になりました。(外部講師関係者)
- ・がん患者さんとどのように接することが大切なのかについて、がん体験者の視点で分かりやすく説明していただけたと思っております。さりげない思いやりがコミュニケーションの基本になることを改めて学ぶことができました。(外部講師関係者)
- ・外部講師の考え方や医療従事者、受け入れる学校の活用方法などが理解できたため。(薬剤師)
- ・がん全般に対して網羅されており、がんサバイバーの言葉には格別の重みがあり、心に沁みました。(学校歯科医)

<感想等>

○教育関係者 ※一部抜粋

- ・今年度と同様でお願いしたい。また、オンラインだと参加しやすい。(小学校・養護教諭)
- ・今回のような形式で実施していただけると、自分の学校の予定に合わせた研修が無理なくできるので大変良いと思いました。また、途中急な用事が入っても、途中から改めてさかのぼって再生ができるので、じっくりと落ち着いて聞き逃しなく受けることができました。貴重な研修の機会を設けていただきありがとうございます。(小学校・養護教諭)
- ・動画配信による研修はスケジュール調整が可能で参加しやすかった。ありがとうございます。(小学校・校長)
- ・オンラインだったので参加しやすかったです。(小学校・養護教諭)
- ・オンデマンドは児童が下校後に視聴したり、気になる部分を見返したりできるので大変ありがたいです。(小学校・養護教諭)
- ・夏休み中であれば参加しやすいです。(小学校・養護教諭)
- ・この度は、貴重な研修会をありがとうございます。オンライン研修は、参加しやすく大変助かります。(小学校・養護教諭)
- ・このようなオンラインでの研修の機会を作っていただけれることで、突発的な業務で視聴が中断してしまっても、もう一度見直しをできたり、振り返りができるのがとても助かりました。ぜひ今後もこのような形態で実施してもらえれば、研修にも参加しやすく、情報のアップデートも行いやすくなると思いました。(小学校・養護教諭)
- ・貴重な研修となりました。ありがとうございます。(小学校・養護教諭)
- ・動画による研修は参加しやすい反面、勤務時間に見ることは難しいこともある。夏季休業中の在宅勤務として参加できるなど柔軟な対応があるとよいのではないかと思います。外部講師の活用を広げていくため県から示された講師の授業事例が複数あると依頼につながる

のではないか。講師の肩書きだけでは学校の求める内容がお話しいただけるのか、内容を一から協議するのかなど不安があり依頼に躊躇することもあると思う。(小学校・養護教諭)

- ・動画配信だと気軽に参加できてよいが、実際の会場で研修する機会もあるとよいと思いました。(小学校・養護教諭)
- ・研修会の開催にあたり、お忙しい中、ご計画や様々なご準備等をしていただきありがとうございます。このような貴重な学びの機会をいただき心より感謝しております。本当にありがとうございました。(小学校・養護教諭)
- ・オンラインもありがたいのですが、時間の確保がなかなかできなかった。(小学校・養護教諭)
- ・夏休み中に研修を受けられるのは、落ち着いていますし、かなりありがたいです。ありがたいです。次年度もこの形を希望します。ご準備等ありがとうございました。(中学校・養護教諭)
- ・動画視聴は、もう一度聞きたいことなどを改めて再生できるのでとてもいい開催方法だと思います。(中学校・教諭)
- ・開催時期はもう少し早めの方が良いと思いました。開催方法や内容はとても良かったです。ありがとうございました。(中学校・養護教諭)
- ・今回のように、実践事例と講演が合わさった内容だと嬉しいです。(中学校・養護教諭)
- ・サバイバーや家族にがん経験者がいる方から見た必要な配慮、または踏み込んでほしい内容・領域などが知りたいです。(個々に合わせるべきなのでしょうが、サバイバーの方々やがん経験者家族のコミュニティの方々が、学校教育にどのようなことを求める傾向にあるのか、お聞きしたいです。)(中学校・養護教諭)
- ・動画視聴の研修会でよいと思います。研修会の講師として、今年度、大宮ソニックシティで実施された日本産婦人科医会性教育指導セミナーで講演された日本大学医学部産婦人科教室の川名敬先生から子宮頸がんやワクチンについて聴いてみたいです。(中学校・養護教諭)
- ・貴重な研修をありがとうございました。動画配信でいつでも何回も視聴できてとてもよかったです。教育現場ではもちろんですが、自分の人生にも活かせる内容ばかりでした。生徒たちに伝えるためには、まず自分が理解し行動して活かせるかなければいけないと改めて感じました。ありがとうございました。また研修に参加したいです。(中学校・教諭)
- ・今回の研修内容も自身にとって大変貴重であり、もっと研鑽を積まなくてはと感じました。今回の講義を今後の教育活動に生かしていきます。特に、外部講師も積極的に活用、依頼していこうと思います。ありがとうございました。(中学校・養護教諭)
- ・夏季休業前半(7月)からの配信にしていきたい。研修を受け、意欲が高まり教材研究を行うにも、8月後半は2学期準備が本格化し、時間的な余裕がなくなってしまうため。(高等学校・養護教諭)
- ・大変参考になりました。研修会の開催ありがとうございました。(高等学校・養護教諭)
- ・特別支援学校で実施している内容があれば、参考にさせていただきたいと思います。(特別支援学校・養護教諭)
- ・長期休み以外の日程だと体制上研修が受けにくい(ほぼ受けられない)ため、なるべく長期休みに実施していただきたい。(特別支援学校・教諭)

- ・引き続きオンデマンド配信にしていただけると大変ありがたいです。(特別支援学校・養護教諭)
- ・ありがとうございました。高等学校の先生のお話しがボリュームを上げて小さくて聞きにくかったです。(特別支援学校・養護教諭)
- ・オンデマンドでの研修は、研修時間の設定のしやすさや、繰り返して見ることができる柔軟さがやはり良いと感じました。素晴らしい研修内容をご提供いただきありがとうございました。(市町村委員会・指導主事)

○外部講師関係者 ※一部抜粋

- ・スライドの活字が滲んで汚いスライドがあった。どこかのコンテンツをコピーして拡大したと思われる。再作成が望ましいです。印象が悪くなる。高校の部は超優秀だったが、構想と作成で1年間は要したと思う。同僚数人と手分けした方が負担が少ないし、他の先生の経験値も向上し、学校全体のレベルアップにつながる。優秀な先生ひとりに依存するやり方は効率が悪いし、学校全体への波及効果が得られない。難を言えば、盛沢山すぎて生徒は消化不良と思う。全部教えようとする気持ちは分かるが、思い切って整理して、学校がん教育の原点に注力した方が良いのでは？(外部講師関係者)
- ・同時配信はなくてもいいので(あればなお良い)現地開催をメインとして、その後一定期間記録動画を視聴できる形式が望ましいと思いました。(外部講師関係者)
- ・生徒に好評だった講義内容。(薬剤師)
- ・webで空いた時間に視聴できありがたい。(学校歯科医)
- ・今回のような動画配信期間を長く設定されたことは、忙しい先生の方々にとっては視聴しやすいと思います。(外部講師関係者)
- ・講演後に生徒がどんなことを感じたかについての話をきかせていただけると助かります。(外部講師関係者)
- ・期間を決めて頂いて、動画を自分のタイミングで視聴出来るので、参加しやすいです。有り難う御座いました。(外部講師関係者)
- ・昨年の授業の報告、がん経験者、医師、看護師、薬剤師など医療従事者、アピアランスケアなどの講演を希望(薬剤師)
- ・近年、口腔がん(特に舌がん)が急増しています。口腔がんの研修会を出来ればお願いします。(学校歯科医)
- ・時期は10月~11月ぐらいを希望します。開催方法は直接対面を希望します。(外部講師関係者)
- ・ご質問内容とは異なりますが、どうしても気になることがありました、北本とま子さんの設定です。「運動嫌いで、肥満ぎみ」とありましたが、運動好きで、適正体重を保っている方もがんに罹患するからです。明らかなアンコンシャスバイアスだと思います。アンコンシャスバイアスは無くして欲しいです。よろしく願いいたします。(外部講師関係者)

Ⅲ 令和7年度 埼玉県「がん教育」授業研究会

＜がん教育授業研究会資料＞

【小学校の実践】 上尾市立尾山台小学校

【中学校の実践】 越谷市立武蔵野中学校

【高等学校の実践】 県立浦和西高等学校



埼玉県マスコット「コバトン」

令和7年度埼玉県「がん教育」授業研究会(小学校)開催要項

1 趣 旨

日本人の死亡原因として最も多いがんについて、がんそのものの理解やがん患者に対する正しい認識を深める教育は不十分であり課題であると指摘されている。

この課題解決のためには、児童生徒が学校教育を通じてがんについて学ぶことにより、健康に対する関心をもち、正しく理解し、適切な態度や行動をとることができるように指導することが必要である。

そこで、学校におけるがん教育の充実を図るため、発達の段階に応じた適切な指導が実施されるよう、授業研究会を開催し、研究協議を行う。

2 主 催 埼玉県教育委員会

3 期 日 令和7年11月6日(木)

4 会 場 上尾市立尾山台小学校(上尾市瓦葺509-1)

5 参加対象者 (1) 公立小学校、義務教育学校、特別支援学校(小学部設置)の教職員(教諭、養護教諭、保健主事等)、及び市町村教育委員会の指導主事等  
 ※ 上尾市立小学校の教職員は、各学校1名以上参加してください。  
 (2) 上尾市立中学校の教職員(保健体育科教諭、養護教諭、保健主事等)  
 (3) 埼玉県がん教育外部講師関係者

6 日 程

- (1) 受付 13時05分～ ( 体育館 )
- (2) 公開授業 13時25分～14時10分 ( 体育館 )
- (3) 全体会 14時30分～14時50分 ( 体育館 )
- (4) 研究協議 15時00分～16時20分 ( 体育館 )

7 公開授業

学年	授業者	主 題 名 等
6年	T1:池澤 大樹 教 諭 T2:嶋 春菜 養護教諭	総合的な学習の時間「ロングロングライフデザイン」

8 指導者及び役員

埼玉県教育局県立学校部保健体育課	教育指導幹	佐藤 泰弘
埼玉県教育局県立学校部保健体育課	主任指導主事	薬師寺將二
埼玉県教育局県立学校部保健体育課	指 導 主 事	佐野 秀行
埼玉県教育局県立学校部保健体育課	指 導 主 事	高沢 聖子
埼玉県教育局南部教育事務所	指 導 主 事	内田 敦子
上尾市教育委員会学校保健課	指 導 主 事	飯島 正大

埼玉大学教育学部  
埼玉医科大学総合医療センター  
NPO法人くまがやピンクリボンの会  
川口市立柳崎小学校  
上尾市立瓦葺小学校  
川口市立木曾呂小学校  
蕨市立東中学校  
県立三郷高等学校

准教授  
代表理事  
校長  
教諭  
養護教諭  
養護教諭  
教諭

七木田文彦  
儀賀理暁  
栗原和江  
川端浩司  
波田野加奈子  
中村恵子  
川嶋紅音  
佐々木智子

#### 9 参加について

- ・上履きと下足入れをお持ちください。
- ・駐車場には限りがございますので、できるだけ公共交通機関をご利用いただくか、乗り合わせにご協力ください。
- ・お車でお越しの際は、校庭に駐車してください。
- ・会場校に来校する際には、以下をご参照ください。

#### 【上尾市立尾山台小学校への御案内】

※地図は省略しています。

## 第6学年1組 総合的な学習の時間 学習指導案

令和7年 11月6日(木) 第5校時  
場 所 体育館  
児童数 24名  
指導者 T1 池澤 大樹  
T2 嶋 春菜(養護教諭)

### 1 単元名 ロングロングライフデザイン

### 2 単元目標

健康を維持するために大切なことを調べ、実践する活動を通して、それらが自身の健康と深く関わっていることを理解する。実践を通して収集した情報を基に、比較・分類等の思考をして整理し、考えたことの根拠を明らかにして表現する中で、「自分や家族が健康であるために何が必要か」という視点を持って自分の思いや考えを振り返り、今後の自分について考えることができるようにする。

### 3 児童の実態

本学級の児童は、体育科保健領域「病気の予防」において、「病気は、病原体・体の抵抗力・生活行動・環境などが関わり合って起きる」こと、また、その予防のために「適度な運動・食事・休養・睡眠などにより、体の抵抗力を高めることが必要」であることを学習してきた。児童は「がん」について、日本人の死因の第1位であることを学習しているが、「がん」の主要因や予防法など、詳細については学習していない。

また、家庭科「生活時間をマネジメント」では、1日の時間の使い方について学習した。自分がどのように時間を使っているかを確認し、有効な時間の使い方について問題を見出し、課題を設定し、解決方法を考えて、実践を行った。「家庭生活を支える仕事」については、その積み重ねによって健康で快適な生活ができることに気付くことができた。

さらに、道徳科「命の尊さ」において、生命が多くの子の命のつながりの中にあるかけがえのないものであること、生命を尊重することについて学んだ。

加えて、総合的な学習の時間「ロングロングライフデザイン」では、自己の生活習慣を振り返って改善策を練り、探究的な学習を通して、自己の生き方について考えている。

以上のように、これまでの学習において教科横断的に健康や命の大切さについて学習してきた。

事前に実施したがんに関するアンケート「がんの学習は、健康な生活を送るために重要だ。」では100%の児童が「そう思う・どちらかといえばそう思う」と回答した。また、「がんの学習は、健康な生活を送るために役に立つ。」に対しても、100%の児童が「そう思う・どちらかといえばそう思う」と回答した。一方で、「自分はがんにならないと思う。」の問いについては、「そう思う・どちらかといえばそう思う」と答えた児童が35%であった。このことから「がん」についてのイメージはあるが、自分事として捉えている児童は少ないことが分かった。「家族や身近な人が健康であってほしいと思う。」の問いに100%の児童が「そう思う・どちらかといえばそう思う」と答えており、大切な人の健康を願う思いは強い。

### 【事前アンケートの結果(令和7年7月14日実施・対象:第6学年 23名)】

#### (1)「がん」と聞いてどんなことをイメージしますか。(記述式)

- ・かかるとネガティブとかマイナス思考の考えになる。
- ・死亡率100%である。
- ・がんの検診がある。
- ・治らない病気で、最悪死んでしまう。
- ・髪の毛が抜けてしまう。
- ・怖い。
- ・気が付いたらかかっている病気。
- ・かかるとずっと入院生活をする。

(2)「がん」についての以下の質問について、当てはまるものに○をつけてください。

	質問	そう思う	どちらかといえば そう思う	どちらかといえば そう思わない	そう思わない
1	がんの学習は、健康な生活を送るために重要だ。	78%	22%	0%	0%
2	がんの学習は、健康な生活を送るために役に立つ。	78%	22%	0%	0%
3	自分はがんにならないと思う。	7%	28%	37%	28%
4	将来、たばこは吸わないでいようと思う。	82%	14%	0%	4%
5	日頃から、バランスの良い食事や適度に運動を行うなど健康な体づくりに取り組もうと思う。	64%	32%	0%	4%
6	がん検診を受けられる年齢になったら、検診を受けようと思う。	64%	23%	9%	4%
7	がんの治療方法はいくつかあるが、医師が決めるものである。	18%	41%	18%	23%
8	がんになっても生活の質を高めることができる。	9%	32%	27%	32%
9	がん患者を支える仕事に興味がある。	14%	14%	45%	27%
10	がんになっている人も過ごしやすい世の中になりたい。	65%	27%	4%	4%
11	がんと健康について、まずは身近な家族から語ろうと思う。	32%	50%	9%	9%
12	家族や身近な人が健康であってほしいと思う。	86%	14%	0%	0%
13	長生きをするために、健康な体づくりに取り組もうと思う。	82%	14%	0%	4%

	質問	正しい	誤り
14	がんは誰もがかかる可能性のある病気である。	95%	5%
15	がんは進行すると、今まで通りの生活ができなくなったり、命を失ったりすることがある。	100%	0%
16	がんは日本人の死因の第2位である。	36%	64%
17	たばこを吸わないこと、バランス良く食事をする、適度な運動をすることなどによって、予防できるがんもある。	82%	18%
18	早期発見すれば、がんは治りやすい。	95%	5%
19	体の調子が良い場合は、定期的に検診に行かなくても良い。	0%	100%
20	がんの治療法には手術治療しかない。	32%	68%
21	がんの痛みは我慢するしかない。	9%	91%

【がん経験者からの講話の事後アンケートの結果（令和7年7月14日実施・対象：第6学年 23名）】

- (1) 今日の授業について、理解は出来たか。  
全体的によく理解できた。 72.7%  
だいたい理解できた。 27.3%  
難しかった。 0.0%
- (2) がんやがん検診について知っていたか。  
知っていた。 54.5%  
知らなかった。 45.5%
- ① 知っていたと答えた人：がんやがん検診についてどのように考えが変わったか。（記述）
  - ・がんになったらネガティブとかマイナス思考の考えだったが、がんになったからこそ学べるのだと分かった。
  - ・死亡率100%だと思っていたが、そうではなかった。
  - ・がん検診があることは知っていたが、そこで5mm程度のがん細胞まで見つかるとは思っていなかった。
  - ・がんは治るものもあると知った。
- ② 知らなかったと答えた人：がんやがん検診について理解できたか。  
はい 90%  
いいえ 10%
- (3) 今日勉強したことを家族や身近な人に話してみたいと思ったか。  
はい 95.5%  
いいえ 4.5%
- (4) 今日の授業をについて感じたことは何か。
  - ・親にも検診してって言いたい。 ・甘いものやジュースを飲みすぎないようにしたい。
  - ・規則正しい生活をしたい。 ・がんになっても諦めなければ報われると分かった。
  - ・たくさん笑って菌を無くしたい。
  - ・聞いたことを家族に話して、父のたばこの本数を減らしたい。
  - ・がん検診のことを家族や周りの人に伝えて、がんになる人や亡くなる人を減らしたい。
  - ・実体験を聞き、命の重みを改めて知った。
  - ・病気でいたいことができない子がいるから、毎日を大切に過ごしたい。
  - ・当たり前のように過ごしているが、日常生活のありがたさが分かった。
  - ・当たり前の日々を過ごせなかった人たちの分まで命に感謝して過ごしたい。
  - ・体験した話だったから「がん」や「死」という言葉が身近に感じられた。

#### 4 教材について

##### (1) 題材設定の理由

学校における健康教育は、生涯を通じて自らの健康を適切に管理し改善していく資質能力を育成することを目指している。令和5年3月に改訂された第4期がん対策推進基本計画によると、昭和56（1981）年から現在まで日本人の死因の第1位は「がん」であり、令和3（2021）年には、年間約38万人と約3人に1人ががんで亡くなっているほか、生涯のうちに約2人に1人が罹患すると推計されているなど、依然として、国民の生命と健康にとって重大な問題である。

また、「誰一人取り残さないがん対策を推進し、全ての国民とがんの克服を目指す」という全体目標を達成させるためには、児童が健康と命の大切さについて学び、自らの健康を適切に管理するとともに、がんに対する正しい知識、がん患者への理解及び命の大切さに対する認識を深めることが大切である。「がん」について学ぶことは、健康教育の一環として、生涯を通じて自らの健康を適切に管理し改善していく資質能力の育成につながると考え、本題材を設定した。

##### (2) 本題材の指導

本題材では、「がんについて正しく理解すること」「健康と命の大切さについて主体的に考えること」という2点について学習を進めていく。体育科保健領域、家庭科、総合的な学習の時間、道徳科など様々な教科・領域に加えて、健康診断や発育測定等の機会も生か

し、これからの社会を生き抜くために必要な資質・能力を教科等横断的に身に付けさせる。「がん」に対する科学的根拠については、学習指導要領に則り、中学校及び高等学校で学習することを踏まえ、小学校段階では、「がん」に対する基礎的な知識（原因、予防、早期発見、検診等）についての理解に絞って学習し、健康と命の大切さについて主体的に考える児童の育成を目指す。

また、「がん」に関する外部講師による出前授業を行い、「がんに対する正しい理解」のほか、諦めない精神的な強さ・健康・命・家族の大切さ等について実体験をもとに話してもらい、自分事として捉えられるようにする。

そして、体育科保健領域の内容を振り返りながら、日常の学校生活は基本的な生活習慣の基盤であることや、学校で実施している定期健康診断は病気やがん予防のための早期発見につながることに改めて気付くことができるようにさせる。学校内外の日常生活にフォーカスし、身近な健康に結びつけるように学習内容を工夫していく。自分自身だけではなく、家族や友人と共に健康に生きていくための手立てを話し合いの中で深め、主体的・対話的な活動を通して、将来、自己選択・自己決定できるような児童の育成を目指す。

## 5 評価規準

(総合的な学習の時間)

単元の評価規準	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	課題の解決に必要な知識や技能を身に付け、課題に関わる概念を形成し、探究的な学習の良さを理解している。	実社会や実生活の中から問いを見出し、課題を立て、情報を集め、整理・分析して、まとめ・表現している。	探究的な学習に主体的・協働的に取り組もうとし、自分のできることを考え、今後の生活へ生かそうとしている。
小単元における評価規準	①健康を保つためには、健康な生活が大切であることに気付いている。 ②Google Forms やウェブサイト、インタビュー等を通して必要な情報を収集している。 ③探究的に学習することで、健康が豊かな人生の実現に果たすものであると気付いている。	①健康な生活を送るためにどんなことが大切か話し合いをした内容を基に課題をつくり、解決の見通しを持っている。 ②必要な情報を適切かつ効率的に集めたり、調べたりしている。 ③自分の考えを分かりやすくまとめ、判断し、効果的な方法で表現している。	①異なる意見や他者の考えを受け入れたり、尊重したりしようとしている。 ②より良い活動にするためにアドバイスをしたり、アイデアを出し合ったりして健康な生活を送るために取り組んでいる。 ③日常生活と健康の深いつながりを自覚し、学習したことから自分のできることを考え、今後の生活へ生かそうとしている。

(体育科保健領域)

知識	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
①病気は、病原体、体の抵抗力、生活行動、環境が関わり合って起こることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。 ②感染症の予防には、病原体が体に入るのを防ぐことや病原体に対する体の抵	①病気の起こり方について、課題を見付け、その解決に向けて考え、表現している。 ②感染症の予防について、課題を見付け、その解決に向けて考え、それを表現している。	①学習内容に関心を持ち、より良く学ぼうとする意欲をもって、学習に粘り強く取り組もうとしている。

<p>抵抗力を高めること、感染症にかかったら早めに治療を受け、安静にすることで回復を早めることが必要であることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。</p> <p>③心臓病や脳卒中などの生活習慣病の予防には、適切な運動を行い、栄養の偏りのない食事をとることなど、望ましい生活習慣を身に付ける必要があることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。</p> <p>④むし歯や歯周病などの生活習慣病の予防には、口腔の衛生を保つことなど、望ましい生活習慣を身に付ける必要があることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。</p> <p>⑤喫煙や飲酒は、健康を損なう原因となることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。</p> <p>⑥薬物乱用は、一回の乱用でも死に至ることがあり、乱用を続けると止められなくなり、心身の健康に深刻な影響を及ぼすことについて、理解したことを言ったり書いたりしている。</p> <p>⑦人々の病気を予防するために、保健所や保健センターなどでは、健康な生活習慣に関わる情報提供や予防接種などの活動が行われていることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。</p>	<p>③心臓病や脳卒中などの生活習慣病の予防について、課題を見付け、その解決に向けて考え、それを表現している。</p> <p>④むし歯、歯周病などの生活習慣病の予防について、課題を見付け、その解決に向けて考え、それを表現している。</p> <p>⑤喫煙や飲酒の害と健康について、課題を見付け、その解決に向けて考え、それを表現している。</p> <p>⑥薬物乱用と健康について、課題を見付け、その解決に向けて考え、それを表現している。</p> <p>⑦地域の様々な保健活動の取組について、課題を見付け、その解決に向けて考え、それを表現している。</p>	<p>②他者の考えも受け入れながら進め方を工夫改善するなど、自らの学習を調整しようとしている。</p>
---	---	---

(家庭科)

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<p>①生活時間の有効な使い方について理解している。</p>	<p>①生活時間の有効な使い方について問題を見出して課題を設定し、様々な解決方法を考え、実践を評価・改善し、考えたことを表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。</p>	<p>①家族の一員として、生活をよりよくしようと生活時間の有効な使い方について、課題の解決に向けて主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し、実践しようとしている。</p>

## (道徳科)

評価の視点	
物事を多面的・多角的に考えている様子	道徳的価値についての理解を自分との関わりで深めている様子
命があることの喜びや可能性、命は多くの人の支えの中で守られているなどの意義について、様々な観点から考えている。	自分の生活を振り返り、自分に命があることのありがたさについて考え、自分のこれからの生き方について考えを深めている。

## 6 事前の指導

日付	児童の活動	○指導上の留意点	☆目指す児童の姿【観点】〈評価方法〉
3年時	・体育科（保健領域） 「けんこうな生活」 4 / 4時間	○個々人の家庭環境はそれぞれ違うことを押さえる。	☆心や体の調子が良い状態が健康だということ、健康は自分自身の生活や周囲の環境が要因になって変化することを理解している。 【知識・技能】〈ワークシート〉
4年時	・体育科（保健領域） 「育ちゆく体とわたし」 4 / 4時間	○体の発育の仕方には、個人差があることを踏まえる。	☆体の発育の仕方には、後から大きくなる人や早く大きくなる人など、個人によって違いがあることをグラフから読み取り、説明している。 【思考・判断・表現】 〈アンケート・ワークシート〉
5年時	・体育科（保健領域） 「心の健康」 8 / 8時間	○不安や悩みへの対処には、様々な方法があることと、自分に合った適切な方法で対処できることについて理解できるようにする。	☆心の健康について、課題の解決に向けての話し合いや発表等の学習、資料を調べたり、自分の生活を振り返ったりする等の学習に進んで取り組もうとしている。 【主体的に学習に取り組む態度】 〈発言・ワークシート〉
第6学年 4月16日 4月24日	・家庭科 「生活時間をマネジメント」 2 / 2時間	○自分がどのように時間を使っているかが分かるようにワークシートに記入させる。	☆生活時間の有効な使い方について問題を見出して課題を設定し、様々な解決方法を考え、実践を評価・改善し、考えたことを表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。 【思考・判断・表現】 〈ワークシート〉
4・5月	・定期健康診断	○健康診断を通じて、自らの健康状態を把握し、疾病や異常の疑いがある場合は、早期に医療機関の受診を勧める。	
6月25日 6月27日 7月2日 7月10日	・体育科（保健領域） 「病気の予防」 1～4 / 8時間	○「がん」が死亡原因の1位であることや2人に1人が「がん」になる可能性があることを確認するとともに、「がん」について正しく知ることが重要であ	☆病気を予防するためには、良い生活習慣を身に付けることが大切だと理解している。 【知識・技能】 〈発言・ワークシート〉

		ることを実感させる。	
7月14日	・アンケート調査 (事前)	○結果を集計・分析し、児童の実態を把握する。 ○授業後に再び調査を行い、変容を見る。	
	・「がん経験者からの講話」 NPO 法人くまがやピンクリボンの会 代表理事 栗原和江様	○がんで亡くなった人が身近にいる児童・がんになった児童に対して配慮を行う。	☆自己の生活をより良くするために見通しを持ったり、振り返ったりしている。 【主体的に学習に取り組む態度】 〈観察・ワークシート〉
10月1日 10月6日 10月15日 10月23日	・体育科(保健領域) 「病気の予防」 5～8/8時間 上尾市健康増進課 小穴 理恵子様	○喫煙の害と健康について、課題を見付け、その解決に向けて考えさせる。 ○飲酒の害と健康について、課題を見付け、その解決に向けて考えさせる。	☆生活習慣病の予防について、課題点や改善点を自分事と捉えて考えている。 【思考・判断・表現】 〈ワークシート〉
10月29日	・道徳科 「命を見つめて」	○学習の繋がりを意識できるように、命があることの喜びや可能性、命が多くの人の支えの中での守られていることの意義について、様々な観点から考えさせる。	☆限りある尊い生命だからこそ生きている幸せを感じ、精いっぱい生きようとする気持ちを高めている。 【道徳的価値についての理解を自分との関わりで深めている様子】 〈ノート〉

## 7 単元の指導と評価の計画

(総合的な学習の時間)

過程	○学習活動 ・児童の思考	・指導上の留意点 【評価】 〈評価方法〉
課題	○オリエンテーション ・総合は、探究の過程が大切なんだね。  ○総合の内容について話し合う。 ・去年の○年生がこんなことをしていたよ。	・総合的な学習の時間の進め方やねらいについて確認し、学習に見通しを持つことができるようにする。 ・どんな内容があるのか、話し合うことで、総合の関心を高める。 【思考・判断・表現】〈発言・ワークシート〉
収集	○食について知っていることを共有する。 ・家庭科で栄養バランスを学んだよ。 ・甘い飲み物にはたくさんの砂糖がふくまれているよ。 ・ウェブサイトでも調べてみよう。	・話し合ったことを基に、疑問に感じたことを調査することができるようにする。 【主体的に学習に取り組む態度】〈発言〉
整理	○食について集めた情報を整理する。	・見付けたことを書いた付箋紙をグループで貼り

		出し、情報を可視化していく。 【思考・判断・表現】〈発言・ワークシート〉
表現	○整理したものを、全体で共有する。 ・砂糖を使用していないのに、甘く感じるものがあるのは何でだろう。 ・体に悪い食べ物とは、何だろう。	・グループでまとめた情報を全体で共有することで、新たな疑問や次の活動の見通しを持つことができるようにする。 【思考・判断・表現】〈発言・ワークシート〉
課題	○食についてもっと調べてみたいことを考える。 ・健康な食のために取り組んでいることって何だろう。	・話し合ったことやまとめた情報を基に、次の計画を立てることができるようにする。 【思考・判断・表現】〈発言〉
収集	○健康な食のために取り組んでいることを調べる。 ・果物の自然の甘みを使っているんだね。	・健康な食のために取り組んでいることについてウェブサイトや本等から必要な情報を収集することができるようにする。 【知識・技能】〈ワークシート〉
整理	○健康な食について集めた情報を整理する。	・見付けたことを書いた付箋紙をグループで貼り出し、情報を可視化していく。 【思考・判断・表現】〈発言・ワークシート〉
表現	○整理したものを、全体で共有する。 ・家での食事はどうだろうか。	・グループでまとめた情報を全体で共有することで、新たな疑問や次の活動の見通しを持つことができるようにする。 【思考・判断・表現】〈発言・ワークシート〉
課題	○健康な食生活について考える。 ・家の食事は栄養が偏っているな。 ・健康な体をつくるためにはどうしたらいいか。 ・塩分を摂りすぎている。	・事前に保護者にアンケートを行い、課題を見付けることができるようにする。 【主体的に学習に取り組む態度】〈発言〉
収集	○情報を収集する。 ・ウェブサイトの情報は本当か、本でも調べてみよう。	・健康な生活のために自分の決めたテーマに沿ってウェブサイトや本等から必要な情報を収集することができるようにする。 【知識・技能】〈ワークシート〉
整理 (本時)	○異なったテーマの情報を共有する。 ・他のテーマで調べた子は、どんなことに興味をもって調べたのかな。 ○収集した情報を基に、日々の自分や家族の生活に置き換えて、整理する。 ・塩分と加工食品の関係性って何かな。	・外部講師との対話を通して、自身や家族の食生活について考えている。 【思考・判断・表現】〈発言・ICT 端末〉
表現	○スライドや動画等を選択し、まとめたものを基にグループでプレゼンテーションをする。	・表現方法の特性について考え、伝える対象や目的に合った表現方法を選択することができるようにする。

		【知識・技能】〈発言・行動〉
収集	○グループの子からアドバイスをもらう。	・相手意識や目的意識を明確にし、伝える対象や何のためのプレゼンなのか伝えることができるようにする。 【知識・技能】〈発言〉
整理	○アドバイスを整理し、再度まとめる。	・アドバイスを基に、伝える対象や何のためか考えて、まとめている。 【知識・技能】〈行動〉
表現	○家族や親戚、地域の人にプレゼンテーションをする。	・伝える対象や目的に合った表現方法を選択することができるようにする。 【知識・技能】〈発言・行動〉
表現	○健康な生活に取り組む。 ・家族と一緒に取り組んでみたい。	・学習したことを、これからの生活に生かすことができるようにする。 【知識・技能】〈発言・行動〉
表現	○これまでの学習を振り返る。	・学習したことを、これからの生活にどのように生かしていきたいかを考えている。 【知識・技能】〈発言・ドキュメント〉

(体育科保健領域)

時間	ねらい・学習活動	知	思	態	評価方法
1	<p>【ねらい】病気は、病原体、体の抵抗力、生活行動、環境等が関わり合って起こることについて理解することができるようにする。</p> <p>(1) 風邪をひくときの原因について考える。 (2) 風邪を参考に、病気の起こり方について整理する。 (3) 教科書の事例を基に、風邪を防ぐためのアドバイスを考える。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>主たる学習 (知識)</p> <p>・病気は病原体、体の抵抗力、生活行動、環境などが関わり合って起こること。</p> </div>	①	①		観察 ワークシート
2	<p>【ねらい】病原体が主な原因となって起こる病気の予防とその回復には、病原体が体に入るのを防ぐことや病原体に対する体の抵抗力を高めておくことが必要であることについて、理解することができるようにする。</p> <p>(1) インフルエンザの起こり方について考える。 (2) 病原体がもとになって起こる病気の予防方法について整理する。 (3) 病原体がもとになって起こる病気の予防についてできることを考える。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>主たる学習 (知識)</p> <p>・病原体が主な要因となって起こる病気の予防には、病原体が体に入るのを防ぐことや病原体に対する体の抵抗力を高める必要があること。</p> </div>	②	②		観察 ワークシート

3	<p>【ねらい】生活習慣病等生活行動が主な要因となって起こる病気の予防とその回復には、適切な運動、栄養の偏りのない食事をとること等の望ましい生活習慣を身に付ける必要があることを理解することができるようにする。</p> <p>(1) グラフの読み取りを通して、生活習慣が関係する病気について知る。</p> <p>(2) 生活習慣病とその原因となる生活行動について調べる。</p> <p>(3) 生活習慣病の予防について学習したことを踏まえて、健康のために実行することを考える。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>主たる学習（知識）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生活習慣病等、生活行動が主な要因となって起こる病気の予防には、適切な運動、栄養の偏りのない食事をとること等、望ましい生活習慣を身に付ける必要があること</li> <li>・日本人の死因1位が「がん」であることや生活習慣病が原因となって「がん」にかかることがあること。</li> </ul> </div>	③	③	観察 ワークシート
4	<p>【ねらい】生活習慣病等生活行動が主な要因となって起こる病気の予防には、口腔の衛生を保つこと等、望ましい生活習慣を身に付ける必要があることを理解することができるようにする。</p> <p>(1) むし歯や歯周病の起こり方について調べる。</p> <p>(2) AさんとBさんの生活の仕方と口の中の酸の状態を比べ、むし歯を防ぐための生活の仕方について考える。</p> <p>(3) 自分の生活を振り返り、改善するところを見つける。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>主たる学習（知識）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生活習慣病等、生活行動が主な要因となって起こる病気の予防には、口腔の衛生を保ち、望ましい生活習慣を身に付ける必要があること。</li> </ul> </div>	④	④	観察 ワークシート
5	<p>【ねらい】喫煙は、健康を損なう原因となることについて、理解することができるようにする。</p> <p>(1) 喫煙の害について調べる。</p> <p>(2) 喫煙が年齢によって禁止されている理由について知る。</p> <p>(3) 喫煙について、気を付けたいことを挙げる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>主たる学習（知識）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・喫煙は、健康を損なう原因となること。</li> </ul> </div>	⑤	①	観察 ワークシート
6	<p>【ねらい】飲酒は、健康を損なう原因となることについて、理解することができるようにする。</p> <p>(1) 飲酒の害について調べる。</p> <p>(2) 飲酒が年齢によって禁止されている理由について知る。</p> <p>(3) 飲酒について、気を付けたいことを挙げる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>主たる学習（知識）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・飲酒は、健康を損なう原因となること。</li> </ul> </div>	⑤	②	観察 ワークシート

7	<p>【ねらい】薬物乱用は、健康を損なう原因となることを理解することができるようにする。</p> <p>(1) 薬物乱用とその害について調べる。</p> <p>(2) 薬物乱用が厳しく禁止されている理由について知る。</p> <p>(3) 教科書の事例を基に、どこが間違っているか考える。</p>	⑥	⑥	観察 ワークシート
<p>主たる学習（知識）</p> <p>・薬物乱用は、健康を損なう原因となること。</p>				
8	<p>【ねらい】地域では、保健に関する様々な活動が行われていることを理解することができるようにする。</p> <p>(1) 保健所や保健センターの活動について調べる。</p> <p>(2) 学校や地域での健康を守るための活動について調べる。</p> <p>(3) 自分や家の人が利用できそうな保健活動を考える。</p>	⑦	⑦	観察 ワークシート
<p>主たる学習（知識）</p> <p>・地域では、保健に関わる様々な活動が行われていること。</p>				

(家庭科)

時間	ねらい・学習活動	知	思	態	評価方法
1	<p>【ねらい】生活時間の有効な使い方について理解している。</p> <p>(1) 生活時間について見直している。</p>	①			ワークシート
2	<p>【ねらい】生活時間の有効な使い方について問題を見出して課題を設定し、様々な解決方法を考え、実践を評価・改善し、考えたことを表現する等して課題を解決する力を身に付けている。</p> <p>(1) 家族の一員として、生活をよりよくしようと生活時間の有効な使い方について、課題の解決に向けて主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し、実践しようとしている。</p>		①	①	ワークシート

(道徳科)

ねらい・学習活動	評価の視点〈評価方法〉
<p>【ねらい】限りある生命だからこそ精一杯生きようとする態度を養う。</p> <p>(1) 生きていることについて考えさせることで、日々の生活ではあまり意識していないことに気付かせ、問題意識を持たせる。</p> <p>(2) 11歳でがんのことを伝えられた登場人物の気持ちになって考える。</p> <p>(3) 登場人物がなぜ、命の大切さを弁論大会で話そうと考えたのかを、小グループで話し合わせた後、全体発表の場を設け、自分の捉え方と比較しながら考える。</p> <p>(4) 登場人物のメッセージを読んで、どんなことを感じたかを書く。</p> <p>(5) 生きるとはどういうことか、学習で自分が考えたことを書く。</p>	<p>【物事を多面的・多角的に考えている様子】</p> <p>命があることの喜びや可能性、命は多くの人の支えの中で守られている等の意義について、様々な観点から考えている。</p> <p>【道徳的価値についての理解を自分との関わりで深めている様子】</p> <p>自分の生活を振り返り、自分に命があることのありがたさについて考え、自分のこれからの生き方について考えを深めている。</p> <p>〈ノート〉</p>

8 本時の学習と指導（本時18／28時）

(1) ねらい

- ・外部講師との対話を通して、自身や家族の食生活について考えている。

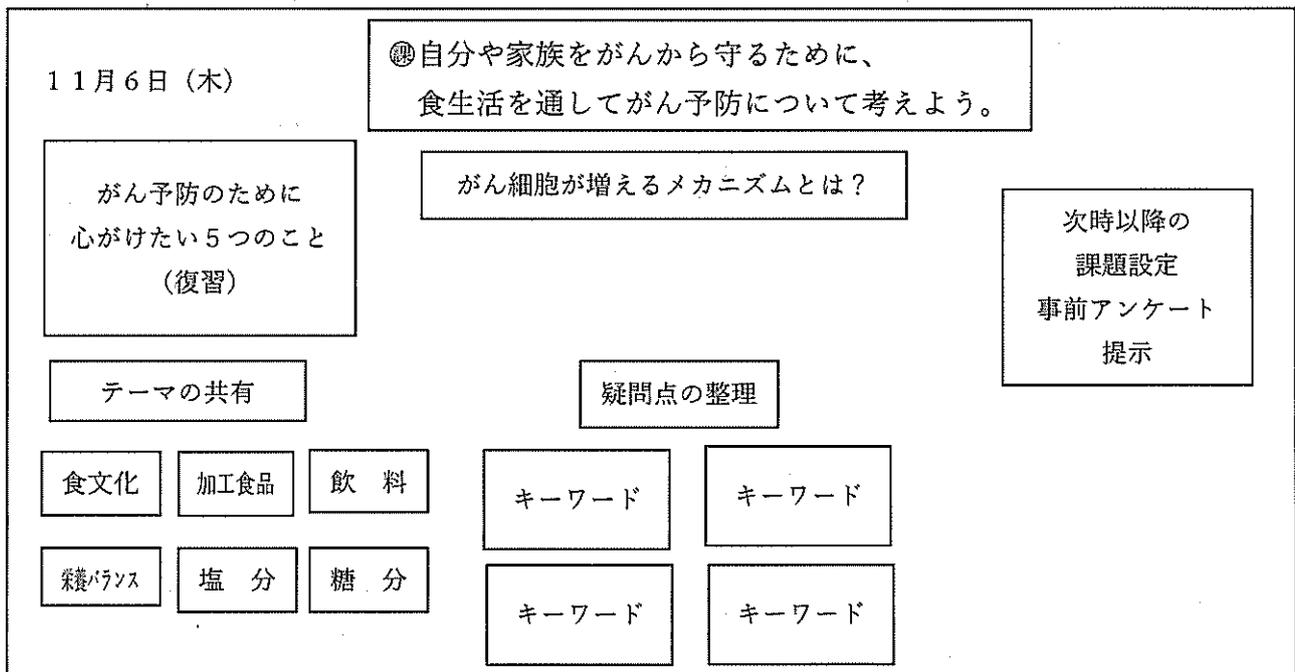
【思考・判断・表現】

(2) 展開

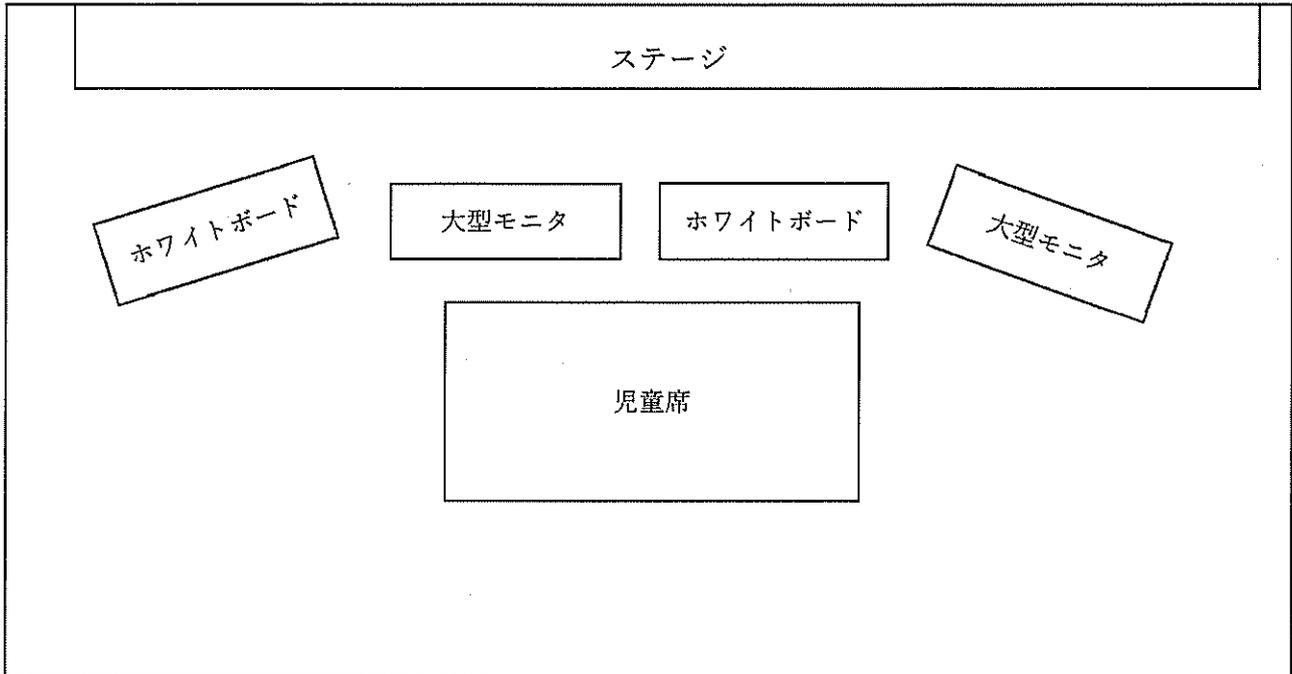
時間	学習内容・活動	指導上の留意点（指導○ 評価☆）	資料等
導入 5分	<p>1 前時の学習の振り返り</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・今までの学習の振り返りを行って、本時と結び付ける。</li> </ul>  <p>2 本時のねらい</p>	<p>○前時に既習した「がん予防のために心がけたい5つのこと」をキーワードで掲示し、健康な生活習慣についての意識を高めさせる。(T2)</p>	大型モニタ 掲示資料
<p>②自分や家族を守るために、食生活を通してがん予防について考えよう。</p>			
展開 37分	<p>3 情報の共有</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・異なったテーマの情報を全員で共有する。 (食文化・加工食品・栄養バランス・飲料塩分・糖分)</li> </ul> <p>4 外部講師と疑問点の整理</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・外部講師が塩分と糖分について具体例に挙げ、「がんと食生活」の関連性について全体に説明する。</li> </ul>  <ul style="list-style-type: none"> <li>・外部講師の説明を受けて、塩分や糖分がなぜがん細胞が増えるメカニズムに関連するのか疑問点を整理する。</li> </ul> <p>5 思考の整理</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・外部講師の説明や対話を通して、日々の自分や家族の生活に置き換え、疑問点やさらに調べてみたいことを入力する。</li> <li>・「がん予防のために心がけたい5つのこと」をがん細胞が増えるメカニズムに意味づけして、自分事として考える。</li> </ul> 	<p>○前時で調べた「がんと食生活」に関連する情報を何人かに発表させる。(T1)</p> <p>○がん細胞が増えるメカニズムについておさえる。 ・DNAが傷つく。 ・免疫力が低下する。</p> <p>○外部講師の話を板書で整理する。(T1)</p> <p>○外部講師の話から新たに疑問に感じたことを引き出し、外部講師との対話につなげる。(T1・T2)</p> <p>○日々の自分や家族の生活に置き換えて考えられるようにする。</p> <p>○板書を活用して自分の考えや新たな疑問点を入力できるように促す。(T1・T2)</p> <p>☆外部講師との対話を通して、自身や家族の食生活について考えている。 【思考・判断・表現】 〈発言・ICT端末（スクールタクト）〉</p>	<p>大型モニタ ICT 端末</p> <p>ICT 端末</p> <p>短冊</p>

	<p>6 全体共有</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・入力したことを共有する。</li> </ul> <p>7 新たな課題をつかむ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事前アンケートの健康面の課題を提示し、食生活以外の課題についても紹介する。</li> </ul>	<p>○意図的に指名し、発表することで、学びを共有するようにする。(T1・T2)</p> <p>○食生活以外の課題についても、新たな視点や疑問をもたせる。(T1)</p>	<p>ICT 端末</p> <p>アンケート</p>
<p>終 末 3 分</p>	<p>8 本時の振り返り</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本時で学んだことを確認する。</li> </ul> 	<p>○食生活によってDNAを傷つけたり、免疫力が落ちてしまったりすることをおさえる。(T1)</p>	<p>ICT 端末 短冊</p>

(3) 板書計画



(4) 場の設定



(5) 資料

ロングロングライフデザイン

～食生活～

がん予防のために心がけたい5つのこと

- たばこを吸わない
- からだを動かす
- お酒をひかえる
- ちようど正しい食生活を続ける
- 食生活を見直す

**事前アンケート：家庭で気をつけていること**

1. 家族の食生活について、気をつけていることはありますか？

2. 家族の食生活について、気をつけていないことはありますか？

3. 家族の食生活について、気をつけていることと、気をつけていないことの理由を教えてください。

4. その他、気をつけていること、気をつけていないこと、理由を教えてください。

5. その他、気をつけていること、気をつけていないこと、理由を教えてください。

6. その他、気をつけていること、気をつけていないこと、理由を教えてください。

7. その他、気をつけていること、気をつけていないこと、理由を教えてください。

8. その他、気をつけていること、気をつけていないこと、理由を教えてください。

9. その他、気をつけていること、気をつけていないこと、理由を教えてください。

10. その他、気をつけていること、気をつけていないこと、理由を教えてください。

**事前アンケート：家庭の課題**

1. 家族の食生活について、気をつけていることはありますか？

2. 家族の食生活について、気をつけていないことはありますか？

3. 家族の食生活について、気をつけていることと、気をつけていないことの理由を教えてください。

4. その他、気をつけていること、気をつけていないこと、理由を教えてください。

5. その他、気をつけていること、気をつけていないこと、理由を教えてください。

6. その他、気をつけていること、気をつけていないこと、理由を教えてください。

7. その他、気をつけていること、気をつけていないこと、理由を教えてください。

8. その他、気をつけていること、気をつけていないこと、理由を教えてください。

9. その他、気をつけていること、気をつけていないこと、理由を教えてください。

10. その他、気をつけていること、気をつけていないこと、理由を教えてください。

**課題解決のテーマ**

(ここに入力できます)

テーマを選んだ理由

～家庭の様子や現状～

(ここに入力できます)

**課題解決のテーマ**

(ここに入力できます)

家族共通の課題を聞いて

分かったこと・疑問点・さらに聞きたいこと

(ここに入力できます)

**家族にプレゼン**

箇条書き・絵・図表用

**家族にプレゼン**

げんこう用

(ここに入力できます)

(6) 児童の感想 (一部抜粋)

課題解決のテーマ  
**加工食品**

理科先生の話を聞いて  
分かったこと・疑問点・さらに調べたいこと

DNAは、親からの遺伝でそれが傷つき免疫力が低下していると痛になってしまう可能性が高くなってしまふ事がわかった。砂糖や塩を取りすぎると痛になってしまうかもしれないけど癌になりやすい調味料や食品は、他にあるのか。

課題解決のテーマ  
**糖分**

理科先生の話を聞いて  
分かったこと・疑問点・さらに調べたいこと

がんは、遺伝子が傷つくのと免疫力が下がるとがんになりやすいとわかりました。糖分を取りすぎると肥満になり、高血圧で糖尿病になってそこから免疫力の低下につながって、がんになりやすくなると思いました。糖分は1日どれくらい取っていいのかなと思いました。

課題解決のテーマ  
**塩分**

理科先生の話を聞いて  
分かったこと・疑問点・さらに調べたいこと

塩分というテーマで調べていて、塩分の取りすぎでがんになるリスクが上がると思っていたけど、実際は加工食品に含まれている化学物質によってがんになるリスクが上がっているのがわかった。また、砂糖を摂取すると体に悪いのは糖質をたくさん摂取すると肥満になり、免疫が下がりがんになりやすくなるからだとわかった。自分も少し睡眠不足な気がするから食文化と生活習慣の関係も調べたい

課題解決のテーマ  
**塩分**

理科先生の話を聞いて  
分かったこと・疑問点・さらに調べたいこと

今日、僕先生の話を聞いて塩分は、免疫力に関連しているけれど塩分は、遺伝子に傷を与える事に関連している事や加工食品は、通常の量を食べている人より沢山食べている人の方ががんになる可能性(確率)が高くなるという事、食べ過ぎ水も飲み過ぎでも免疫力が低下してがんになる可能性(確率)が高くなるという事が分かった。これからは、五大栄養素を適度に摂取して身長に合った体格を維持したいと思った。

課題解決のテーマ  
**食文化**

理科先生の話を聞いて  
分かったこと・疑問点・さらに調べたいこと

がんになる理由が遺伝子が傷つくことだったり免疫力の低下だったりして驚きました。食文化で免疫力を高めるものや塩分、糖分がちょうどよく入っている料理を調べたいです。

課題解決のテーマ  
**糖分**

理科先生の話を聞いて  
分かったこと・疑問点・さらに調べたいこと

今日わかったことは、糖分を積極的に取りすぎると血糖値が上がって糖尿病になり、免疫力が落ちてしまうことや、人の細胞は約100種類あってびっくりしました。細胞の核の中に染色体がありその中にもDNAという一部に遺伝子があり今の自分があって人の体はすごいなと思いました。つまり、遺伝子に傷つけばとんとは出られればと一部出されないのであって、がん細胞になってしまうので、わたしはあまり糖や塩にすぎないようにしたいと思いました。疑問点は、鳥や肉の皮はがんの原因になるか疑問に思いました。更に調べたいことは、細胞の核や染色体、DNAを詳しく知ってみたいので調べてみたいです。

課題解決のテーマ  
**栄養バランス**

理科先生の話を聞いて  
分かったこと・疑問点・さらに調べたいこと

加工食品に含まれている化学物質のせいで遺伝子に傷をつけることが、がんになる元ということが分かった。糖分を取りすぎると肥満体型になり、免疫力が低下しがんになる可能性が高くなる。

9 事後の指導

主な活動	○指導上の留意点	☆評価の観点
<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習したことを、生活科・総合的な学習の時間発表会で、他の学年に伝える。</li> <li>・学習したことをまとめ、家族にプレゼンテーションを行い、家族でできることを提案し、実行する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○低学年にも分かりやすく伝えるために、どのような手立てがあるか考えることができるようにする。</li> <li>○家族にプレゼンテーションを聞いていただく・提案を一緒に行っていただく時間を設けてもらえるよう、学校メール配信システムで知らせる。</li> </ul>	<p>☆健康的な食生活や日常生活について考えたことを、家族に伝え、家族で一緒に取り組める提案を考えている。 (思考・判断・表現) 【ICT 端末】</p>

## 令和7年度がん教育授業研究会（上尾市立尾山台小学校）アンケート結果

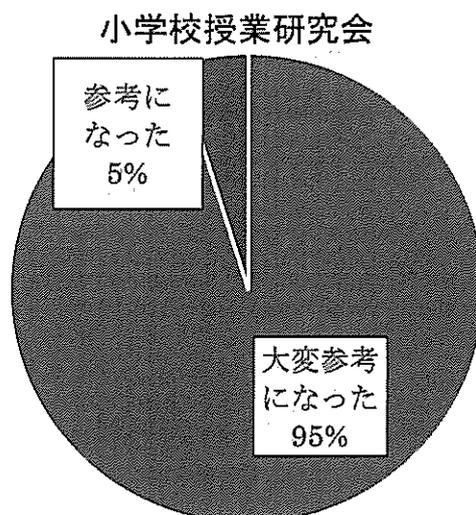
参加者総数66名（一般51、来賓・役員等15）

【本日の授業研究会の内容について】 アンケート提出者41名

大変参考になった	参考になった	あまり参考にならなかった	参考にならなかった
39	2	0	0

※一般参加者51名の内訳

教頭1、教諭11、養護教諭17、指導主事1、外部講師関係5、学生16



### ○授業研究会の内容について ※一部抜粋

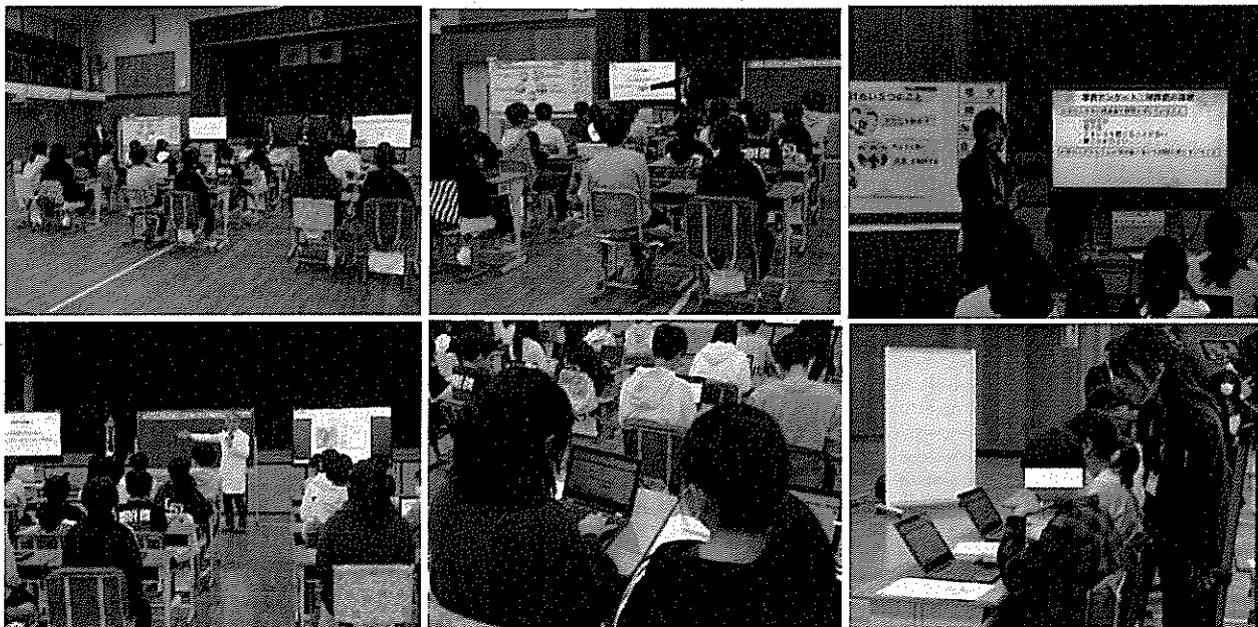
- ・外部講師との対話から子ども達の学びが深まった授業だった。総合的な学習の時間として、がん教育を行うことで、他教科との連携をしながら進めていけることがわかった。ありがとうございました。（小学校・教諭）
- ・養護教諭、外部講師を活用した授業はとても意味があるものだと思います。（小学校・教諭）
- ・本校ではどうできるかなと考えながら学ぶことができました。知りたいことはたくさんありますので、ぜひ教えていただきたいと思います。（小学校・養護教諭）
- ・専門的な知識を知り、さらに疑問をもつことができる素晴らしい授業でした。（小学校・教諭）
- ・総合的な学習の時間として、自分の将来について考えることができる、魅力的な学習内容だと思います。（小学校・教諭）
- ・今日の授業に至るまでのお話や、子供たちやその家族への呼びかけなど、外部講師の活用方法について大変参考になった。（小学校・教諭）
- ・外部講師の方が子供達とあたたかい関係を作りながら、分かりやすい説明をしていることに驚きました。（小学校・教諭）

- ・子供たちがしっかりと調べ学習ができていてすばらしかったです。本時でさらに調べたいことが見つけられて、今後の学びが深まっていくのではないかと感じました。（小学校・教諭）
- ・綿密に練られた計画のもとの貴重な授業をみれたこと、グループ協議で実際の各校の取組や取り組むための配慮事項について具体的に意見交換や情報共有できたこと、指導主事や専門家からの指導講評をきけたこと。（小学校・養護教諭）
- ・外部講師と連携して、子どもに興味を持たせる、講演形式ではなく、授業形式で行っていたのが新鮮でした。（小学校・養護教諭）
- ・本時の授業における児童の ICT の活用や外部講師との関わり、そして、教科横断的な教育活動全体を通じたがん教育の推進について、細かく指導案に記載されていたことが特に参考になりました。（小学校・養護教諭）
- ・がん教育を総合的な学習の時間で扱うこと、外部講師を活用することの効果やメリット（時間の確保、他教科との関連、分かりやすい説明、保護者の協力等）を知ることができた。（小学校・養護教諭）
- ・授業の展開方法や T.T の役割、外部講師との連携について学ばせていただきました。また、子どもたちの「なぜ？」に寄り添った授業であり、隣の子同士や外部講師との対話する場面もみられ、主体的・対話的で深い学びであったと感じました。（小学校・養護教諭）
- ・がん教育について「総合的な学習の時間」で扱い、様々な外部講師が関わることで児童の興味関心に沿った展開がなされていた。食生活という身近な事柄とがんとの関連性について児童がよく調べて学んでいた。また、家庭科や道徳など他教科でもがん教育との関連性を意識し指導がなされていた点が参考になった。小学校でがん教育を普及させるために、今後も既存の授業時間を活用した取り組み例が示されるとよいと思う。（小学校・養護教諭）
- ・対話形式の授業展開が良かったです。発表が苦手な子も隣の人と相談で、何かしら発言できるのは良いと思いました。（中学校・養護教諭）
- ・がん教育という、どんな視点で行うのが良いか疑問であったが、今回授業を見せていただき、外部講師とどのように授業を進めていくのが良いかわかった。（市町村委員会・指導主事）
- ・外部講師を招き専門性を取り入れながらも、担任や養護教諭の生徒へのフォローがあり、生徒の反応を生かした授業だった。（大学生）
- ・がんを扱う授業を考えた時、がんを予防するという方に重きを置きメカニズム等の専門的知識を扱うことに抵抗があったが、今回のように全てを理解できなくても専門的知識という土台をつけてから予防するためのことを考えていくことが新たな発見であった。（大学生）
- ・外部講師を招いただけでなく、養護教諭が TT として入る授業の展開や各先生方の動き等が見れた。（大学生）
- ・がん教育担当教員 2 名及び外部講師との連携がとても円滑に行えていたので、生徒にとっても有意義な時間であったと思います。（外部講師関係者）

【がん教育についての提案、意見、感想等】 ※一部抜粋

- ・がん教育をどの教科で行うかはどの学校でも課題になっているのかなと思います。今回の授業では総合の時間で実施していたので、本校でも参考にしていきたいと思います。（小学校・養護教諭）
- ・今までがん教育を丁寧に教えたことがなかったので、大変勉強になりました。外部講師の専門性を活かした授業を養護教諭と協力しながら進めていきたいです。（小学校・教諭）
- ・授業時数や予算の関係でやらないのではなく、どうすれば自校に合ったがん教育や健康教育ができるか考えていきたいです。また自校の中で仲間をみつけ一緒に推進できたらいいなと感じました。運営の皆様のおかげで、貴重な学びとなりました。ありがとうございました。（小学校・養護教諭）
- ・今回の儀賀先生のお話が、デジタルコンテンツとして各学校で使用できるとありがたい。（小学校・校長）
- ・取り扱いが難しいところもありますが、今後必要となってくる題材だと思います。（小学校・養護教諭）
- ・がん教育を進めるにあたり、保護者や教職員との共通理解の図り方や、児童生徒への配慮など（連絡文書例、個別の対応例等）が詳しく共有されると、外部講師を活用したがん教育の推進がより一層活発になるのではないかと思います。ですが、冊子の活用や外部講師の紹介・資金支援等、現段階におきましても、いろいろな取組を進めてくださり、ありがとうございます。（小学校・養護教諭）
- ・これからも外部講師を活用したがん教育の授業がさらに充実発展していくことを願っております。また、大学や短期大学でもがん教育の推進が不可欠であると思っております。がん教育外部講師として少しでもお役に立てればと思っております。（外部講師関係者）

### 【授業の様子】



### 【全体会・研究協議の様子】



## 令和7年度埼玉県「がん教育」授業研究会(中学校)開催要項

### 1 趣 旨

日本人の死亡原因として最も多いがんについて、がんそのものの理解やがん患者に対する正しい認識を深める教育は不十分であり課題であると指摘されている。

この課題解決のためには、児童生徒が学校教育を通じてがんについて学ぶことにより、健康に対する関心をもち、正しく理解し、適切な態度や行動をとることができるように指導することが必要である。

そこで、学校におけるがん教育の充実を図るため、発達の段階に応じた適切な指導が実施されるよう、授業研究会を開催し、研究協議を行う。

2 主 催 埼玉県教育委員会

3 期 日 令和7年11月12日(水)

4 会 場 越谷市立武蔵野中学校

住 所：越谷市大間野町4-357

電 話：048-987-9651



学校 HP 二次元コード

5 参加対象者 (1) 公立中学校、義務教育学校、特別支援学校(中学部設置)の教職員(保健体育科教諭、養護教諭、保健主事等)、及び市町村教育委員会の指導主事等

※越谷市の中学校については、各校1名ご参加ください。

(2) 越谷市立小学校の教職員(教諭、養護教諭、保健主事等)

(3) 埼玉県がん教育外部講師関係者

### 6 日 程

- |          |                 |         |
|----------|-----------------|---------|
| (1) 受付   | 午後1時10分～        | ( 体育館 ) |
| (2) 公開授業 | 午後1時35分～午後2時25分 | ( 体育館 ) |
| (3) 全体会  | 午後2時40分～午後3時00分 | ( 体育館 ) |
| (4) 研究協議 | 午後3時00分～午後4時20分 | ( 体育館 ) |

### 7 公開授業

学級	授業者	単元名
2年2組	鈴木 美紀 教諭 田邊 伸二 教諭	保健体育(保健分野) 「(1) 健康な生活と疾病の予防」 (ウ) 生活習慣病などの予防
学習課題	「がん患者と共に生きる社会の実現のために何ができるか」	

8 指導者及び役員（埼玉県がん教育推進連絡協議会）

埼玉県教育局県立学校部保健体育課	教育指導幹	佐藤 泰弘
埼玉県教育局県立学校部保健体育課	主 幹	西川 俊成
埼玉県教育局県立学校部保健体育課	指導主事	佐野 秀行
埼玉県教育局県立学校部保健体育課	指導主事	山田 朗
埼玉県教育局東部教育事務所	指導主事	赤城 雅史
越谷市教育委員会学校教育部指導課	主任指導主事	三浦 大介
埼玉大学教育学部	准教授	七木田文彦
埼玉医科大学総合医療センター	教授	儀賀 理暁
獨協医科大学埼玉医療センター	副部長	多田 幸子
白岡市立南中学校	校長	大山美智子
春日部市立東中学校	教諭	松橋 和寛
蕨市立東中学校	養護教諭	川嶋 紅音
県立三郷高等学校	教諭	佐々木智子
県立浦和西高等学校	教諭	瀬野 育美

9 参加について

- ・上履きと下足入れを持参してください。
- ・お車でお越しの際は、敷地内のグラウンドに駐車してください。
- ・会場校に来校する際には、以下の周辺図を参照してください。

## 越谷市立武蔵野中学校への御案内

※地図は省略しています。

路線バスをご利用の場合は、新越谷駅西口より朝日バス（「七左4丁目」下車徒歩15分）をご利用ください。

令和7年11月12日(水) 第5校時

場 所 越谷市立武蔵野中学校 体育館

第2学年2組 36名

指導者 教諭 鈴木 美紀 (T1)

教諭 田邊 伸二 (T2)

1 単元名 (1) 健康な生活と疾病の予防 (ウ) 生活習慣病などの予防

2 単元について

がんは、日本人の死因第1位であり、生涯のうち2人に1人が罹患する病気であると言われている。現代は「がんと共に生きる時代」とも呼ばれるほど、がんは身近な病気となっている。そのため、がんに対する正しい知識を身に付けることは、自分と周りの人の人生を豊かにするうえで必要なことである。

本単元においては、健康な生活と疾病の予防に関する課題を発見し、その解決に向けて思考・判断するとともに、それらを表現することができる力を身に付けさせたい。さらに、自他の健康に関心を持ち、現在だけでなく生涯を通じて健康の保持増進や回復に自主的に取り組む態度を育成したい。また、様々な要因で引き起こされるがんと向き合い、自分や周りの人ががんに罹患したときにどのような行動がとれるかについて、対話的な学習を通して見方・考え方を深め、明るく豊かな生活を営む態度を養うことを目指す。

3 生徒の実態

(1) 知識及び技能

小学校では、健康の大切さや健康によい生活、病気の起こり方や予防について学習をしてきている。事前アンケート(次項参照)の結果から、がんは身近で怖い病気であり、罹患すると日常生活が困難になるというイメージを持っている生徒が多い。しかし、がんの予防や原因について、曖昧な認識の生徒も多く、がんについて正しく理解することが必要である。

(2) 思考力、判断力、表現力

自己の課題を見つけ、文章や言葉で表現することが得意な生徒と、そうではない生徒がいる。しかし、対話的な活動では、授業の流れや取り組み方を理解することで、多くの生徒が表現力豊かに、活発に発言をすることができる。また、仲間とコミュニケーションをとることで考えをまとめ、意見を述べることもできる。がんについては、身近な人と話す機会があまりなく、得た知識や技能を使う機会が少ないが、学びを深めていくことで、活発な話し合いができると考えられる。

(3) 学びに向かう力、人間性等

穏やかな生徒が多く、与えられた課題に対して粘り強く取り組むことができる。事前のアンケートで「がんについて学ぶことで、命の大切さを考えることができる」と答えた生徒が多く、よりよい人生を送るために意欲的に学習に取り組むことができると考えられる。

【事前アンケート結果】令和7年6・8月実施 対象：第2学年91名

	質問	そう思う	どちらか という そう思う	どちらか という 思わない	そう思わ ない
1	がんは身近な病気だと思う	68	17	3	3
2	がんは怖い病気だと思う	85	6	0	0
3	がんは遺伝的な病気で予防できないと思う	15	25	36	15
4	がんは誰もがかかる病気であると思う	54	21	9	7
5	家族や身近な人と、がんについて話し合おうと思う	19	34	25	13
6	がんの学習は、健康的な生活に役立つと思う	67	21	2	1
7	がんについて学ぶことで、命の大切さを考えることができると思う	69	18	4	0
8	がん検診を受けられる年齢になったら、検診を受けようと思う	40	34	14	3
9	自分はがんにならないと思う	7	21	30	33
10	体調が悪くなったら、病院を受診すると良いと思う	64	22	5	0
11	がんになると日常生活が困難になると思う	74	16	1	0
12	がん患者が過ごしやすい世の中になりたいと思う	53	35	2	1
13	がん患者が過ごしやすい世の中にするためには、医療従事者にかかっていると思う	32	36	20	3
14	がん患者が過ごしやすい世の中にするために、自分にもできることがあると思う	38	36	14	3
15	がん患者が過ごしやすい世の中にするための方法を理解し、実践できる力が自分にはあると思う	14	36	31	10
16	がん患者や、経験者の話を聞いたことがある	ある 28	ない 63		

	質問	正しいと 思う	誤りだと 思う
1	タバコを吸ったり、過度な飲酒をしたりするとがんになりやすい	89	2
2	性的接触により、がんになることがある	47	44
3	注射器の使い回しにより、がんになることがある	72	19
4	がん患者と手を繋いだり、ハグをしたりすることで、がんになることがある	5	86
5	がんは大きくなるまで自覚症状がない	64	27
6	各がんのがん検診率は8.5%である	58	33

## 授業前がんに対するイメージ

- ・怖い ・死ぬ ・いろいろな種類がある ・あぶない ・年配者多い
- ・がんになったら治りにくい ・ほとんど治らない ・ご飯が食べられなくなる
- ・タバコが原因 ・悪化すると命に関わる病気 ・一度かかったら終わりの病気
- ・治すのに多額のお金がかかる ・予測できない怖い病気

## 4 教師の指導観

### (1) 知識及び技能

「がんについて学ぶことで、命の大切さを考えることができる」や「がん患者が過ごしやすい世の中にしたい」という思いを持っている反面、自分ができることについて具体的な考えを持って行動することに不安がある生徒もいるため、がんに対する正しい知識を持ち、がん患者と共に生きる社会を構築できる力を身に付けられるようにする。

### (2) 思考力、判断力、表現力

適切な生活習慣とはどのような生活であるかを選択し、改善策や発生要因を仲間同士で調べ、伝え合うことができるよう、知識構成型ジグソー法などを用いた協調学習により「がん患者と共に生きる社会」について見方・考え方を深められるようにする。また、事例を用いた活動を通して、学んだことをこれからの実生活に生かし、身近な人へ伝えられるよう指導を展開していく。

### (3) 学びに向かう力、人間性等

「いのちの学習」において、がん経験者の話を聞き、自他の命の大切さや尊さを改めて考えられるようにし、がん患者の事例について扱うことで、本単元の学習に主体的に取り組む姿勢を育み、自分事と捉えて行動できるようにする。

## 5 単元の目標

- (1) 健康な生活と疾病の予防について理解できるようにする。 〈知識及び技能〉
- (2) 健康の成り立ちと疾病の発生要因や、生活習慣と健康について課題を発見し、その解決に向けて、思考し判断するとともにそれを伝え合うことができるようにする。  
〈思考力、判断力、表現力等〉
- (3) 健康な生活と疾病の予防に関心を持ち、健康の保持増進についての学習に自主的に取り組もうとすることができるようにする。 〈学びに向かう力、人間性等〉

6 単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<p>①生活習慣病は、日常の生活習慣が要因で起こる疾病であり、適切な対策を講ずることで予防できることを理解し、そのことについて言ったり書いたりしている。</p> <p>②がんは、異常な細胞であるがん細胞が増殖する疾病であり、その要因には不適切な生活習慣をはじめ様々なものがあることを理解できる。また、がんの予防には、生活習慣病の予防と同様に、適切な生活習慣を身に付けることなどが有効であることを理解し、言ったり書いたりしている。</p>	<p>①生活習慣病及びがんの予防について収集した情報を整理したり、習得した知識を自他の生活と比較したり、活用したりして、健康の保持増進をする方法を選択している。</p> <p>②がん患者の事例について、習得した知識を活用し、考えたことを記述したり、伝え合ったりしている。</p>	<p>①心身ともに健康な生活と疾病の予防に関心を持ち、健康の保持増進についての学習に意欲的に取り組もうとしている。</p>

7 単元の指導と評価の計画（全3時間） 本時は○印

時	学習のねらい・学習活動	知	思	態	評価方法
1 生活習慣病とその予防	<p>I ねらい</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>生活習慣病は、日常の生活習慣が要因となって起こる疾病であり、適切な対策を講ずることにより予防できることや、不適切な生活行動を若い年代から続けることによって、様々な生活習慣病のリスクが高まることについて理解し、健康を保持増進する方法を選択し、学習カードに記述したり伝え合ったりしている。</li> </ul> <p>II 学習内容</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>適切な生活習慣を身に付けることが、生活習慣病の予防に有効であることの概要を理解する。</li> <li>食事、睡眠、運動への取り組み方をどうすることが適切な生活習慣なのかを考え、まとめたことを発表する。</li> </ol> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>主たる学習内容（知識）</p> <p>生活習慣病は、日常の生活習慣が要因で起こる疾病であり、その予防には適度な運動を定期的に行うこと、食事の量や頻度、栄養バランスを整えること、喫煙や過度な飲酒をしないことなどの適切な対策を講ずることを理解する。</p> </div> <ol style="list-style-type: none"> <li>本時の学習を振り返り、学習カードにまとめる。</li> </ol>	①		①	<p>観察・学習カード</p> <p>学習カード</p>

<p>2 がんの発生要因とその予防</p>	<p>I ねらい</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・がんは、異常な細胞であるがん細胞が増殖する疾病であり、その要因には不適切な生活習慣をはじめ様々なものがあることを理解できるようにし、その予防には、生活習慣病の予防と同様に、適切な生活習慣を身に付けることなどが有効であることについて理解できるようにする。</li> </ul> <p>II 学習内容</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 がんの発生要因とその種類、健康や生命への悪影響、治療法やがんの現状についての概要を理解する。</li> <li>2 4つのグループに分かれ、知識構成型ジグソー法を用いた協調学習を行い、学んだ発生要因について、発表する。</li> <li>(1) 喫煙 (2) 飲酒 (3) 食生活 (4) 運動不足</li> <li>3 早期発見・検診の大切さを理解する。</li> </ol> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>主たる学習内容 (知識)</p> <p>がんは、異常な細胞であるがん細胞が増殖する疾病であり、その要因には不適切な生活習慣をはじめ様々なものがあることを理解できるようにし、その予防には、生活習慣病の予防と同様に、適切な生活習慣を身に付けることなどが有効であること。</p> </div> <ol style="list-style-type: none"> <li>4 本時の学習を振り返り、学習カードにまとめる。</li> </ol>	<p>②</p>	<p>①</p>		<p>観察・学習カード</p> <p>観察・学習カード</p>
<p>3 がん患者への理解と共生</p>	<p>I ねらい</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・がん患者の事例について、習得した知識を活用し、自他の生活と結び付けて考えたことを記述したり、伝え合ったりできるようにする。</li> </ul> <p>II 学習活動</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 生活習慣病とがんの発生要因について、がんの予防や早期発見・検診について、前時までの学習内容を確認する。</li> <li>2 身近な人ががんに罹患したらどのような行動ができるかを考え、発表する。</li> </ol> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>主たる学習内容 (思考・判断・表現)</p> <p>身近な人ががんになった場合に、どのようなかわり方や行動ができるかを考え、できることをまとめたり筋道を立てて伝え合ったりする。</p> </div> <ol style="list-style-type: none"> <li>3 本時の学習を振り返り、学習カードにまとめる。</li> </ol>	<p>②</p>			<p>観察・学習カード</p>

8 本時の学習と指導 (3 / 3)

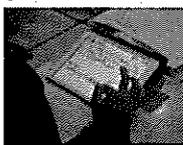
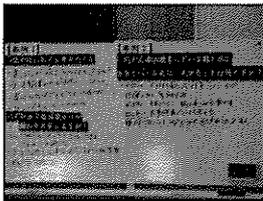
(1) ねらい

がん患者の事例について、習得した知識を活用し、自他の生活と結び付けて考えたことを記述したり、伝え合ったりできるようにする。 (思考力、判断力、表現力等)

(2) 準備 ホワイトボード、モニター、タブレット端末

(3) 展開

時間	学習内容・活動	指導上の留意点 (○指導 ◆評価規準)
導入 5分	<p>1 前時までの学習内容についてのクイズを行う。</p> <p>2 がん患者が抱える思いを振り返る。</p> 	<p>○これまでの既習事項をクイズにして生徒に発問しながら既習内容を確認する。【T1】</p> <p>○「くまがやピンクリボンの会」の方の話振り返り、改めてがん患者の思いに触れることで、本時の学習内容への関心を高められるようにする。【T1】</p>
展開 35分	<p>3 本時の課題を確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;"> <p>【学習課題】これまで学んだことを活かして、がん患者と共に生きていくために大切なことは何かを考えよう。</p> </div>	<p>○様々ながんの種類や、患者の背景があることに触れ、2つの事例についてこれまでの学習を活かして考えられるようにする。【T2】</p>
	<p>4 2つの事例について、学んだことを活かしてがん患者と生きていくために大切なことを考えて発表する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;"> <p>【事例1】 Aさんの事例 友人に自分が大腸がんになったことを伝えたとき、「生活習慣が悪いからがんになったんだ」と、あっけらかんと言われました。 わたしは共働きで、妻と交代で食事を作っていますが、常にバランスの良い食事を心がけていたつもりですし、妻も責められているような気持ちになり、悲しくなりました。がんに対する誤解や決めつけがなくなればと思います。</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;"> <p>【発問1】 この事例1で気が付いたこと、考えたことを書き出してみよう。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・タブレット端末を使用し、ロイロノートに考えたことをまとめる。</li> <li>(予想される反応)</li> <li>・生活習慣が悪いからがんになるわけではない。遺伝性や、原因不明のがんもある。</li> </ul>	<p>○がん患者の気持ちに寄り添うことの大切さと、自分の気持ちも大切にすることを説明する。【T2】</p>  <p>○考えをまとめられるよう、巡回し助言をする。【T1・T2】</p> <p>○発表で出た考えをホワイトボードに板書する。【T1】</p>

	<p>・もっと親身になって、相手の気持ちに寄り添って話を聞いてあげるといいと思う。など</p> <p><b>【発問2】(グループワーク)</b></p> <p>・Aさんの友人だったら、あなたはどのような言葉かけや関わり方をすることができますか？</p> <p>・タブレット端末を使用し、ロイロノートに考えたことをまとめる。        &lt;予想される反応&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・一緒に出かけたときなど、体調の変化に気が付けるようにする。</li> <li>・困っていることや悩んでいることがあれば、話を聞く。</li> <li>・手術をしている場合は、トイレ等に配慮できるようにする。など</li> </ul> <p><b>【事例2】</b></p> <p>私の親は、数か月前から具合が悪そうでした。ある日、大事な話があると言われ、がんに罹患し、抗がん剤治療をしていることを打ち明けてくれました。私の親は、ここ数ヶ月打ち明けることをすごく悩んでいたのだと思います。</p> <p><b>【発問3】(グループワーク)</b></p> <p>がんに罹患し、抗がん剤治療をしている親と共に生きていくために、大切なことは何ですか？</p> <p>・タブレット端末を使用し、ロイロノートに考えたことをまとめる。        &lt;予想される反応&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分自身が自立をして、親にかかる負担を減らす。</li> <li>・あえて、いつも通りに接する。</li> <li>・がんの種類や通院、治療についてもしっかり話を聞く。</li> <li>・この先、どうするのかを色々話す。</li> <li>・食事や入浴の時間など、些細なことにも気を配る。</li> </ul>	<p>○話し合い活動が活発になるよう、巡回し助言をする。【T1・T2】</p> <p>○発表時間を設定し、グループで話し合ったことのみでなく、他のグループの考えを聞いて考え方を深められるようにする。</p> <p>◆ がん患者の事例について、習得した知識を活用し、自他の生活と結び付けて考えたことを記述したり、伝え合ったりしている。(観察・学習カード)【思・判・表】</p> <p>△「努力を要する」状況(C)と判断される生徒の支援手立て</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・正しい知識をもとに、事例について考えられるよう、既習内容を確認する。</li> </ul> <p>◎「十分満足できる」状況(A)と判断される生徒の具体的な姿</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・正しい知識をもとに、自他の生活と結び付けて考えたり、伝え合ったりしている。</li> </ul>
<p>まとめ</p> <p>10分</p>	<p>5 本時の振り返りをする。</p> <p>・タブレットを使用して、本時の振り返りをロイロノートに記入して提出する。</p> 	<p>○がんについて学ぶことや、がんと向き合う人と触れ合うことを通じて、自他の健康と命の大切さに気づき、自己の生き方や在り方を考えられるようにする。【T1】</p>  

<p>6 本時の学習のまとめをする。</p>	
<p>がん患者と共生していくには、がんに対する正しい知識をもとに、相手の気持ちに寄り添ったり、生き方を尊重したりする気持ちを持って、接することが大切である。</p>	
	<p>○事後学習についての説明をする。【T1】</p>

9 資料等

●外部講師の活用

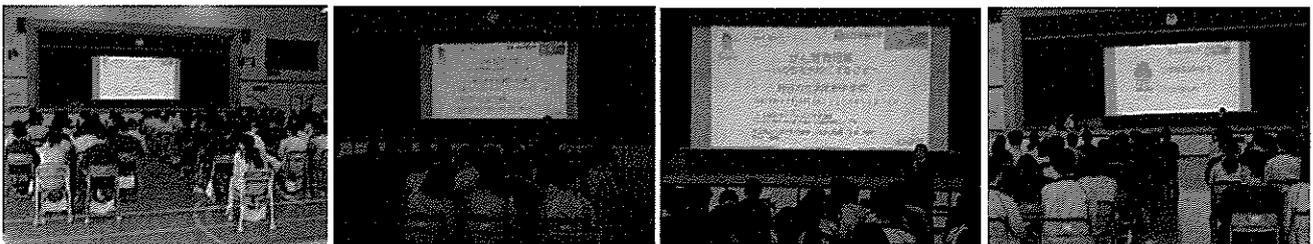
【事前学習】総合的な学習の時間

- (1) 日時 令和7年9月4日(木)
- (2) 対象 第2学年生徒、保護者、本校教職員
- (3) 講師 くまがやピンクリボンの会 栗原和江 様 ・ 佐高友恵 様  
小川知里 様 ・ 松尾菜々海 様
- (4) 内容 「生命(いのち)の授業」～サバイバーが話すがん教育～
  - ・ピンクリボンについて
  - ・がんについて
  - ・乳がんの体感モデル「イブ」による硬さや大きさに触れる体験
  - ・サバイバー差別について
  - ・キャンサーギフトについて
  - ・がん体験談(2名)
  - ・保護者向けプチ乳がんセミナー&触診モデル体験



【事後学習】総合的な学習の時間(予定)

- (1) 日時 令和7年12月4日(木)
- (2) 対象 第2学年生徒、保護者、本校教職員
- (3) 講師 川口短期大学 こども学科専任講師 西内俊朗 氏
- (4) 内容 がん患者との付き合い方について
  - ・がん経験者の体験談
  - ・治療法や治療中の生活について
  - ・がん患者への接し方について
  - ・質疑応答



●板書計画

<b>【学習課題】</b> これまで学んだことを活かして、がん患者と共に生きていくために大切なことは何かを考えよう。	
がんについて 前時までの復習クイズ	くまがやピンクリボンの会講 サバイバー差別 がんギフト

事例1 【発問1の反応】  【発問2の反応】	事例2 【発問3の反応】  まとめ
---------------------------------	----------------------------

●学習カード

**事例1**  
○事例1で気が付いたこと、考えたこと

○Aさんの友人だったら、あなたはどのような言葉かけや関わり方をすることができますか？

**事例2**  
○がんに罹患し、抗がん剤治療をしている親と共に生きていくために、大切なことは何ですか？

●生徒の記載内容

事例1  
 ○気が付いたこと、考えたこと  
 がんは生活習慣だけになってしまうものではないからすぐに決めつけられて酷いと思う

○どのような言葉かけや関わり方をしますか？  
 治ってからの楽しみをつくる  
 今まで通りに接する  
 話を聞く  
 気持ちを尊重する  
 楽しい雰囲気になる会話を振る

事例2  
 ○気が付いたこと、考えたこと  
 抗がん剤治療は体調だけでなく、精神的にも辛いと思うから、悩みを聞いてあげる、家事を積極的に行う  
 学校であった楽しかったことなどを話す  
 些細なことでも気を使う  
 親にかかる負担を減らす

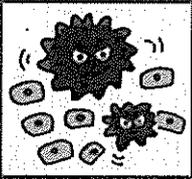
事例1  
 ○事例1で気が付いたこと、考えたこと  
 がんは生活習慣の悪さ以外にもかかることがある。  
 遺伝でかかってしまうこともあるので決めつけてはいけない。

○Aさんの友人だったら、あなたはどのような言葉かけや関わり方をすることができますか？  
 心配や励ましの言葉をかける。相手の状況に応じて接し方を考える。  
 出かけるときなどにどこにトイレがあるか把握し、自分から声をかける。

事例2  
 ○がんに罹患し、抗がん剤治療をしている親と共に生きていくために、大切なことは何ですか？  
 病院と一緒に行く。一緒にいる時間を増やす。悩みを聞く。筆談。家事や仕事を手伝う。できることを探す。親の楽しみを増やす。

●パワーポイント資料

# がん 復習クイズ



復習クイズ 第1問

がんは何人に1人がかかる病気でしょう？

復習クイズ 第1問 答え

がんは2人に1人がかかる病気

復習クイズ 第2問

がんの発生要因は、どのようなものがあるでしょう

- 復習クイズ 第2問 答え
- 細菌・ウイルス
  - 生活習慣
  - 遺伝的原因
  - 原因不明

復習クイズ 第3問

がんの予防のために大切なことは何でしょう

復習クイズ 第3問 答え

ストレスを溜めずに毎日笑顔でいることで免疫細胞が活性化される。  
 早期発見・早期治療も大切。

復習クイズ 第4問

越谷市の乳がん検診率は何%でしょう

復習クイズ 第4問 答え

越谷市の乳がん  
検診率は12.9%

復習クイズ 第5問

日本人に多いがん  
1位は何でしょう

復習クイズ 第5問 答え

大腸がん

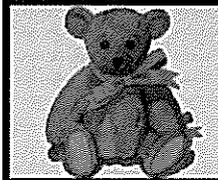
復習クイズ 第6問

がん患者死亡者数  
1位は何でしょう

復習クイズ 第6問 答え

肺がん

くまがやピンクリボンの会



## 学習課題

これまで学んできたことを活かして、がん患者と共に生きていくために大切なことは何かを考えよう

### 事例1 【Aさんの事例】

友人に自分が大腸がんになったことを伝えた時「生活習慣が悪いからがんになったんだ」と、あっけらかんと言われました。

私は共働きで、妻と交代で食事を作っていましたが、常にバランスの良い食事を心がけていたつもりですし、妻もせめられているような気持ちになり、悲しくなりました。

がんに対する誤解や決めつけがなくなればと思います。



### 事例2

私の親は、数ヶ月前から具合が悪そうでした。



ある日、大事な話があると言われ、がんに罹患し、抗がん剤治療をしていることを打ち明けてくれました。私の親は、ここ数ヶ月打ち明けることをすごく悩んでいたのだと思います。

●生徒の感想

振り返り

がん患者と共に生きていくためにはがんの正しい知識を理解し、もし親が癌になってしまったら、家事や自分でできることを積極的にする、そしてせい悩み聞いてあげたり、気持ちを尊重して寄り添っていきたい。

振り返り

がんはだれもがなるかもしれない病気でそれにはいろんな原因があって、なるものだから「あれが悪かったから」とか「いつもこうだから」とか決めつけたり、誤解したりしないようにしようと思った。がん患者を支えるためには種類によってどんな病気なのかや副作用がどんなものなのかをちゃんと知り、それにあった支えをすることが必要だとわかった。気持ちを尊重して、話を聞いて、がん患者の人の中にある暗い気持ちを周りの人が少しでも明るく変えられるようにしたいと思った。

振り返り

がんの偏見などをやめ、がんについて勉強して、身の回りの人がもしがんになってしまったときは励ましの言葉をかけてあげたり近くに寄り添って何かを手伝ったり検診に一緒に行きあげたりする事が大切だとわかった。他の人のことだけでなく自分自身も気をつけながら接していく事が大切だと思った。

## 令和7年度がん教育授業研究会（越谷市立武蔵野中学校）アンケート結果

参加者総数57名（一般41、来賓・役員等16）

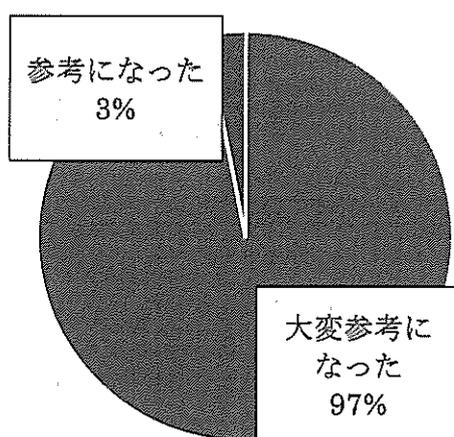
【本日の授業研究会の内容について】 アンケート提出者33名

大変参考になった	参考になった	あまり参考にならなかった	参考にならなかった
32	1	0	0

※一般参加者41名の内訳

校長1、教頭2、教諭10、養護教諭4、外部講師関係4、学生20

### 中学校授業研究会



#### ○授業研究会の内容について ※一部抜粋

- ・がんについての理解と自分の知識不足、外部講師の活用など学ぶことができた。（中学校・教諭）
- ・保健主事の立場なので、なかなかイメージが付きにくいがん教育というものでしたが、がん患者に関わる学校生徒の関係者にアプローチするしか、正解はないと思いますが、理解できました。（中学校・教諭）
- ・日頃からがん教育や保健教育が大切だと感じているため、今後の参考になる授業だと思いました。（中学校・教諭）
- ・外部指導者と連携し、学んだことを保健の授業に活かすことができていること、また生徒が自分ごととして考えることができる授業を展開できていたことなどのことから大変に参考になりました。（中学校・教諭）
- ・正しい知識を活用しながら、「共生」に焦点を当てた授業展開が大変勉強になりました。がんは日常的に接する機会が少なく、知識詰め込み型の授業になってしまいがちですが、このような丁寧な取組を自校でも少しずつ取り入れていきたいと思いました。（中学校・養護教諭）

- ・質の高い授業は、教員と生徒・生徒相互の良好な人間関係形成の土台のうえに成り立っていることをあらためて認識できたため。(中学校・教頭)
- ・外部講師の方のお話だけで終わるのではなく、そこから保健体育で取り扱い、最後に外部講師の方の話を聞く3段階になっていて、がん教育の流れが分かりました。(中学校・養護教諭)
- ・事例の内容がとても参考となった。子供が自分ごととして捉えられる内容だったと感じた。(大学生)
- ・配慮する点や保護者との関わり方についても話が聞けた。(大学生)
- ・中学校でのがん教育について、配慮の形について学ぶことが出来た。(大学生)
- ・事例の意図や配慮、机間指導など実際に自分が授業を行う際に気をつけたいことを学ぶことができた。(大学生)
- ・事例の設定や先生方の一言、声掛けの細かなところまで考えられているところが印象に残りました。(大学生)
- ・前時の学習のがんについての知識を活用し、身近な事例を考え実践につなげていたから。(大学生)
- ・本時の授業において中学生という発達段階や生徒の実態にあった授業展開を観させていただきました。また、現職の先生方との研究協議会を通して様々なご意見をきかせて頂きました。貴重な機会に参加させていただき、ありがとうございました。(大学生)
- ・がん教育の深め方、前時とのつなぎ、発問の仕方等多くを学ぶことができました。ありがとうございました。(大学生)
- ・教師という視点から授業を見る経験が少なかったため、実際に指導案などを見ながら授業を見学できたことが貴重な体験になりました。(大学生)
- ・保健体育だけで終わらず、他教科と連携したがん教育の実践を見ることが出来、また生徒主体のグループ活動を取り入れ深い学びを目指す実践を見ることが出来たため参考になりました。ありがとうございました。(大学生)
- ・昨年の小学校、本年の中学校の参加によって、年代による教育の違いと重要性を理解することが出来た。また他者への思いやりについて考えさせる点も良かったと感じた。(外部講師関係者)
- ・「がん教育」授業研究会に参加したのは初めてでしたが、事例を取り入れての授業展開、生徒のいろいろな考えが知ることができ、今後の仕事につなげられる学びだった。(外部講師関係者)
- ・授業の進め方や生徒へのアプローチの仕方、生徒の反応や意見を直接見ることができたこと等(外部講師関係者)

**【実際に行っている学校と外部講師が連携した「がん教育」の取組】 ※一部抜粋**

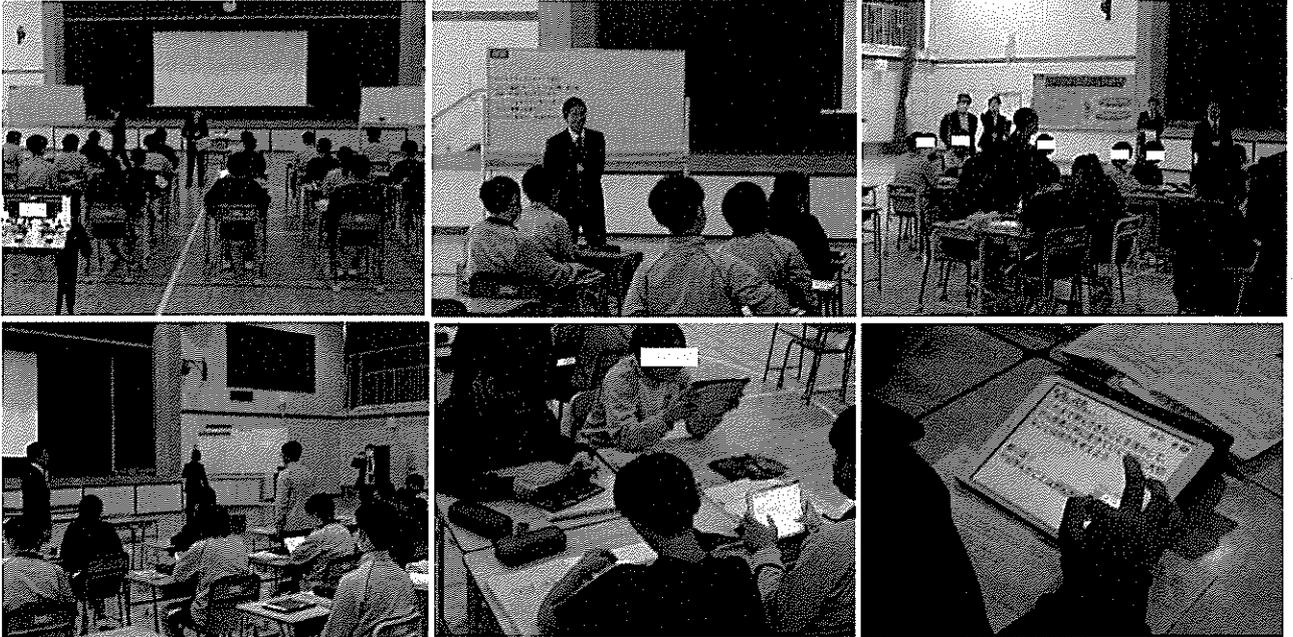
- ・全学年、熊谷ピンクリボンの会(昨年度実施)(中学校・教諭)
- ・中学校2年生を対象にくまがやピンクリボンの会の方に講演いただいています。(中学校・養護教諭)

- ・小学6年生、ガイドラインに沿った内容、自身の職種(緩和ケアチーム薬剤師)としてのがん患者への関わり方や仕事内容。(外部講師関係者)

**【がん教育についての提案、意見、感想等】 ※一部抜粋**

- ・既習事項と関連させた、素晴らしい授業でした。参考にさせていただきます。(小学校・校長)
- ・がん教育が児童・生徒に浸透することは、自身や家族、近い者が罹患した際への望ましい対応や予防につながり、よりよい生活を送ることにつながるため、様々な取組・実践が進んでほしい。私も自分の立場でできることをがんばりたいです。(中学校・教頭)
- ・授業を見させていただき、ありがとうございました。生徒の話し合いの姿を見て、良い関係性ができているのを感じました。事例1を出されたときに、慰めから話した方がいいのかな、とか相手が喜ぶものを考えていてお菓子やお花はどうか?とか生徒の優しい気持ちが引き出されていました。鈴木先生と田邊先生のテンポの良い授業の進め方や声かけが素晴らしいなと思いました。(中学校・養護教諭)
- ・保健センターの保健師と参加させていただきましたが、市の健康づくり計画でも「がん教育」は重要だと考えますので、健康づくりの部署の担当とも連携してすすめると、良い展開が期待できるのではと思いました。(外部講師関係者)
- ・外部講師は積極的に研究会に参加して知ってもらうことが外部講師活用に繋がると実感しました。費用問題はどこの学校でも言われるので行政で予算化できれば更なる普及に繋がると思います。教諭自身もがんの知識が不足しているとがん教育導入の足枷になったりするので外部講師による教諭向けの研修会があってもいいと思いました(教諭自身の家族ががんであるので自身が授業を聞くことも抵抗があるという方もいましたし、一方で実際に家族ががんで亡くなられた教諭の方が授業を聞いた際には授業をやってもらってよかったと言われたこともあります)。(外部講師関係者)

【授業の様子】



【全体会・研究協議の様子】



## 令和7年度埼玉県「がん教育」授業研究会（高等学校）開催要項

### 1 趣 旨

日本人の死亡原因として最も多いがんについて、がんそのものの理解やがん患者に対する正しい認識を深める教育は不十分であり課題であると指摘されている。

この課題解決のためには、児童生徒が学校教育を通じてがんについて学ぶことにより、健康に対する関心をもち、正しく理解し、適切な態度や行動をとることができるように指導することが必要である。

そこで、学校におけるがんに関する指導の充実を図るため、発達の段階に応じた適切な指導が実施されるよう、授業研究会を開催し、研究協議を行う。

2 主 催 埼玉県教育委員会

3 期 日 令和7年11月25日（火）

4 会 場 県立浦和西高等学校（さいたま市浦和区木崎3-1-1）

- 5 参加対象
- (1) 県内公立高等学校・特別支援学校の教職員（保健体育科、養護教諭、保健主事等）  
※南部地区開催のため、南部地区の学校においては積極的な参加について、御配意願います。  
※採用後1～4年目で、毎年開催される本授業研究会にこれまで一度も参加したことのない者（科目保健授業担当者）の参加について、御配意願います。
  - (2) 埼玉県がん教育外部講師関係者

### 6 日 程

- (1) 受 付 13時20分～ (場所：記念館前)
- (2) 公開授業 13時45分～14時40分 (場所：記念館2階)
- (3) 全体会 14時55分～15時15分 (場所：会議室)
- (4) 研究協議 15時15分～16時30分 (場所：会議室)

### 7 公開授業

学年	授業者	単元名
1年	瀬野 育美 教諭	保健体育科（科目保健） 「(1) 現代社会と健康」 (ウ) 生活習慣病などの予防と回復

8 指導者及び役員（埼玉県がん教育推進連絡協議会）

埼玉県教育局県立学校部保健体育課	課	長	荻原 篤大
埼玉県教育局県立学校部保健体育課	主	幹	西川 俊成
埼玉県教育局県立学校部保健体育課	指 導	主 事	佐野 秀行
埼玉県教育局県立学校部保健体育課	指 導	主 事	高沢 聖子
埼玉県教育局県立学校部保健体育課	主	任	高槻 伊織
埼玉 大 学 教 育 学 部	准	教 授	七木田文彦
埼玉医科大学総合医療センター	教	授	儀賀 理暁
NPO 法人くまがやピンクリボンの会	代 表	理 事	栗原 和江
県立浦和東高等学校	校	長	遠井 学
県立三郷高等学校	教	諭	佐々木智子
県立蕨高等学校	養 護	教 諭	工藤 由未
県立特別支援学校大宮ろう学園	養 護	教 諭	吉田 佳代
蕨市立東中学校	養 護	教 諭	川嶋 紅音

9 参加について

- ・上履きと下足入れを持参してください。
- ・駐車場はありませんので、公共交通機関をご利用ください。
- ・会場校に来校する際には、以下を参照ください。

## 県立浦和西高等学校への御案内

JR 京浜東北線 与野駅東口から徒歩約 20 分  
さいたま新都心駅東口 1 番乗場からバスで西高前下車

※地図は省略しています。

## 保健体育科（科目保健）学習指導案

令和7年 11月25日（火）第5時限 記念館2階  
第1学年2組 計40名  
指導者 埼玉県立浦和西高等学校 教諭 瀬野 育美

### 1 単元名 (1) 現代社会と健康 (ウ) 「生活習慣病などの予防と回復」

#### 2 単元について

本単元では、健康を保持増進するためには、適切な食事、運動、休養及び睡眠などの調和のとれた健康的な生活を実践することが必要であると理解できるようにする。その際、がんを取り上げ、それらは、日常生活習慣、細菌・ウイルスと深い関係があることを理解できるようにする。さらに日本ではがんを早期発見するためのがん検診の受診率の低さが課題であること、がんのリスクを上げたり、下げたりする行動について考えること。がんに罹患しても様々な治療法や緩和ケアがあり、周囲の支援により、その人らしさを維持できることを理解するとともに、現代社会の様々な健康課題に関して、その解決に向けて思考・判断・表現できるようにしたい。

また、本単元は、以下に挙げる内容を中心として構成されている。

- ・我が国において現代の健康課題が見られること。
- ・健康の考え方が変化してきていること。
- ・健康の保持増進には健康に関する個人の適切な意思決定や行動選択及び環境づくりが関わること。
- ・感染症の発生や流行には時代や地域によって違いが見られ、それに対応した対策が必要であること。
- ・生活習慣病などの予防と回復には調和のとれた生活の実践とともに早期発見、治療及び社会的な対策が必要であること。
- ・喫煙、飲酒、薬物乱用などは健康や社会に大きな影響を与えることから、個人への働きかけや社会環境への対策が必要であること。
- ・精神疾患の早期発見や罹患後の対策が必要であること。

本校の保健の年間指導計画上、本来であれば1学期に取り扱う授業内容であるが、今年度は、埼玉県の「がん教育等外部講師連携支援事業」の実施時期に合わせ、2学期に生活習慣病などの予防と回復を取り扱うこととした。

#### 3 生徒の実態

埼玉県立浦和西高等学校は、男子500名、女子563名、合計1063名の生徒が在籍する男女共学普通科の高等学校である。1学年は、男子166名、女子196名、合計362名の生徒が在籍している。研究授業の対象学級は、第1学年2組で、男子18名、女子22名の合計40名のクラスである。体調不良等で欠席する生徒や遅刻して登校する生徒はほとんどおらず、毎日前向きに学校生活を送ることができている。保健の授業においては、授業態度は良好で、真面目に授業に取り組んでいる生徒が多い。喫煙、運動、休養ががんに関係していることなどの基本的な知識を持っている生徒がほとんどである。アンケートからわかるように、がんに対するイメージとして恐怖や不安を抱いている生徒が多いが、医療の進歩による「早期発見・早期治療」への期待も一部浸透している。死因としての身近さ、治

療の困難さが強調されやすく、がん教育においては正しい知識と心理的な配慮を心がけながら授業を展開していきたい。また、今回がん検診に着目して学習を行うが、アンケートでがん検診について聞いたところ「よくわからない」と回答した生徒が多く、知識・情報不足が考えられる。一方で、検診での早期発見が大切であることを理解している生徒も一定数いる。がん検診は「めんどくさい」「痛い」というようなネガティブな印象が強く、実際の行動につなげるのは難しい現状である。

(1) 知識及び技能

生活習慣病についての基礎的な知識はあるが、がんの発生要因や治療方法、緩和ケア、検診や社会的対策についての知識は浅い。

(2) 思考力・判断力・表現力 等

資料や情報を読み取る能力が高く、学んだことについて自分の言葉でまとめることが得意な生徒が多い。また、質問や発問に対して、熟考する生徒も多い。しかし、そのまとめたことを他者が理解できるように発表・発信する力は、生徒間で大きく差がある。

(3) 学びに向かう力・人間性 等

発問や質問に対しての興味が深く、仲間と協力し、積極的に取り組むことができる生徒が多い。

今年度の2学期に、1学年の生徒にアンケート調査を行った。その回答を以下にまとめる。設問の他に、自由記述欄を設けたところ、以下のような質問が出てきた。生徒たちの疑問を大切にしながら、授業にも反映していきたい。

《アンケートより》

・早期発見とはどれぐらいのことを言うのか	・がんの種類	・どこからが大変なのか
・抗がん剤の副作用	・どのぐらいの確率で再発せずに治るのか	・がんになる原因
・がん細胞はどのようにしてできるのか。	・受けられる手術の種類とその違い	
・後遺症はあるのか	・どのぐらいの頻度で検診を受ければいいのか	
・どこに転移すると危ないのか	・原発不明がんはどのように治療するのか	
・学生の頃からなるがんはあるのか	・がんに罹患し社会復帰した人の割合	

事前アンケートの結果等（令和7年9月実施・1学年全体266名の生徒からの調査結果）

(1)がんについての以下の質問について、当てはまるものに○を付けてください。

	そう思う	どちらかといえそう思う	どちらかといえそう思わない	そう思わない
がんの学習は、健康な生活を送るために重要なものだと思う。	228	37	1	0
がんの学習は、健康な生活を送るために役に立つものだと思う。	226	39	1	0

(2)がんについての以下の質問について、当てはまるものに○を付けてください。

	正しい	誤り
がんは誰もがかかる可能性のある病気である。	266	0
がんは進行すると、今まで通りの生活ができなくなったり、命を失ったりすることがある。	266	0
がんは日本人の死因の第2位である。	126	140
たばこを吸わないこと、バランスよく食事をする、適度な運動をすることなどによって、予防できるがんもある。	265	0

早期発見すれば、がんは治りやすい。	264	2
体の調子が良い場合は、定期的に検診を受けなくても良い。	16	249
がんの治療法には手術治療しかない。	21	244
がんの痛みは我慢するしかない。	28	238

(3)がんについての以下の質問について、当てはまるものに○を付けてください。

	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらかといえばそう思わない	そう思わない
自分はがんにならないと思う。	10	46	89	121
将来、たばこは吸わないでいようと思う。	240	15	6	5
日頃から、バランスの良い食事や適度に運動を行うなど健康な体づくりに取り組もうと思う。	194	64	7	1
がん検診を受けられる年齢になったら、検診を受けようと思う。	171	82	11	2
がんの治療方法はいくつかあるが、医師が決めるものである。	48	78	62	77
がんになっても生活の質を高めることができる。	74	85	78	29
がん患者を支える仕事に興味がある。	16	46	107	95
がんになっている人も過ごしやすい世の中にしたい。	164	90	7	4
がんと健康について、まずは身近な家族から話ろうと思う。	125	99	31	11
家族や身近な人が健康であってほしいと思う。	246	18	0	1
長生きをするために、健康な体づくりに取り組もうと思う。	221	38	5	1

#### 4 教師の指導観

##### (1) 知識及び技能

がん教育を通して、生活習慣病の予防や調和のとれた生活習慣の確立ができるように、必要な知識を得ることができるようにする。また、がんを身近な病気として捉え、疾病の予防や早期発見・早期治療、検診の実施等への理解を深め、実際に生徒が社会に出た際に、がん検診を受けるだけでなく、身近な家族にも検診を勧められるようにしていく。

##### (2) 思考力、判断力、表現力等

我が国の疾病構造やがん検診の受診率などから、日本のがん受診率に対しての課題を見つけ、その解決策を考える。課題と解決策を考える中で、がん検診の重要性をより理解し、家族や仲間などに説明できるようする。また、調べ学習を行うにあたって、様々な情報の中から、正しいものを選択することがより求められる。

### (3) 学びに向かう力、人間性等

今回の授業では、「がん検診」をテーマに授業を展開していく。検診を実際に受けるのは、まだ少し先のことではあるが、生徒が自身のことと捉え、行動したくなる授業にする。そのために、生徒自身で課題を見つけ出し、解決方法を考える探求型授業とした。

#### I 学習(指導)内容の明確化

学習内容の理解を促し、考えを深めることができるように、保健の学習としては4時間扱いとするが、LHRの時間を使い、外部講師による講演会等の事後学習を行う。

- ・ 1時間目：がんの基本的な知識(種類、発生要因、我が国の状況)の理解の習得を図る。
- ・ 2時間目：がんの予防方法、治療方法、緩和ケア、がん検診について理解を深める。  
がん検診を受けない要因を考えさせる。また、3時間目に行う課題についてのグループ分けを行っていく。
- ・ 3時間目：1、2時間目の授業を経て得た知識や自身で調べた情報をもとに日本のがん検診の低さの原因を探っていく。その際に、がん検診の重要性を理解させる。
- ・ 4時間目：今まで学習した内容のまとめとして、各自でリーフレットを作成する。  
※作成資料は、評価対象物として、全員提出する。

#### II 基礎的・基本的な知識の習得と知識を活用する学習活動の実践

1時間目の授業では、一斉教授型の授業展開で、がんに関する基本的な知識の習得を目指すとともに、自らの生活を振り返り、自らの課題や自分の将来で必要となること(予防・がん検診・治療・仕事との両立等)を考える機会とする。

2時間目の授業では、1時間目の授業で得た基礎的な知識をベースとし、がん検診の必要性を理解させるとともに、自身で日本のがん検診の課題について考えるきっかけとする。

3時間目の授業では、日本のがん検診の受診の低さについて要因を考える。日本の社会的な問題にも触れながら、解決策などをグループで考える。

4時間目の授業では、自身でがん検診のリーフレットの作成を行う。

#### III 学習内容を主体的に取り組ませるための教材の工夫

##### ・ICT教材の活用

本単元では、PowerPointを活用して授業を展開する。画面の中で、説明文章だけではなく、映像や様々な図、資料を生徒たちに提供することで、生徒の理解の促進に繋がっている。また、Googleフォームも活用し、生徒対象のアンケートを行い生徒の実態を知ることができた。

5 単元の目標

- (1) 生活習慣病などの予防と回復について、理解することができるようにする。 〈知識及び技能〉
- (2) 生活習慣病などの予防と回復に関わる事象や情報から課題を発見し、疾病のリスクの軽減、生活の質の向上、健康を支える環境づくりなどと、関連付けて解決方法を考え、適切な方法を選択し、それらを説明することができるようにする。 〈思考力、判断力、表現力等〉
- (3) 生活習慣病などの予防と回復について課題の解決に向けた学習に、主体的に取り組もうとすることができるようにする。 〈学びに向かう力、人間性等〉

6 評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<p>① がんには、肺がん、大腸がん、胃がんなど様々な種類があり、生活習慣病のみならず細菌やウイルスの感染などの原因もあることについて理解したことを言ったり書いたりしている。</p> <p>② がんのリスクを軽減し予防するには、適切な運動、食事、休養及び睡眠など、調和のとれた健康的な生活を続けることが必要であること、定期的な健康診断やがん検診などを受診することが必要であることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。</p> <p>③ がんの予防と回復には、個人の取組とともに、健康診断やがん検診の普及、正しい情報の発信など社会的な対策が必要であることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。</p>	<p>① がんの予防と回復、それに関わる事象や情報などについて、健康に関わる原則や概念を基に整理したり、個人及び社会生活と関連付けたりして、自他や社会の課題を発見するとともに、習得した知識を基に自他の生活習慣や社会環境を分析し、リスクの軽減と生活の質の向上に必要な個人の取組や社会的な対策を整理している。</p> <p>② がんの予防と回復について、自他や社会の課題の解決方法とそれを選択した理由などを話し合ったり、資料に記述したりして、筋道を立てて説明している。</p>	<p>① がんの予防と回復について課題の解決に向けた学習活動に主体的に取り組もうとしている。</p>

7 単元の指導と評価の計画（全4時間）本時：○印

時間	学習のねらい・学習活動	知識	思判表	態度	評価方法
1	<p>I ねらい</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・がんには、肺がん、大腸がん、胃がんなど様々な種類があり、生活習慣病のみならず細菌やウイルスの感染などの原因もあることについて理解できるようにする。</li> </ul> <p>II 学習活動</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 がんが身近な病気であることを理解する。</li> <li>2 がんの発生についての説明を聞き、がんの種類や予防方法について理解する。</li> <li>3 がんの治療方法についての説明を聞き、ワークシートにまとめる。</li> <li>4 本時の学習を振り返り、次時の学びの見通しについて整理する。</li> </ol> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>主たる学習内容（知識）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・がんについては、肺がん、大腸がん、胃がんなど様々な種類があり、生活習慣病のみならず細菌やウイルスの感染などの原因もあること。</li> </ul> </div> <p>III 指導すべき内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・誰にでもがんになる可能性があり、確かな知識と対応策から、より正確な予防をしていくことが大切であること。</li> </ul>	①			観察 ワークシート
2	<p>I ねらい</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・がんの回復において、手術療法、化学療法（抗がん剤など）、放射線療法などの治療法があること、患者や周囲の人々の生活の質を保つことや緩和ケアが重要であることについて、理解できるようにする。</li> <li>・がんの予防と回復について、それに関わる事象や情報などについて、健康に関わる原則や概念を基に整理したり、個人及び社会生活と関連付けたりして、自他や社会の課題を発見するとともに、習得した知識を基に自他の生活習慣や社会環境を分析し、リスクの軽減と生活の質の向上に必要な個人の取組や社会的な対策を整理できるようにする。</li> </ul> <p>II 学習活動</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 前時の学習を振り返る。</li> <li>2 がんの予防、がん検診についてグラフや資料から読みとるとともに、話し合いを通して理解を深める。</li> <li>3 がんの現状と検診の大切さを通して受診の低さの要因を考えグループ分けを行う。</li> <li>4 本時の学習を振り返り、次時の学びの見通しについて整理する。</li> </ol> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>主たる学習内容（知識）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・がんのリスクを軽減し予防するには、適切な運動、食事、休養及び睡眠など、調和のとれた健康的な生活を続けることが必要であること、定期的な健康診断やがん検診などを受診することが必要であることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。</li> </ul> </div> <p>III 指導すべき内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・定期的に健康診断やがん検診、ちょっとした身体の変化から、がんを早期発見して、早期治療に繋げ、治す可能性を高めること。</li> </ul>	②	①		観察 Google フォーム ワークシート

<p>③</p>	<p>I ねらい</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・がんの予防と回復には、個人の取組とともに、健康診断やがん検診の普及、正しい情報の発信など社会的な対策が必要であることについて、理解できるようにする。</li> <li>・がんの予防と回復について課題の解決に向けた学習活動に主体的に取り組もうとしている。</li> </ul> <p>II 学習活動</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 前回の学習の振り返り</li> <li>2 がん検診の受診率が低い原因について、グループごとにコンセプトマップを作成する。</li> <li>3 各グループでコンセプトマップの発表と解決策を発表する。</li> <li>4 本時の学習を振り返り、次時の発表の見通しについて整理、イメージして次授業時に向けて準備する。</li> </ol> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>主たる学習内容（知識）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・がんのリスクを軽減し予防するには、調和のとれた健康的な生活を続けることが必要であること、定期的な健康診断やがん検診などを受診することが必要であることを理解し、日本人のがん検診の受診の壁になっている原因について考える。</li> </ul> </div> <p>III 指導すべき内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・がん検診は安く手軽にできることを理解させる。</li> <li>・がん検診と早期発見の重要性を理解させる。</li> <li>・インターネットの情報を使用する場合は、根拠ある情報を活用する。また、資料にまとめる際は、《引用文献、参考文献》等明記すること。</li> </ul>	<p>③</p>	<p>①</p>	<p>観察 ワークシート</p>
<p>4</p>	<p>I ねらい</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・がんの予防と回復について、自他や社会の課題の解決方法とそれを選択した理由などを話し合ったり、資料に記述したりして、筋道を立てて説明できるようにする。</li> </ul> <p>II 学習活動</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 各自でがん検診に関するリーフレット作成を行う。</li> <li>2 時間があれば発表を行う。</li> </ol> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>主たる学習内容（思判表）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・がんの予防と回復には、個人の取組とともに、健康診断やがん検診の普及、正しい情報の発信など社会的な対策が必要であること。</li> </ul> </div> <p>III 指導すべき内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・基本的な知識や情報を振り返り、がん検診の重要性を理解させる。</li> </ul>	<p>②</p>	<p>観察 評価シート ワークシート</p>	

8 本時の学習と指導 (3/4 時)

(1) ねらい

- ・がんの予防と回復には、個人の取組とともに、健康診断やがん検診の普及、正しい情報の発信など社会的な対策が必要であることについて、理解できるようにする。

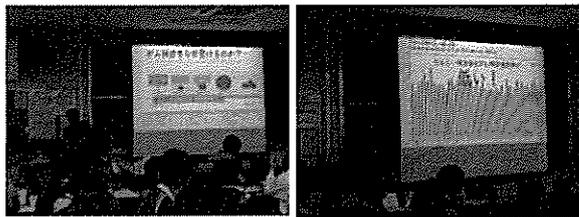
〈知識及び技能〉

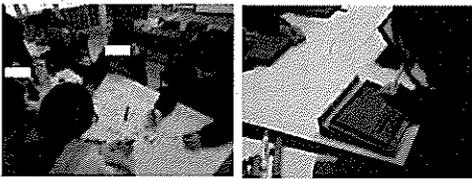
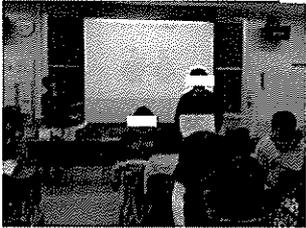
- ・がんの予防と回復について課題の解決に向けた学習活動に主体的に取り組もうとしている。

〈学びに向かう力、人間性等〉

(2) 準備物…現代高等保健体育 (教科書、ノート)、タブレット端末、スマートフォン、授業プリント  
ホワイトボード、ペン

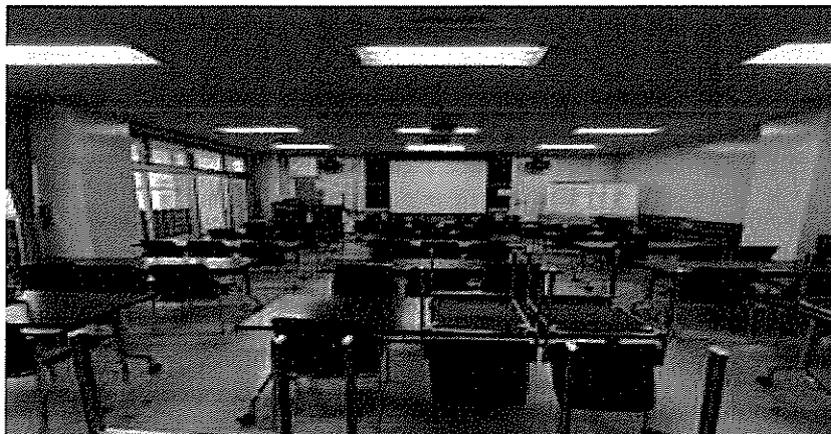
(3) 展開

時間	学習内容・活動	学習形態	指導上の留意点 (○指導 ◆評価規準)
導入 10分	<p>1 挨拶</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・前回の授業の受診率の低さの要因となるグループごとに着席する。</li> </ul> <p>予想されるグループ</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>①心理的抵抗 ②時間や手間 ③症状がないから必要ない ④自己負担 ⑤検診の知識不足 ⑥職場の環境</p> </div> <p>2 前回の復習 (10分)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・世界と日本のがん検診の受診率の違いを示し、前回の授業の内容を振り返る。</li> <li>・がんについての、前回までの授業内容の知識の確認を図る。</li> <li>・がん検診の必要性を再確認する。</li> </ul>	全体	<p>○きちんと挨拶できるようにする。</p> <p>○学習に向かう環境を整えることができるように声かけを行う。</p>  <p>○前回の授業で学習した内容を確認する。 (スライドにて一斉に確認と記入を行っていく)</p> <p>○がん検診の重要性を再度理解できるよう説明し、本時の調べ学習の原点となるようにする。</p>
展開 42分	<p>3 本時の課題を確認する。(3分)</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>【学習課題】 がんのリスクを軽減し予防するには、適切な運動、食事、休養及び睡眠など、調和のとれた健康的な生活を続けることが必要であること、定期的な健康診断やがん検診などを受診することが必要であることについて、理解できるようにする。 〈知識及び技能〉</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>【テーマ】 日本のがん検診の受診率の低さの原因、がん検診の受診率を上げるための解決方法を考える。</p> </div> <p>① コンセプトマップのねらいや作成についての説明を行う。(5分)</p> <p>② 要因とがん検診についてのコンセプトマップを作成する。(10分)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・用意したホワイトボードにグループで</li> </ul>	全体 グループ	<p>○本時の流れ、学習課題を確認し、本時の見通しが持てるようにスライドを使い説明する。</p> <p>○コンセプトマップを作成するにあたって、できるだけ多くの視点や疑問を出すことを説明する。</p> <p>○解決方法を考えるにあたり、情報の質や量、情報源、根拠が明確になるように伝える。</p>

	<p>話し合い、記入していく。</p> <p>③ グループで書いたコンセプトマップをもとにグループで分担し各自で受診率が低い原因を調べていく。(10分)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・グループで疑問に思ったことや解決に繋がりそうな内容を自分で調べていく。</li> <li>・新たに分かったことがあればコンセプトマップに追記していく。</li> </ul> <p>④ 個人で調べた内容をグループで共有し、解決策を考えていく。(7分)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新たな疑問が出たらまた調べる。</li> <li>・発表者を決める。</li> </ul>  <p>4 グループごとに発表していく (7分)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・グループの代表者がコンセプトマップをもとに今日の調べたこと、解決方法を発表していく。</li> </ul> 		<p>○タブレットやスマートフォンを使い、疑問に思ったことや気になったことを調べるよう指示をする。</p> <p>◆がんの予防と回復には、個人の取組とともに、健康診断やがん検診の普及、正しい情報の発信など社会的な対策が必要であることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。 (観察・ワークシート)【知識・技能】</p> <p>△「努力を要する」状況と判断された生徒への手立て</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・前時の内容について個別に説明し、資料を提示する。</li> <li>◎「十分満足できる」状況 (A) と判断される生徒の具体的な姿</li> <li>・自身の考えを、具体的な対策案について例を挙げて説明している。</li> </ul> <p>○個人で調べたことをグループで共有し、コンセプトマップに追記するよう声をかける。</p> <p>○グループで考えたがん受診率が低い原因の深掘りとがん受診率アップのために必要なことを考えるように声をかける。</p> <p>○がん検診の受診率の低さの原因と解決方法についてグループの代表が発表するよう指示する。</p> <p>○発表を聞いている生徒はメモを取りながら聞くよう指示を出す。</p> <p>◆がんの予防と回復について課題の解決に向けた学習活動に主体的に取り組もうとしている。 (学びに向かう力、人間性等)</p> <p>単元を通じた学習活動への取組の状況やワークシートの記述儒教などから授業後に評価する。</p>
<p>まとめ 3分</p>	<p>5 本時のまとめ、次回発表準備のアナウンスを行う。(3分)</p> <p>6 挨拶</p>	<p>全体</p>	<p>○次回 15 分程度、準備の時間を用意し、その後発表を行うことを伝える。</p> <p>○流れの挨拶になるのではなく、心を込めて挨拶ができるように言葉かけを行う。</p>

9. 教室配置

◀記念館2階▶



10. 参考・引用文献

- 「高等学校学習指導要領（平成30年告示）解説 保健体育編（文部科学省）」
- 「現代高等保健体育（大衆館書店）」
- 「埼玉県がん教育総合支援事業実施報告書（埼玉県教育委員会）」
- 「なるほど！保健の授業づくり-令和4年度発行-（埼玉県学校保健会 埼玉県教育委員会）」
- 「指導と評価の一体化のための学習評価に関する参考資料【高等学校 保健体育】」
- 「学校健康教育必携（埼玉県教育委員会）」

11. 授業スライド

88

89

これから日本の医療はどうなる？  
【3分】

90

がん患者が増える医療崩壊はどうなる？

医療機関の負担 病床(ベッド)が足りなくなる  
医療費 医療財政の圧迫  
医療体制 専門職不足・地域ごとの格差が広がる  
患者支援 薬剤師や放射線技師などの不足、  
就労支援の不足

91

本時のテーマ

日本のがん検診の受診率の低さの原因、  
がん検診の受診率をあげるための  
具体的な解決方法を考える

92

本時のながれ

- ① グループでコンセプトマップ作成
- ② タブレット端末で調べる
- ③ グループで解決策を考える
- ④ グループごとに発表

93

グループでコンセプトマップ作成  
【5分】

94

疑問を調べる・原因を考察する  
【7分】

95

グループで原因と解決策を検討  
【5分】

96

グループからの発表

## 12. 学習プリント

がん教育③ 月 日 ( )

○がん検診もなぜ受けるのか？  
乳がんから発見までは【 ~ 】年、  
この期間に検診で見れば、治療や手術後のQOLも変わって  
くる。  
発がんから進行がんになるまでは【 ~ 】年と、  
期間は短く、一気に成長する。

○がん検診の利益  
がん検診によって早期がんを見つけることができれば、  
【 ~ 】%以上治るがんもあるということが分かってい  
ます。

○がんの不利益  
がん検診で【 ~ 】%見つかるわけではない。結果的に必要  
ない検査や治療を担く可能性があることも知っておく。

これからの日本のがん患者は減るか・増えるか？

○これからの日本の医療はどうなっていく？

がん検診の受診率の推移

がん検診の受診率

医療機関の負担 ( )が足りなくなる。  
医療費 医療( )の圧迫  
医療体制 ( )不足・( )との格差が広がる  
患者支援 薬剤師や放射線技師などの不足、  
就労支援の不足  
⇒【 】

○グループワーク  
本時のテーマ

日本のがん検診の受診率の低さの原因、  
がん検診の受診率をあげるための  
具体的な解決方法を考える

○グループでの解決策

○本時のまとめ

## 13. 生徒の感想

- ・がんは身近な病気だとわかりました。だからこそしっかり習ったことを覚えておこうと思います。
- ・いつ誰がなってもおかしくないものだからこそ、大丈夫と思わず、検診に行くべきだと思った。
- ・日本人の死因に多いがんについて学び、決して治らないものではないこと、様々な治療法があることを知り、がんのリスクが高まる大人になるまでに正しい知識をつけることが重要だと思った。

## 令和7年度がん教育授業研究会（県立浦和西高等学校）アンケート結果

参加者総数37名（一般25、来賓・役員等12）

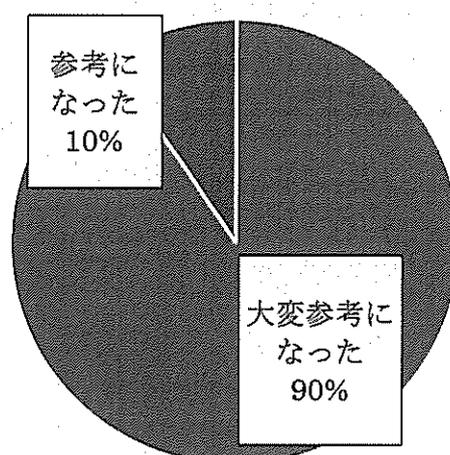
【本日の授業研究会の内容について】 アンケート提出者21名

大変参考になった	参考になった	あまり参考にならなかった	参考にならなかった
19	2	0	0

※一般参加者25名の内訳

教諭4、養護教諭4、行政機関1、外部講師関係1、学生15

### 高等学校授業研究会



### ○授業研究会の内容について ※一部抜粋

- ・儀賀先生の講評をお聞きして、生徒が話したいと名乗り出てくれた背景には、生徒自身のタイミングだけでなく、日常的にクラスの生徒、瀬野先生との関係づくりができていて、生徒にとって安心安全な空間であったのだらうと思いました。身の回りの人からの、当事者、支援者としての言葉はさらに重みのあるものだったと思います。生徒の思いを支えた先生方のご尽力に尊敬の念を抱きました。授業ではがん検診をテーマに、先生がさまざまな視点から疑問を投げかけていく姿が印象的で、生徒の思考を止めないよう工夫されていたのかなと思いました。コンセプトマップの作成の段階では、初めは個々がタブレットで黙々と調べたことを書き出して、グループワークになりうるのか、と少し不安を感じました。しかし解決策を考える段階では、それぞれが調べて考えたことをスムーズに共有し、グループの案としてまとまっていたので、西高の生徒たちのレベルに適切なワークだったのだらうと感じました。普段は小学校で勤めているので、高校生という発達段階への気づきも含めて、とても大きな学びになりました。貴重な授業をご提案いただきありがとうございました。（小学校・養護教諭）
- ・がん教育だけでなく、保健の授業づくりに更に力を入れていきたいと思えた。（高等学校・教諭）

- ・授業の進め方等、講師の先生方の指導講評の内容からもとても勉強になりました。（高等学校・養護教諭）
- ・生活習慣病のところではがんについてこんなに丁寧に授業をしている印象がなく、でも逆に授業で取り上げなかったら気づいたらがんになりやすい年齢になってしまっている気がするので自分事ととらえやすい授業をされていたところが参考になりました。ホワイトボードから大きい用紙に変更されていたのがみんなで書くことも見ることもできて参考になりました。（高等学校・養護教諭）
- ・学生へのがんについての伝え方、検診の重要性についての理解を促す内容であり、高校でのがん教育の実態について学べた。（行政機関）
- ・高校生らの活発な意見と発想がまずは素晴らしかったです。瀬野先生のご努力、ご指導の賜物だと思います。研究会での埼玉大学の活発な意見や儀賀先生、七木田先生の講評はいつも洞察が深く、うなるものがあります。（外部講師関係者）
- ・「がん」や「がん検診」を取り巻く様々な問題について、生徒たちの視点を知ることができた。（外部講師関係者）
- ・グループワークにおける調べ学習のテーマややり方等について新しい視点を得ることができました。また、がん教育の展開の流れをつかむことができました。（大学生）
- ・社会に目を向けてがん検診について考える授業を参観できたため。（大学生）
- ・調べ学習を用いて生徒の理解を深めるという展開の中で、学ぶことが多かったから。（大学生）
- ・生徒同士が話し合いながら深めていく、レベルの高い授業で大きな学びになりました。（大学生）
- ・大きな机を6人で囲うという授業環境にする事で、生徒全員が主体的に参加しやすくなりグループワークの活性化につながったと感じた。生徒が主体となれる授業展開に難しさを感じていたため、そのような工夫をしていきたいと感じた。（大学生）
- ・外部講師の活用について、生徒への配慮、経験者の声の必要性について学びました。（大学生）

**【実際に行っている学校と外部講師が連携した「がん教育」の取組】 ※一部抜粋**

- ・埼玉県立がんセンターの市民向けセミナーを6年生の保健教育として講演をお願いしています。はじめてがんを学ぶ子たちに向けて、がんとは、がん患者を支えるとはという内容で優しく話していただいております。（小学校・養護教諭）

**【がん教育についての提案、意見、感想等】 ※一部抜粋**

- ・本校でも、生徒たちが具体的なイメージを持って、がんについて学んでいける機会を設けていきたいと思います。今後ともよろしく願いいたします。（高等学校・養護教諭）
- ・がん教育の外部講師の謝金を県が負担してくれるという文書をあまりしっかり目を通していなかったのを探してみます。なかなか本校ではがん教育に焦点が当たっていないのですが、いつか実施したいと思います。（高等学校・養護教諭）

【授業の様子】



【全体会・研究協議の様子】



#### IV 令和7年度 埼玉県がん教育推進連絡協議会

##### 令和7年度埼玉県がん教育推進連絡協議会 設置要綱

###### (設置)

第1条 学校におけるがん教育の充実を図るため、「がん教育推進連絡協議会」(以下「協議会」という。)を設置する。

###### (事業)

第2条 協議会は、次の各号に掲げる事業を所掌する。

- (1) 埼玉県がん教育等外部講師連携支援事業を推進するための支援体制の協議、検討
- (2) 埼玉県がん教育等外部講師連携支援事業を推進するために係るその他の取組

###### (組織)

第3条 協議会は、別表に掲げる委員をもって構成する。

- 2 協議会に委員長を置き、埼玉県教育局県立学校部保健体育課長をもって充てる。
- 3 協議会に副委員長を置き、委員の中から互選する。

###### (運営)

第4条 委員長は、協議会を総括する。

- 2 副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故あるときは、その職務を代理する。

###### (任期)

第5条 委員の任期は、令和8年2月27日までとする。

###### (会議)

第6条 委員長は、協議会を招集し、議長を務めるものとする。

- 2 委員長が必要と認めるときは、別表に掲げる者以外の県及び市町村等、関係機関の職員の出席を要請することができる。

###### (事務局)

第7条 協議会は、会務を処理するために、事務局を埼玉県教育局県立学校部保健体育課内に置く。

###### (経費)

第8条 協議会の経費は文部科学省から交付される委託経費をもって充てる。

###### (その他)

第9条 この要綱に定めるもののほか、協議会の運営に関し必要な事項は、委員長が別に定めるものとする。

###### 附 則

この要綱は、令和7年5月26日から施行する。

別 表（第3条関係） 委員

学識経験者
医師
がん経験者
薬剤師
校長
養護教諭
疾病対策課副課長
保健体育課長

# 令和7年度 埼玉県がん教育等外部講師連携支援事業(がん教育推進計画)

(文部科学省委託 外部講師を活用したがん教育等現代的な課題理解増進事業)

## 背景

- 平成28年12月に改正されたがん対策基本法第23条では、「国及び地方公共団体は、国民が、がんに関する知識及びがん患者に関する理解を深めることができるよう、学校教育及び社会教育におけるがんに関する教育の推進のために必要な施策を講ずるものとする。」というがんに関する教育の推進についての文言が新たに記載された。
- がん対策推進基本計画では、「誰一人取り残さないがん対策を推進し、全ての国民とがんの克服を目指す」ことを目標としている。
- 学習指導要領の改訂に伴い、中学校及び高等学校の保健体育科において、がんについても取り扱うこととされたことを受け、現行の学習指導要領に対応したがん教育の実施について検討する必要がある。

- 年間約38万人以上の国民ががんで死亡している。
- 埼玉県のがん検診受診率が50%未満である。

## 課題

- がんについての正しい知識やがん患者に対する理解が不十分
- 教材や外部講師を活用した指導の在り方、方法等の充実が必要

そこで、

がん教育に関する計画を作成し、作成した計画に基づき、がん教育に関する多様な取組を実施することにより、がんに対する正しい知識とがん患者に対する正しい理解及び命の大切さに対する認識を深める。

## がん教育推進連絡協議会

- 学習指導要領に対応したがん教育に関する計画作成について指導・助言をする。  
(・教科等、授業展開方法の検討 ・外部講師の活用体制の整備 ・関連機関との連携等)
- 取組結果について、成果を検証する。  
※がん教育推進連絡協議会に報告された実施結果を冊子にまとめ、県内の市町村教育委員会等へ配布するとともに、冊子のデータを県ホームページに掲載し、各学校がダウンロードして活用できるようにする。

【授業検討部会を含む構成員】  
学校関係者(校長・教諭・養護教諭)、医療機関関係者(医師・薬剤師等)、学識経験者、がん経験者、行政関係者等

## がん教育指導者研修会

- がん教育を推進していく教職員・外部講師を対象とした「がん教育指導者研修会」を開催し、効果的ながん教育の在り方についての研修を行う。

## がん教育授業研究会

- 小学校、中学校及び高等学校において、授業公開による授業モデルの普及及び研究協議における効果的な指導方法についての検討を行う。

健康と命の大切さについて学ぶことを通して、自らの健康を適切に管理し改善していく資質・能力を育成する。  
がんに対する正しい知識とがん患者への正しい理解及び命の大切さに対する認識を深める。

令和7年度 埼玉県がん教育等外部講師連携支援事業 がん教育推進連絡協議会 委員名簿

	推薦団体・推薦関係課・教育委員会	氏名	職名	所属
1	埼玉大学	七木田 文彦	准 教 授	埼玉大学教育学部
2	一般社団法人埼玉県医師会	登坂 英明	常 任 理 事	埼玉県医師会
3	がん専門医	儀賀 理暁	教 授	埼玉医科大学総合医療センター
4	がん経験者	栗原 和江	代 表 理 事	NPO法人くまがやピンクリボンの会
5	一般社団法人埼玉県病院薬剤師会	多田 幸子	副 部 長	獨協医科大学埼玉医療センター
6	埼玉県公立小学校校長会	川端 浩司	校 長	川口市立柳崎小学校
7	埼玉県中学校校長会	大山 美智子	校 長	白岡市立南中学校
8	埼玉県高等学校校長協会	遠井 学	校 長	県立浦和東高校
9	埼玉県養護教諭会（小学校）	中村 恵子	養 護 教 諭	川口市立木曾呂小学校
10	埼玉県養護教諭会（中学校）	川嶋 紅音	養 護 教 諭	蕨市立東中学校
11	埼玉県養護教諭会（高等学校）	工藤 由未	養 護 教 諭	県立蕨高等学校
12	埼玉県養護教諭会（特別支援学校）	吉田 佳代	養 護 教 諭	県立大宮ろう学園
13	県保健医療部疾病対策課	伊藤 太佳博	副 課 長	県保健医療部疾病対策課
14	県立学校部保健体育課	荻原 篤大	課 長	県教育局県立学校部保健体育課

令和7年度 埼玉県がん教育等外部講師連携支援事業 がん教育授業検討部会 名簿

各校種における具体的ながん教育の授業を検討し、授業研究会を開催する。

	推薦団体・推薦関係課・教育委員会	氏名	職名	所属
①	埼玉大学	七木田 文彦	准 教 授	埼玉大学教育学部
②	がん専門医	儀賀 理暁	教 授	埼玉医科大学総合医療センター
③	埼玉県公立小学校校長会	川端 浩司	校 長	川口市立柳崎小学校
④	埼玉県中学校校長会	大山 美智子	校 長	白岡市立南中学校
⑤	埼玉県高等学校校長協会	遠井 学	校 長	県立浦和東高校
⑥	埼玉県小学校体育連盟	波田野 加奈子	教 諭	上尾市立瓦葺小学校
⑦	埼玉県中学校体育連盟	松橋 和寛	教 諭	春日部市立東中学校
⑧	埼玉県高等学校保健体育研究会	佐々木 智子	教 諭	県立三郷高等学校
⑨	埼玉県養護教諭会（小学校）	中村 恵子	養 護 教 諭	川口市立木曾呂小学校
⑩	埼玉県養護教諭会（中学校）	川嶋 紅音	養 護 教 諭	蕨市立東中学校
⑪	埼玉県養護教諭会（高等学校）	工藤 由未	養 護 教 諭	県立蕨高等学校
⑫	埼玉県養護教諭会（特別支援学校）	吉田 佳代	養 護 教 諭	県立大宮ろう学園
⑬	授業研究校代表（小学校）	飯島 正大	指 導 主 事	上尾市教育委員会学校保健課
⑭	授業研究校代表（中学校）	三浦 大介	主任指導主事	越谷市教育委員会指導課
⑮	授業研究校代表（高等学校）	瀬野 育美	教 諭	県立浦和西高等学校

事務局

1	事務局	栗師寺 将二	主任指導主事	県教育局県立学校部保健体育課
2	事務局	西川 俊成	主 幹	県教育局県立学校部保健体育課
3	事務局	龍野 雅美	指 導 主 事	県教育局県立学校部保健体育課
4	事務局	高沢 聖子	指 導 主 事	県教育局県立学校部保健体育課
5	事務局	佐野 秀行	指 導 主 事	県教育局県立学校部保健体育課

令和7年度埼玉県「がん教育等外部講師連携支援事業」実施報告書

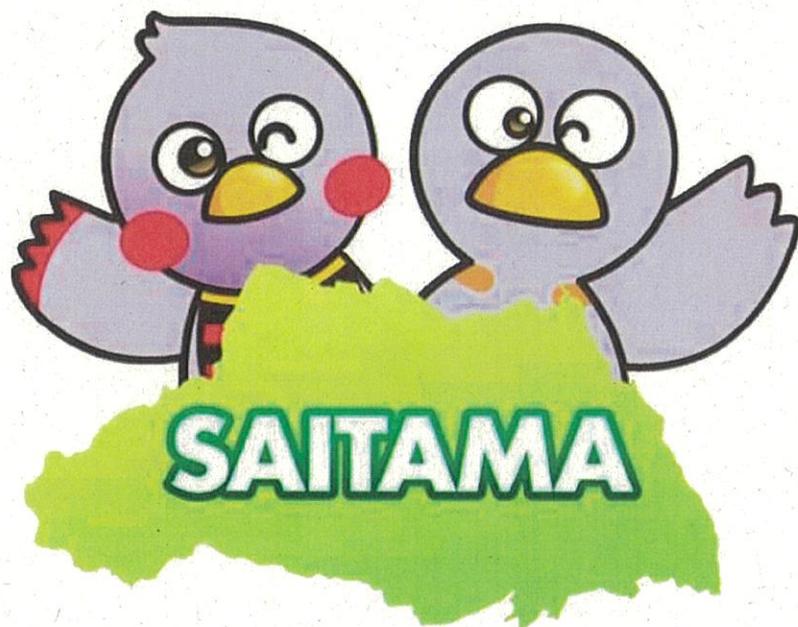
埼玉県教育局県立学校部保健体育課

課長	荻原 篤大
教育指導幹事	佐藤 泰弘
主任指導主事	薬師寺將二
主幹	西川 俊成
指導主事	龍野 雅美
指導主事	高沢 聖子
指導主事	佐野 秀行
主任	高槻 伊織
主事	大水 達江

令和8年2月発行

さいたま市浦和区高砂3-15-1

電話 048-830-6963



埼玉県マスコット「コバトン」「さいたまっち」